

# 令和 8 年度 岡山市立興除中学校校舎棟長寿命化予防改修工事

図 面 リ ス ト					
図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺
A-00	表紙 図面リスト		A-26	改修 シーリング打替え・塗装塗替 建具表	1/50
A-01	岡山市建築改修工事特記仕様書 1	————	A-27	劣化調査 1階・2階 平面図	1/100
A-02	岡山市建築改修工事特記仕様書 2	————	A-28	劣化調査 3階・4階 平面図	1/100
A-03	岡山市建築改修工事特記仕様書 3	————	A-29	劣化調査 南・西 立面図	1/100
A-04	岡山市建築改修工事特記仕様書 4	————	A-30	劣化調査 北・東 立面図	1/100
A-05	岡山市建築改修工事特記仕様書 5	————	A-31	劣化調査 天井伏図	1/100
A-06	岡山市建築改修工事特記仕様書 6	————			
A-07	岡山市建築改修工事特記仕様書 7	————			
A-08	外壁改修仕様書（参考）	————			
A-09	附近見取図・配置図	1/2500 1/500			
A-10	仮設計画図（参考）	1/500 1/300	E-01	岡山市建築設備工事（電気）仕様書	————
A-11	外部仕上表	————	E-02	改修後 電気設備 1階・2階 平面図	1/100
A-12	改修 1階・2階 平面図	1/100	E-03	改修後 電気設備 3階・4階 平面図	1/100
A-13	改修 3階・4階 平面図	1/100	E-04	改修前 電気設備 1階・2階 平面図	1/100
A-14	改修 R階・PH階 平面図・高架水槽置場展開図	1/100	E-05	改修前 電気設備 3階・4階 平面図	1/100
A-15	改修 南・西立面図・ベランダ展開図	1/100			
A-16	改修 北・東立面図・開放廊下1展開図	1/100			
A-17	改修 各部天井伏図	1/100			
A-18	改修前 矩計図 1（A棟）	1/50 1/10 1/5	M-01	岡山市建築設備工事（機械）仕様書	————
A-19	改修後 矩計図 1（A棟）	1/50 1/10 1/5	M-02	空調換気設備 機器表	————
A-20	改修前 開放廊下 1（A棟）詳細図	1/50 1/20 1/5	M-03	空調換気設備 1階・2階 平面図	1/100
A-21	改修後 開放廊下 1（A棟）詳細図	1/50 1/20 1/5	M-04	空調換気設備 3階・4階 平面図	1/100
A-22	改修前 高架水槽廻り（A棟）詳細図	1/50	M-05	空調換気設備 南・東 立面図	1/100
A-23	改修後 高架水槽廻り（A棟）詳細図	1/50 1/200			
A-24	改修前 矩計図 2（B棟）	1/50 1/20 1/5			
A-25	改修後 矩計図 2（B棟）	1/50 1/20 1/5			

工事名					岡山市立興除中学校校舎棟長寿命化予防改修工事		No.		株式会社 彩 工 房 建築設計室		
図面名					表紙・図面リスト		縮尺		A-00		
							-		A-31		
岡山市					都市整備局		住宅・建築部		公共建築課		
					令和 7年		6月				
課長		課長補佐		係長		課員		担当者		承認	
										検図	
										製図	



[illegible]

[illegible]

[illegible]

5	機械式継手 [8.4.2]	使用箇所 ※構造図による 性能 (H12 建告第1463号に適合するもの) ・A級・ 種類 ・ねじ筋鉄筋継手 充填方式 ・無機グラウト方式 ・有機グラウト方式 ・端部ねじ加工継手 ・モルタル充填継手 ・ 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法 鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による 品質の確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目及び合格判定 ※改修標準仕様書 表8.4.1～表8.4.3 による ・評定等の評価内容による 不合格となった場合の措置 ※改修標準仕様書 表8.4.2(5) (ア) (a)～(c)による ・構造図による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする。 ・ 試験の箇所数 1ロットに対して ( ) 箇所 ・全数 試験項目 ※挿入長さ 不合格となった継手部への措置 ・	4 セメント [8.2.5]	表8.2.3 セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種(Ⅱ)、 シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種(Ⅱ) ・高炉セメントB種(Ⅱ) ・フライアッシュセメントB種(Ⅱ) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く	使用箇所 ・IFLより下部 ・IFLより立上る設備基礎、工作物基礎	6 普通ボルト [7.2.3]	ボルト及びナットの材料等 ※標準仕様書 表7.2.3による 座金 ※標準仕様書 表7.2.3(4)による 母屋又は鋼線の取付けに使用するボルトの孔径 ※ねじの呼び径+1.0mm ・図示	7 アンカーボルト [7.2.4] (7.3.2) (7.10.3)	適用 ・構造用アンカーボルト セットの種類 ・ABR400 ・ABR490 ・B種 形状、寸法 ※構造図による ・建方用アンカーボルト 種類 ・SS400 ・ アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による ・構造図による ・標準仕様書 7.2.4以外のアンカーボルト 適用箇所 ・図示による ( ) ・ 種類SS400 ・ アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による	8 溶接材料 [8.2.10]	・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による ・図示による	9 ターンバックル [7.2.6]	種類 建築用ターンバックル胴 ※割付式 建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト ねじの呼び ※構造図による	10 デッキプレート [7.2.7]	工法の種別 ・合成スラブ (適用箇所 ・構造図による ) ・床型特用 (適用箇所 ・構造図による ) ・ 材質、形状及び寸法 ・構造図による ・ 鉄骨部材への溶接方法 ・構造図による 耐火認定 ・有り (耐火時間 ・図示による ) ・なし	11 スタッド [8.2.11]	※図式スタッド (JIS B1198) 径 (呼び名) 長さ (呼び長さ) mm 使用箇所 16φ ・80 ・100 ・120 19φ ・80 ・100 ・130 ・150 22φ ・80 ・100 ・130 ・150	12 柱底均しモルタル [8.2.12]	モルタルの種類 ※無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料及び割合 ※改修標準仕様書 8.2.12による	13 製作精度 [8.13.3]	・改修標準仕様書 8.13.3 及び H12建告第1464号第二号イによる 適しダイヤフラムの許容誤差 ・ダイヤフラムをH12建告第1464号第二号イ(1)(2)に規定するただし書きの計算確認有り 補強方法 ・「実合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・全てのダイヤフラムをH12建告第1464号第二号イ(1)(2)に規定する仕様を満足すること	14 仮組 [8.13.10]	※行わない ・行う (適用範囲 ※構造図による )	15 高力ボルト接合 [8.14.2]	スプライスプレートの材質 ※鋼材の種別及び引張強さによる区分は母材と同等とする フィラープレートの材質 ※SS400とする	16 溶接接合 [8.15.4] [8.15.7]	開先の形状 ※構造関係共通事項 4 溶接継手の種類別開先標準による ・構造図による スカラップの形状 ※構造関係共通事項 6 スカラップによる ・構造図による 鋼製エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ※構造図による 切断する範囲 ・構造図による 切断する範囲 鋼製エンドタブ、裏当て金等では、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。なお、切断面が交差する場合は、交差部を7mm状に加工する 切断面の仕上げ ※改修標準仕様書8.15.7(1)(b)②による ・構造図による 完全溶込み溶接部の余盛り高さ ※ (一社) 日本建築学会「JASS 6 鉄骨工事」付表6「鉄骨検査基準」付表3「溶接」による 鋼製エンドタブ・裏当て金 ※鋼材の種別及び引張強さによる区分は母材と同等とする	17 入熱、バス間温度の溶接条件	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ※構造関係共通事項による ・図示 適用箇所 ※ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部 ・図示による	18 溶接部の試験 [8.15.12]	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ※行う ・行わない 工場溶接の場合 ※全数 工事現場溶接の場合 ※全数	19 耐火被覆 [8.18.2-8]	種別及び性能 種類 材料・工法 性能 (耐火時間) 適用箇所 (部位・部分) ・耐火材吹付け ・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール ・ ・耐火板張り ・繊維混入型耐火カルシウム板 ・ ・耐火材巻付け ・高耐熱ロックウール ・ ・ラス張りモルタル塗り ・ ・耐火塗料 材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする 性能 性能 適用箇所 (部位・部分) ・30分耐火 ・1時間耐火 ・2時間耐火 ・3時間耐火	20 建方精度 [7.10.2]	21 アンカーボルトの保持及び埋込み工法 [7.2.4] (7.10.3)	構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ※構造図による 建方用アンカーフレームの保持及び埋込み工法 表7.10.1 種別 ・A種 ・B種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 表7.10.2 ※標準仕様書 表7.10.2 (※A種 [モルタル厚さ50] ・B種 [モルタル厚さ30] ) による	22 錆止め塗装 [7.4.3] [8.17.2-4]	塗装の範囲 ・耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・ ・耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※改修標準仕様書8.17.1(1)(7)～(9)による部分以外 ・構造図による 塗装種別 下記以外の鉄鋼面は、7章「塗装改修工事」による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリプで鉄骨に溶接されたものの内面の錆止め塗料 ※Aα種 ・耐火被覆材が接着する面に塗装する場合の錆止め塗料	23 溶融亜鉛めっき工法 (主要構造及び構造耐力上主要な部分に限る) [8.20.4]	種別等 表8.20.1 亜鉛めっきの種別 材料 適用箇所 A種 (HDZ177) 最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板 ※図示による B種 (HDZ163) 最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板 C種 (HDZ149) 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚 1.6mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板
		8 4 あと施工アンカー [8.2.4]		引張耐力 ・せん断耐力 ・ ・金属系アンカー 本 体 接合筋 径 (mm) 埋込み深さ (mm) セット方式 種類 径 (mm) 長さ (mm) 本体打ち込み式改良型 “ ” ・接着系アンカー 径 (mm) 埋込み深さ (mm) 接着剤の材質 アンカーの種類 アンカー筋の種類 ・有機系 ※カプセル方式回転・打撃式 ・無機系 アンカー筋の新設壁内への定着の長さ ※構造図による	8 5 柱底均しモルタル [8.2.12]		無収縮モルタル ・使用する ・使用しない		8 6 グラウト材 [8.2.12]		無収縮グラウト材の材質等 混和材 セメント系 (酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミニウム等によって膨張する性質を利用するもの) とする。 セメント JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。 砂 土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。 無収縮グラウト材の品質及び試験方法 コンシステンシー Jフロードによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 : 8±2秒 ブリージング 練り混ぜ2時間後のブリージング率 : 2.0%以下 凝結時間 凝結開始時間 : 1時間以上 終結時間 : 10時間以内 膨張収縮 材齢 7日 収縮しない 圧縮強度 材齢 3日 2.0N/mm <sup>2</sup> 以上 材齢 28日 4.0N/mm <sup>2</sup> 以上 塩化物量 0.30kg/m <sup>3</sup> 以下 試験方法 1) NEX00試験方法 試験法312-2024「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。		8 1 連続繊維シート [8.2.13] [8.24.6] [8.24.7]		連続繊維の材料 ・炭素繊維 ・アラミド繊維 連続繊維の材質 引張強度 (含浸硬化後) ( ) N/mm <sup>2</sup> ヤング係数 (含浸硬化後) ( ) N/mm <sup>2</sup> 繊維目付量 ( ) g/m <sup>2</sup> シート厚さ ( ) mm シート貼り方向 ※図示 定着方法 ※図示 含浸接着剤 ・低臭型 プライマー ・低臭型		工事名 岡山市立興除中学校校舎棟長寿命化予防改修工事 N o. 図面名 建築改修工事特記仕様書 5 A-05 岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課 担当 令和 7年 6月 A-31 課長 課長補佐 係長 係員 担当 承認 検閲 製図																							
6 溶接継手 [8.4.3]	使用箇所 ※構造図による 性能 (H12 建告第1463号に適合するもの) ・A級・ 溶接継手の工法 ・図示による ( ) 鉄筋相互のあき ・改修標準仕様書8.3.5(4)による ・評定等の評価内容による ・図示による ( ) 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による ・試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする。 ・ 試験の箇所数 1ロットに対して ( ) 箇所 ・全数 試験項目 ※内部欠陥の検出 不合格となった継手部への措置 ・	使用箇所 ※構造図による 性能 (H12 建告第1463号に適合するもの) ・A級・ 溶接継手の工法 ・図示による ( ) 鉄筋相互のあき ・改修標準仕様書8.3.5(4)による ・評定等の評価内容による ・図示による ( ) 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による ・試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする。 ・ 試験の箇所数 1ロットに対して ( ) 箇所 ・全数 試験項目 ※内部欠陥の検出 不合格となった継手部への措置 ・	8 3 鉄骨工事	1 鉄骨の製作工場 [8.1.5] (7.1.1) (7.1.3) 鉄骨製作工場における施工管理技術者 [8.1.6] 鋼材 [8.2.8]	鉄骨製作工場の加工能力 ※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた (株) 日本鉄骨評価センター及び全国鉄骨評価機構 (旧 (社) 全国鐵構工業協会) の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める次のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場とするものとする。 ( ・Jグレード ・Rグレード ・Mグレード ・Hグレード ・Sグレード ) ・配置する ・配置しない 種類等 表8.2.7 種類の記号 適用箇所 規格等 ※JIS規格による ※JIS規格による ※JIS規格による 板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験 ・行う (適用箇所 ) ・行わない 区分 ※トルシリアル高力ボルト 2種 (S10T) ・JIS形高力ボルト 2種 (F10T) 高力ボルトの径 ※図示による すべり試験 ※行わない ・行う (すべり係数試験 ・すべり耐力試験) 試験方法等 ※構造図による すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(f)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。 セットの種別 ※1種 (F8T相当) 溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 ・大臣認定を受けた内容による 摩擦面の処理 ※プラスト処理 (表面粗度50μm Rz以上) ・プラスト以外の特別な処理 (りん酸塩処理) すべり試験 ※行わない ・行う (すべり係数試験 ・すべり耐力試験) 試験方法等 ※構造図による すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(7)又は(f)による摩擦面の確認は、同一の作業条件のもとで作成した対比試験片で行うこと。	2 鉄骨の製作工場 [8.2.9] [8.13.2] [8.14.2]	4 高力ボルト [8.2.9] [8.13.2] [8.14.2]	5 溶融亜鉛めっき高力ボルト [8.2.9] [8.13.2] [8.20.5] (7.12.5)	8 2 コンクリートの種類 [8.1.3]	※I類 (JIS A5308への適合を認証されたコンクリート) ・II類 (I以外でJIS A5308に適合したコンクリート) 表8.1.1	8 2 コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等 [8.1.3~4]	※普通コンクリート 設計基準強度 Fc (N/mm <sup>2</sup> ) 気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> ) スランプ (cm) 適用箇所 ・21 2.3程度 ※1.5 建物躯体 (基礎、基礎梁、土間スラブ) ・24 1.8 建物躯体 (柱、梁、スラブ、壁) ・ ・軽量コンクリート 設計基準強度 Fc (N/mm <sup>2</sup> ) 気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> ) スランプ (cm) 種類 適用箇所 ・21 1.8 1種 ・24 2種 工事場所 打込みから材齢28日までの予想平均気温の範囲 (普通ポルトランドセメント、混合セメントのA種) 暑中コンクリートの適用期間 寒中コンクリートの適用期間 8℃以上 0℃以上8℃未満 25℃超 構造体強度補正値 (S) (N/mm <sup>2</sup> ) 構造体強度補正値 (S) (N/mm <sup>2</sup> ) 3 6 岡山市 (旧○○) 〇月〇日～〇月〇日 〇月〇日～〇月〇日 〇月〇日～〇月〇日 〇月〇日～〇月〇日	8 2 コンクリートの構造体強度補正等の適用期間 [8.2.5] (6.3.2) (6.12.2)																											



		<div>下地処理 仕上げモルタルの除去 ※行う ・行わない 下地処理の範囲 ※図示 下地処理の程度 ※図示 柱及び梁の隅角部の面取り 大きさ ※図示 下地調整 ※行う ひび割れ部改修 ・行う ・行わない 種類及び部位 ※図示 引張強度試験 ・行う ・行わない ※JIS A 1191 (コンクリート補強用FRPシートの引張試験方法)による 試験数量 ※図示 付着強度試験 ・行う ・行わない ※JIS A 6909 (建築用仕上塗材)による 試験数量 ※図示 補強工事後の仕上げ ※構造図による ・</div>			<div>・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板 (下地調整材)の除去 下記以外は、改修標準仕様書9.1.1及び9.1.2による 除去工法 ・ ※石綿障害予防規則 (平成十七年二月二十四日厚生労働省第二十二号) 第6条による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法 ・集じん装置併用手工具ケレン工法 ・集じん装置付き高圧水洗工法 (15MPa以下、30～50MPa程度) ・集じん装置付き超高圧水洗工法 (100MPa以上) ・超音波ケレン工法 (HEPAフィルター付き掃除機併用) ・剥離剤併用手工具ケレン工法 ・剥離剤併用高圧水洗工法 (30～50MPa程度) ・剥離剤併用超高圧水洗工法 (100MPa以上) ・剥離剤併用超音波ケレン工法 ・集じん装置付ディスクグラインダーケレン工法 ・ 除去対象範囲 ・図示 作業場所の隔離 ※行わない ・行う 試験施工 ※行わない ・行う 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・埋立処分 (安定型最終処分場) ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) 除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分 ※改修標準仕様書9.1.3(3)による ・ 確認及び後片付け ※改修標準仕様書9.1.3(4)の(7)、(9)、(b)及び(9)による 石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※図示 ・</div>	<div>7 ロールスクリーン (20.2.15) 8 カーテン及びカーテンレール (20.2.16) 9 点検口 10 天井見切り縁等 11 視覚障害者用床タイル (視覚障害者誘導用ブロック) (11.2.2) (19.2.2) 12 埋戻し及び盛土 (3.2.3) 13 建設発生土の処理 (3.2.5) 14 砂利地業 (4.6.2) (4.6.3) 15 捨コンクリート地業 (4.6.4) 16 床下防湿層 (4.6.5) 17 排水管 (21.2.1) 18 側塊、排水桁等 (21.2.2) 19 路床 (22.2.2～5)</div>	<div>操作方式 ・スプリング式 ・コード式 (チェーン式) ・電動式 材質 ・図示による ・ 透光性能 ・図示による ・ 寸法及び取付箇所 ・図示による ・ カーテン(6) 取付箇所 生地の種類、品質、特殊加工等 ひだの種類 形式 開閉操作 ・シングル ・片引き ※手引き ・ひも引き ・ダブル ・引分 ・電動 ・シングル ・片引き ※手引き ・ひも引き ・ダブル ・引分 ・電動 カーテンレール及び付属金物 施工箇所 強さによる区分 材料による区分 仕上げ 形状 オプション付属金物 ・10～60 ※78以上及び74以下に合金の ※74以上 ※角形 ・ ・ ※10～90 押出し成型材 ・ ・暗幕用は300mm以上の引合せの重ね掛けとする 天井 材質 アルミニウム製 寸法 (mm) ※450×450 ・600×600 形式 一般型 外枠 ・額縁タイプ ・目地タイプ 内枠 ・額縁タイプ ・目地タイプ 枠の許容差 ±0.5mm以内 外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内 材質の品質及び性能 外枠、内枠の材質 アルミニウム合金押出型材 JIS H4100 A6063S-T5 表面処理 表14.2.1のAC-1種、AC-2種 (外部はBB-1種、BB-2種) 外枠及び内枠のコーナース、吊り金物、取付ボルト 鋼板に垂れつき等の防錆処理を行ったもの 床 材質 アルミニウム製 寸法 (mm) ・450×450 ※600×600 形式 ※室内用一般型 ・密閉形 パッキンを装着しないものと及びたつき防止用パッキンを装着したもの 枠の許容差 ±0.5mm以内 外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内 材質の品質及び性能 受枠材、蓋枠材、コーナース、底板材、底板補強材 アルミニウム合金押出型材 JIS H4100 A6063S-T5 表面処理 表14.2.1のAB-1種、AB-2種、BB-1種、BB-2種 開閉方式 施設・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式 その他 製造所の仕様による 壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁 (天井見切縁、下がり壁見切縁)の材質 ・アルミニウム既製品 ・ビニル既製品 材質 ・レジンコンクリート製 (厚さ60mm) ・セラミックタイル製 ・ 表面形状 JIS T9251による 寸法 ※300×300 色 ※黄色 ・ 種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 (表3.2.1) ・建設汚泥から再生した処理土 D種の場合は必要に応じて「セメント及びセメント系固着材を使用した改良土の六面クロム溶出試験実施要領 (案)」により、監督職員と協議の上、六面クロム溶出試験を行うものとする。 ※構外指示の場所に処分 ・構内指示の場所に敷き均し ・構内指示の場所に堆積 材料 ※再生クラッシュラン(6) ・切込砂利及び切込砕石 厚さ及び使用範囲 厚さ 使用範囲 ※60 ・ 図示による ・ コンクリートの種類 ※普通コンクリート ・ 設計基準強度 ※18N/mm<sup>2</sup> ・ N/mm<sup>2</sup> スランプ ※15cm ・18cm 厚さ及び使用範囲 厚さ 使用範囲 ※60 ・ 図示による ・ 施工範囲 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (ピット下を除く) 防湿工法 ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 ・ 防湿層の位置 ※図示による ・遠心力鉄筋コンクリート 種類 ※外圧管1種B形 ・ 継手 ※ゴム接合 ・モルタル接合 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・VP ・VU ・RS-VU(6) 建物外での硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で30%以上使用されていること ・鉄線鉄ふた 型式 ※水封型 ・簡易密閉型 ・密閉型 ・中ふた付密閉型 適用荷重 (安全荷重 (kN)) 屋内用 ・T-2用 (5) ・ 屋外用 ・T-2用 (5) ※T-6用 (15) ・T-20用 (50) ・ 鍵 ・有 ・無 ・グレーチング 種類 形式 用途 適用荷重 メインバーピッチ 上面形状 ・鋼製 ・受枠付 ・溝ふた (横断用) ・歩行用 ・普通目 ・細目 ※凹凸形 ・ボルト 溝ふた (側溝用) ・T-2用 ・普通目 ・細目 ・ 固定 ・樹ふた用 ・T-6用 ・普通目 ・細目 ・U字溝用 ・T-14用 ・普通目 ・細目 ・T-20用 ・普通目 ・細目 ・ステンレス製 ・受枠付 ・溝ふた (横断用) ・歩行用 ・普通目 ・細目 ・凹凸形 ・ボルト 溝ふた (側溝用) ・T-2用 ・普通目 ・細目 ・平形 固定 ・樹ふた用 ・T-6用 ・普通目 ・細目 ・U字溝用 ・T-14用 ・普通目 ・細目 ・T-20用 ・普通目 ・細目 路床の構成 ※標準詳細図による ・ 盛土に用いる材料 (表3.2.1)による ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 支持力比 (CBR) 試験 ※行わない ・行う (※乱した土 ・乱さない土) 締め固めの試験 ※行わない ・行う 現場CBR試験 ※行わない ・行う</div>	<div>20 路盤 (22.3.2～5) 21 アスファルト舗装 (22.4.2～6) 22 植栽地の確認 (23.1.3) 23 植栽基礎の整備 (23.2.2～4) 24 支柱材 (23.3.2) 25 新植樹木の枯補償 (23.3.4) 26 移植樹木の枯損処置 (23.3.6)</div>	<div>路盤の構成 ※標準詳細図による ・図示による 路盤材料 ※再生材クラッシュラン(6) ・クラッシュラン鉄鋼スラグ 締め固めの試験 ※行わない ・行う 舗装の構成 ※標準詳細図による ・図示による アスファルト ※再生アスファルト(6) ・ストレートアスファルト 骨材 ※道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材(6) 加熱アスファルト混合物等の種類 ※表層 ※密粒度アスファルト混合物 (13) ・ ※細粒度アスファルト混合物 (13) ・ ・基礎 ・粗粒度アスファルト混合物 (20) シールコート ※行わない ・行う アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う 土壌の水素イオン濃度 (pH) 試験 ・行う ※行わない 電気伝導度 (EC) の試験 ・行う ※行わない 排水 ・設置する (・噴きよ ・噴きよ ・排水層 ・縦穴排水) ・設置しない 電気伝導度 (EC) の試験 ・行う ※行わない 整備工法 樹木 ・行う (※A種 ・B種 ・C種 ・D種) ※行わない 芝及び地被類 ※行う (※B種 ・) ・行わない 補込み用土 ※現場発生土の良質土 ・客土 ※丸太 (間伐材) ・真竹 枯補償の期間 ※引渡の日から1年 ・ 枯損償の期間内に樹木が枯死、枝損傷、形姿不良等となった場合は、同等以上のものを再植樹するとともに、取り除いた樹木の処分を行うものとする 枯損処置の期間 ※引渡の日から1年 ・ 枯損処置の期間内に樹木が枯した場合は、伐採及び伐根を行い、良質土で埋め戻し整地するものとする</div>
8 耐震スリット新設工事	1 耐震スリットの方式、幅及び深さ (8.2.5.2) 2 耐震スリットの施工前の埋め込み配管等の探査 (8.12.4) (8.2.5.2) 3 耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等 (8.2.5.2)	<div>・完全 ・部分 設置箇所 ※構造図による 耐震スリット部詳細 ※構造図による スリットの幅及び深さ ※構造図による 既存撤去部の配管等の探索 ※鉄筋探知機 (金属探知機)により探査し、鉄筋、配管等の位置に墨出しを行う ・はつりだしによる ・耐火材 使用箇所及び仕様 ・構造図による ・ ・遮音材 使用箇所及び仕様 ・構造図による ・ 撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修 ・構造図による</div>							
9 環境配慮改修工事	1 石綿含有建材の除去工事 (9.1.1) (9.1.3～6)	<div>調査 ※石綿含有建材の事前調査 1章5による ・分析による石綿含有建材の調査 (施工調査) 分析対象 アクチノライト、アモサイト、 アンソファイト、クリソタイル、クロソドライト、トシモライト 分析方法 分析結果については、監督職員に報告すること 材料名 定性分析 定量分析 JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2 JIS A 1481-3又はJIS A 1481-4 箇所 箇所 箇所 箇所 箇所 箇所 材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・図示 ・ ・石綿粉塵濃度測定 測定時期、場所及び測定点 適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定点 (各施工場所ごと) ・測定1 処理作業前 処理作業室内 計 点 ・測定2 調査対象室外部の付近 計 点 ・測定3 処理作業中 セキュリティゾーン入口 計 点 ※測定4 集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合) 計 点 ※測定5 出口吹出し風速1m/s以下の位置 (処理作業室外の場合) 計 点 ※測定6 処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界 計 点 ※測定7 処理作業後 (シート養生中) 処理作業室内 計 点 ・測定8 処理作業後 処理作業室内 計 点 ・測定9 (シート撤去後 調査対象室外部の付近 計 点 1週間以降) 測定方法 ・自動測定器による測定 測定名称 測定方法 ・測定4 ・測定5 粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定 ・測定 ( ) ・JIS K 3850-IIに基づいた測定 測定4、5 測定 ( ) 測定 ( ) 測定 ( ) メンブレンフィルタ直径 (mm) 25 47 47 試料の吸引流量 (l/min) ・5 ・10 ・10 試料の吸引時間 (min) ・30 ・120 ・240 ・</div>	10 ユニット及びその他の工事	1 フリーアクセスフロア (20.2.2) 2 トイレブース (20.2.5) 3 手すり (20.2.6) 4 階段滑止め (20.2.7) 5 表示 (20.2.11) 6 ブラインド (20.2.14)	<div>構造 敷設式 耐震性能 ・1.0G ・0.6G ・1.0G ・0.6G 所定荷重 ・3000N ・5000N ・3000N ・5000N パネル寸法 (mm) ・ ・ 高さ (mm) ・ ・ 床表面仕上げ材の材質 ・タイルカーペット(6) ・タイルカーペット(6) ・帯電防止床タイル(6) ・帯電防止床タイル(6) ボーダー部及びスロープ ※製造所の仕様 ・図示による ※製造所の仕様 ・図示による 寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2) (4)による 表面仕上材の品質・性能は、改修標準仕様書6章内装改修工事による 配線取り出し用パネル フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※製造所の仕様による ・20～30% 配線取り出し開口 ※製造所の仕様による ・パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上 空調用吹き出し (吸い込み) パネル 耐荷重性能 変形5.0mm以下、残留変形3.0mm以下 耐衝撃性能 残留変形3.0mm以下及び損傷がないこと ローリングロード性能 所定荷重1,000N (5,000Nの積載荷重は1,000N以上で任意)による繰り返し試験後、残留変形3.0mm以下 表面材 ※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ドアエッジ材質形状 ※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製 幅木材質形状 ※ステンレス幅木 ・ 材質 表面仕上げ 直径 (mm) 取付箇所 ・集成材 ・CL ・ ・60 ・45 ・40 ・ ・ステンレスパイプ ・HL ・ ・60 ・45 ・40 ・ ・鋼製パイプ ・EPG ・SOP ・60 ・45 ・40 ・ ・ビニル製 材質 ステンレス製 (SUS304) (・埋込工法 ※接着工法) 端部フラットエンド ※有 (※タイヤと同材 ・ステンレス鋼) ・無 型式 ※ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り ・ 幅 (mm) ※約35 ・ ・案内板 ・施設案内板 (※標準詳細図による ・図示による) ・各階案内板 (※標準詳細図による ・図示による) ・視覚障害者案内板 (※図案による) ・案内板 ※標準詳細図による ・市販品 標準案内用記号 ※JIS Z8210による ・図示による 形状・その他 ※図示による ・施設文字 ※標準詳細図による ・ ・切抜文字 (・ステンレス製・黄銅製) ・箱文字 (・ステンレス製・黄銅製) 字数 ( ) 文字の大きさ ( ) ・対人衝突防止表示 ・図示による ・非常用進入口 ・図示による 案内用記号はJIS Z8210による 形式 ・模型ブラインド ・縦型ブラインド スラットの材質 アルミニウム合金製 ・アルミスラット ・クロススラット 種類 ※ギア式 ・1本操作コード式 ・コード式 ※2本操作コード式 ・操作棒式 スラットの幅 (mm) ※25 ・35 ・80 ・100 ボックス・レールの材質 ※鋼製 ・アルミニウム合金製 幅・高さ・取付箇所 ※図示 ・ ※図示 ・</div>	<div>7 耐震スリット新設工事 (8.2.5.2) 8 耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等 (8.2.5.2) 9 環境配慮改修工事 (9.1.1) (9.1.3～6) 10 ユニット及びその他の工事 (10.1.1) (10.1.3～6) 11 視覚障害者用床タイル (視覚障害者誘導用ブロック) (11.2.2) (19.2.2) 12 埋戻し及び盛土 (3.2.3) 13 建設発生土の処理 (3.2.5) 14 砂利地業 (4.6.2) (4.6.3) 15 捨コンクリート地業 (4.6.4) 16 床下防湿層 (4.6.5) 17 排水管 (21.2.1) 18 側塊、排水桁等 (21.2.2) 19 路床 (22.2.2～5)</div>			
工事名 岡山市立興除中学校校舎棟長寿命化予防改修工事		No. A-06		株式会社 彩工房 建築設計室 一級建築士事務所 岡山県知事登録 第14791号 一級建築士登録 第219247号 吉原 正 様					
図面名 建築改修工事特記仕様書 6		令和 7年 6月		承認 検図 製図					
岡山県 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課		担当者		承認					
課長 課長補佐 係長 課員		担当者		承認					

※ ( ) 内数値は床面モルタル及びタイルの数値とする

※改修数量・箇所は想定である為、足場設置後 要再調査とする。  
※図示している外壁等の劣化状況は事前調査(1階及び1<sup>st</sup>フロア等から手の届く範囲のみ)を示している。なお、数量総括表に記載している外壁改修の各種数量は、事前調査を基に想定される数量としている。

The flowchart details repair methods for concrete structures based on the type and extent of deterioration. It starts with a decision on the type of deterioration (欠損, 浮き, ひび割れ) and then branches based on specific criteria like extent (0.25m², 0.4mm, etc.) and presence of water leakage. Repair methods include surface treatment, replacement, and filling, each with associated design and construction quantities.

```

graph TD
    Root[劣化現象] --> A[欠損]
    Root --> B[浮き]
    Root --> C[ひび割れ]

    A --> A1{欠損の程度}
    A1 -- "0.25m²未満" --> A1a[構造体のコンクリートの劣化を含む剥落欠損]
    A1a --> A1aa{劣化の程度}
    A1aa -- "構造耐力に關連しないコンクリートの劣化" --> A1aaa[構造耐力に關するコンクリートの劣化]
    A1aaa --> A1aaa1[別途]
    A1aa -- "鉄筋が露出している等の深い欠損" --> A1aaa2[別途]
    A1 -- "0.25m²以上" --> A1b[モルタルの構造体コンクリート面からの欠損]
    A1b --> A1b1{漏水の有無}
    A1b1 -- "有" --> A1b2[モルタルを撤去して改修]
    A1b1 -- "無" --> A1b3[モルタル表面の切片状に生じた浅い欠損]
    A1b3 --> A1b3a[モルタルを撤去して改修]
    A1 -- "0.25m²以上" --> A1c[通常レベルの打撃力によってはく落するおそれのあるモルタルの浮き]
    A1c --> A1c1[モルタルを撤去して改修]
    A1 -- "0.25m²以上" --> A1d[左記以外の浮きの浮き]
    A1d --> A1d1[モルタルを撤去しないで改修]
    A1 -- "0.25m²以上" --> A1e[構造体のコンクリートの変化を含む浮き]
    A1e --> A1e1[別途]

    B --> B1{浮きの程度}
    B1 -- "0.25m²未満" --> B1a[1箇所の面積]
    B1a -- "0.25m²未満" --> B1a1[はく落防止  
構造体の耐震性確保]
    B1a1 --> B1a2{浮き代}
    B1a2 -- "1.0mm超" --> B1a3[モルタル塗替  
工法]
    B1a2 -- "1.0mm以下" --> B1a4[モルタルを撤去して改修]
    B1 -- "0.25m²以上" --> B1b[1箇所の浮き面積]
    B1b -- "0.25m²未満" --> B1b1[モルタルを撤去して改修]
    B1b -- "0.25m²以上" --> B1b2[はく落防止  
構造体の耐震性確保]
    B1b2 --> B1b3{浮き代}
    B1b3 -- "1.0mm超" --> B1b4[モルタル塗替  
工法]
    B1b3 -- "1.0mm以下" --> B1b5[モルタルを撤去して改修]

    C --> C1{ひび割れの程度}
    C1 -- "0.4mm未満" --> C1a[モルタルを撤去して構造体コンクリート面の改修]
    C1a --> C1a1{ひび割れ幅}
    C1a1 -- "0.2mm未満" --> C1a2[シール工法]
    C1a1 -- "0.2mm以上 1.0mm以下" --> C1a3[樹脂注入工法]
    C1a1 -- "1.0mm超" --> C1a4[U字断面材充填工法  
(可とう性は樹脂を充填)]
    C1 -- "0.4mm以上" --> C1b{ひび割れからの漏水}
    C1b -- "有" --> C1b1[モルタルを撤去して改修]
    C1b -- "無" --> C1b2{周辺モルタルの浮き}
    C1b2 -- "有" --> C1b3[モルタルを撤去して改修]
    C1b2 -- "無" --> C1b4[モルタルを撤去して改修]

    A1aaa1 --> A1aaa1a[表てん工法  
(※ 樹脂充填)]
    A1aaa1a --> A1aaa1b[設計数量  
m²]
    A1aaa1b --> A1aaa1c[実施数量  
m²]

    A1b2 --> A1b2a[B-4  
表てん工法  
(※ 樹脂充填)]
    A1b2a --> A1b2b[設計数量  
0.66 m²]
    A1b2b --> A1b2c[実施数量  
m²]

    A1b3a --> A1b3a1[モルタル塗替  
工法]
    A1b3a1 --> A1b3a2[設計数量  
m²]
    A1b3a2 --> A1b3a3[実施数量  
m²]

    A1c1 --> A1c1a[ワカセシ工法  
全面※ 樹脂注入工法]
    A1c1a --> A1c1b[設計数量  
m²]
    A1c1b --> A1c1c[実施数量  
m²]

    A1c1 --> A1c1d[注入口付ワカセシ工法  
全面※ 樹脂注入工法]
    A1c1d --> A1c1e[設計数量  
m²]
    A1c1e --> A1c1f[実施数量  
m²]

    A1d1 --> A1d1a[B-3  
ワカセシ工法  
全面※ 樹脂注入工法]
    A1d1a --> A1d1b[設計数量  
26.3 m²]
    A1d1b --> A1d1c[実施数量  
m²]

    A1d1 --> A1d1d[注入口付ワカセシ工法  
全面※ 樹脂注入工法]
    A1d1d --> A1d1e[設計数量  
m²]
    A1d1e --> A1d1f[実施数量  
m²]

    A1e1 --> A1e1a[B-3  
ワカセシ工法  
部分※ 樹脂注入工法]
    A1e1a --> A1e1b[設計数量  
24.1 m²]
    A1e1b --> A1e1c[実施数量  
m²]

    A1e1 --> A1e1d[注入口付ワカセシ工法  
部分※ 樹脂注入工法]
    A1e1d --> A1e1e[設計数量  
m²]
    A1e1e --> A1e1f[実施数量  
m²]

    C1a2 --> C1a2a[C-2  
樹脂注入工法]
    C1a2a --> C1a2b[設計数量  
146.54 m]
    C1a2b --> C1a2c[実施数量  
m]

    C1a3 --> C1a3a[C-1  
U字断面材充填工法  
(樹脂を充填)]
    C1a3a --> C1a3b[設計数量  
2.0 m]
    C1a3b --> C1a3c[実施数量  
m]

    C1a4 --> C1a4a[表てん工法  
(※ 樹脂充填)]
    C1a4a --> C1a4b[設計数量  
m]
    C1a4b --> C1a4c[実施数量  
m]

    C1a4 --> C1a4d[モルタル塗替  
工法]
    C1a4d --> C1a4e[設計数量  
m]
    C1a4e --> C1a4f[実施数量  
m]

    C1b4 --> C1b4a[シール工法]
    C1b4a --> C1b4b[設計数量  
m]
    C1b4b --> C1b4c[実施数量  
m]
  
```

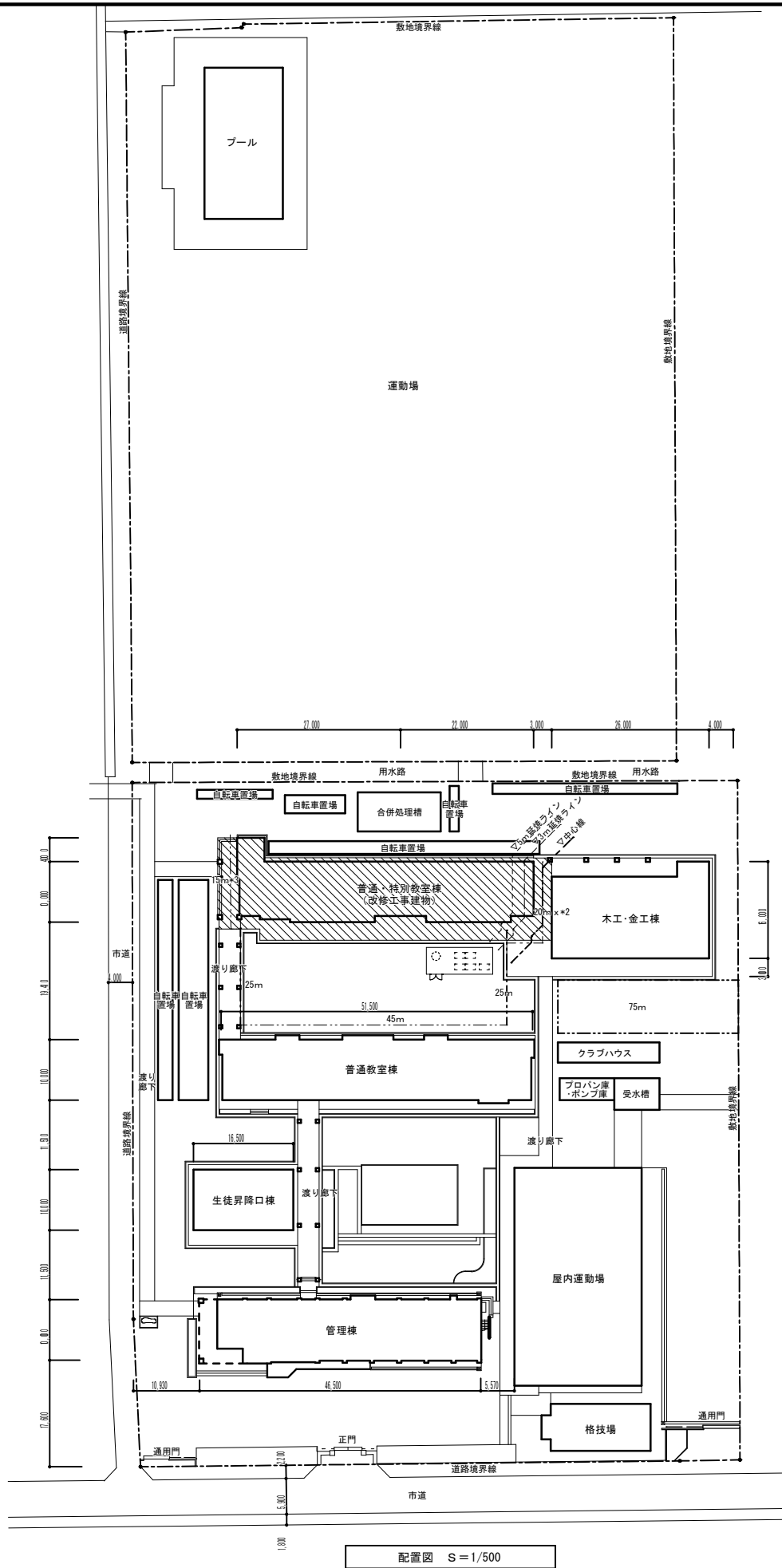
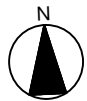
[illegible]

工事名 岡山市立興除中学校校舎棟長寿命化予防改修工事					No. A-07		
図面名 建築改修工事特記仕様書 7					紙 尺	株式会社 彩工房 建築設計室 一級建築士事務所 岡山市昭和東條 第14791号 一級建築士登録 第278247号 笠原 正雄	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課					令和 7年 6月		A-31
	課長	課長補佐	係長	課員	担当書	承認	検印



仕様	改修前	改修後	工程	仕様	改修前	改修後	工程	仕様	改修前	改修後	工程
A-1仕様  (打放し面 表面劣化部 処理)			① 既存仕上材及び脆弱層サンダーケレン ② 高圧水洗浄 (圧力30～50MPa) ③ 中性化回復材塗布 (塗布量: 400g/m2程度) ④ 塩害防除材塗布 (塗布量: 300g/m2程度) ⑤ 劣化防止層形成 (ポリマーセメントペースト) コテ塗り ⑦ 1. 5±0. 5mm	B-2仕様  モルタル面 錆鉄筋部処理 (パテレス 部補修)			① カッター処理 ② 浮き部研り ③ 錆落とし ④ 高圧水洗浄 (圧力30～50MPa) ⑤ 中性化回復材塗布 (塗布量: メーカー仕様による) ⑥ 防錆処理 (ポリマーセメントペースト) ⑦ エポキシ樹脂モルタル充填	B-6仕様  (欠損部処理)  研り工法			① 欠損部撤去 ② 高圧水洗浄 (圧力30～50MPa) ③ 中性化回復材塗布 (塗布量: 400g/m2程度) ④ 埋め戻し・整形 (樹脂モルタル)
A-2仕様  (モルタル面 表面劣化部 処理)			① 既存仕上材及び脆弱層サンダーケレン (R6下地調整) ② 高圧水洗浄 (圧力30～50MPa) ③ しごき処理 (セメントフィラー) コテ塗り ⑦ 1. 5±0. 5mm	B-3仕様  (モルタル面 防水モルタル面 浮き部処理)  アンカー ピンニング 部分エポキシ 樹脂注入工法			① 削孔 (一般部16カ所/m2 指定部25カ所/m2) ② 孔内エアーク掃 ③ エポキシ注入 (全面接着) ④ アンカーピン挿入 ⑤ 削孔跡埋め戻し (ポリマーセメントモルタル)	C-1仕様  (モルタル面 防水モルタル面 人研面 ひびわれ部 処理)  リカット シール材 充填工法			① ひびわれ部リカット処理 (1.0mm以上) ② 高圧水洗浄 (圧力30～50MPa) ③ プライマー塗布・シーリング材打設 ④ 埋め戻し (ポリマーセメントモルタル)
A-3仕様  (防水モルタル面 表面劣化部 処理)			① 高圧水洗浄 (圧力30～50MPa) ② しごき処理 (セメントフィラー) コテ塗り ⑦ 1. 0±0. 5mm	B-4仕様  (モルタル面 防水モルタル面 浮き部処理)  アンカー ピンニング 全面注入工法			① アンカー (一般) 13本/m2 (指定部) 20本/m2 注入口 (一般) 12個/m2 (指定部) 20個/m2 ② 孔内エアーク掃 ③ エポキシ注入 (全面接着) ④ ステンレスピン挿入 ⑤ 削孔跡埋め戻し (ポリマーセメントモルタル)	C-2仕様  (モルタル面 防水モルタル面 人研面 ひびわれ部 処理)  自動式低圧 エポキシ樹脂 注入工法			① エアーク掃 ② 高圧水洗浄 (圧力30～50MPa) ③ 注入器具・台座取付 (シール共) ④ エポキシ注入 (0.4mm～1.0mm) ⑤ 座金・シール除去
B-1仕様  (打放し面 錆鉄筋部 処理)			① 錆鉄筋周囲の研り ② 錆落とし ③ 高圧水洗浄 (圧力30～50MPa) ④ 中性化回復材塗布 (塗布量: 400g/m2程度) ⑤ 塩害防除材塗布 (塗布量: 300g/m2程度) ⑥ 防錆処理 (ポリマーセメントペースト) ⑦ 埋め戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑧ 整形 ⑨ 劣化防止層形成 (ポリマーセメントペースト) コテ塗り ⑦ 1. 5±0. 5mm	B-5仕様  (モルタル面 浮き部処理)  研り工法			① カッター処理 ② 浮き部研り ③ 高圧水洗浄 (圧力30～50MPa) ④ 中性化回復材塗布 (塗布量: 400g/m2程度) ⑤ 研り部埋め戻し・整形	D仕様  (モルタル面 浮き部処理)  ピンネット工法			① 高圧水洗浄 (圧力30～50MPa) ② プライマー塗布 ③ フィラー下塗り ④ ネット ⑤ アンカーピン据削・打込 (4カ所/m2) ⑥ フィラー上塗り ⑦ 仕上塗材


工事名	岡山市立興隆中学校校舎棟長寿命化予防改修工事			No.		株式会社 彩工房 建築設計室	
図面名	外壁改修仕様書（参考）	商標	-	A-08		一般建築士事務所 岡山恵知事務所 第14791号	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和 7年 6月	A-31	一般建築士事務所 第279247号 近藤 正廣	
課長	課長補佐	係長・建築部	課長	担当者	承認	検図	製図

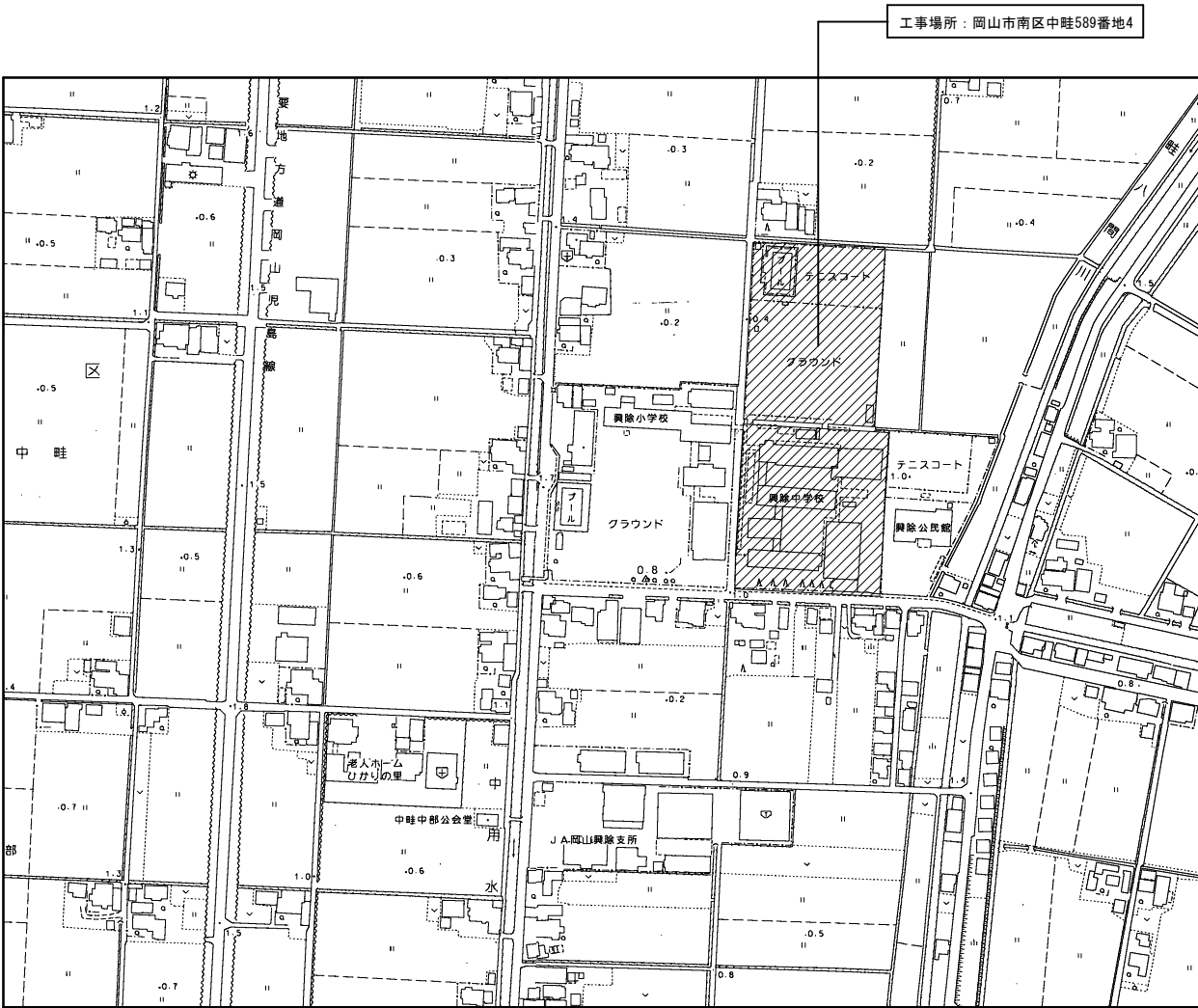


配置図 S=1/500

【特記事項】

1. 生徒の登校時間帯の工事車両の進入を禁止する。
2. 学校関係者動線に注意した工事安全計画とする。

 : 工事範囲



附近見取り図 S=1/2500

工事名 岡山市立興隆中学校校舎棟長寿命化予防改修工事					No. A-09		株式会社 彩工房 建築設計室	
図面名 附近見取図・配置図				縮尺 1/500 1/2500	A-31		一級建築士事務所 岡山県知事登録 第14791号 一級建築士登録 第279247号 笠原 正 様	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課							令和 7年 6月	
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図	

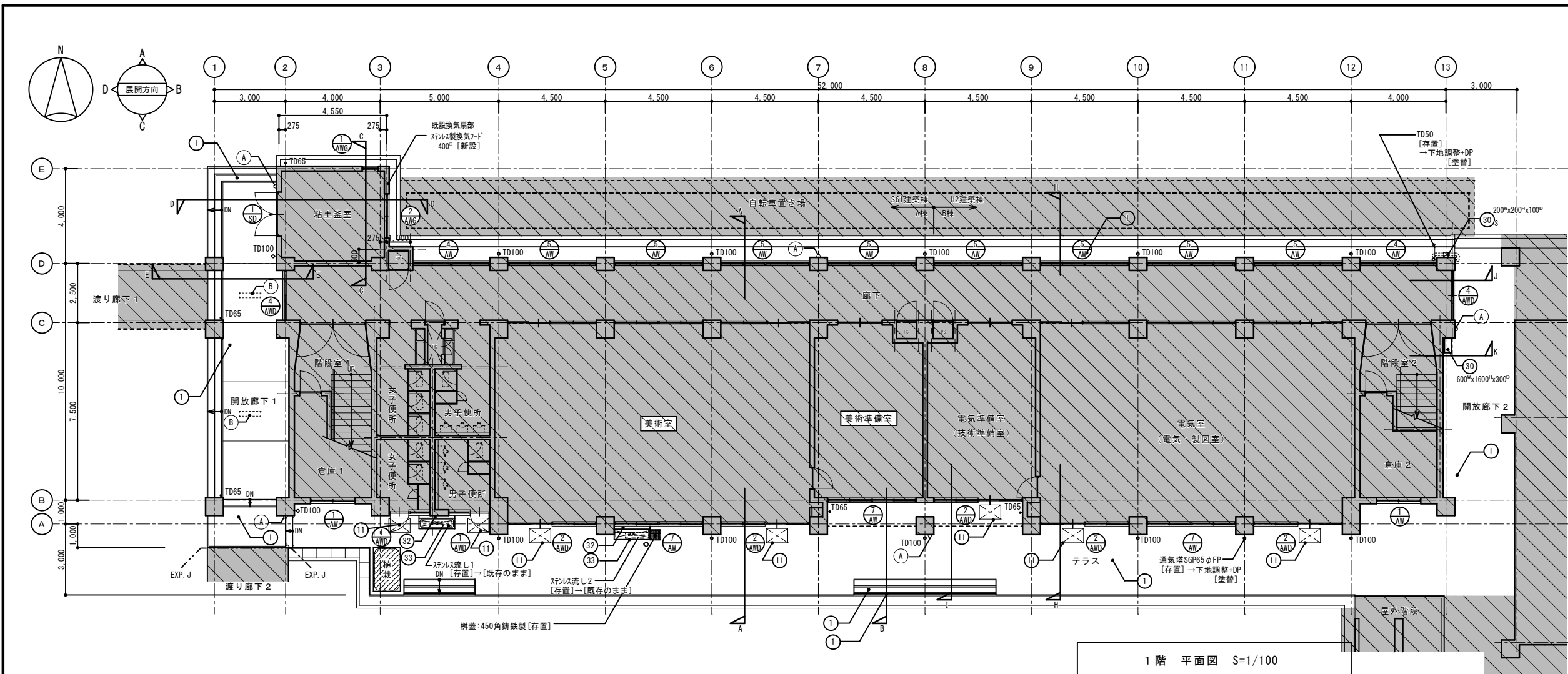


防水改修仕上表					
棟別・部位別		既 設 仕 上	改修処理内容	改 修 仕 上	備 考
屋上防水改修等	A棟	屋根A・B平場部：既設シート防水下地、塩ビシート防水（S1-M2）※外断熱層有り	既存防水層残置・高圧洗浄	既設シート防水下地、塩ビシート防水（S-M2）機械的固定工法	既設脱気筒〔撤去〕→ステンレス製脱気筒〔新設〕
		屋根A排水溝部：コンクリート直押え下地、塩ビシート防水（S-F2）	既存防水層撤去、ケレン・清掃	下地調整（1※ 杉樹脂モルタル）の上、塩ビシート防水（S-F2）接着工法 改修用ドレン：塩ビ製ストレーナ	既設改修用ドレン〔撤去〕→改修用ドレン〔新設〕
		屋根Aハーフット立上り・天端：コンクリート下地、塩ビシート防水（S-F2） 防水端部 防水押え金物7※製	既存防水層撤去、ケレン・清掃	下地調整（1※ 杉樹脂モルタル）の上、塩ビシート防水（S-F2）接着工法 ハーフット天端防水押え金物：7※製80×50 t＝1.2	既設防水押え金物〔撤去〕→〔新設〕
		屋根D平場：モルタル加硫ゴムシート防水※リフレクソール® t 10 （劣化部は撤去＋補修のこと）	既存防水層残置・高圧洗浄	既設シート防水下地、塩ビシート防水（S-M2）機械的固定工法	既設横引きドレン〔撤去〕→改修用ドレン〔新設〕
		屋根D立上り：モルタル加硫ゴムシート防水※リフレクソール® t 10 7※下防水押え金物	既存防水層撤去、ケレン・清掃	下地調整（1※ 杉樹脂モルタル）の上、塩ビシート防水（S-F2）接着工法 7※下防水押え金物：7※製40×10 t＝1.5	既設防水押え金物〔撤去〕→〔新設〕
	B棟	7※・配管モリ・設備基礎：天端及び一部立上り、モルタル下地ウレタン塗膜防水（X-2）	既存防水層残置・高圧洗浄	ウレタン塗膜防水（X-2）	
		屋根C平場：コンクリート下地加硫ゴムシート防水※リフレクソール® t 10 一部：コンクリート直押え下地、ゴムシート防水	既存防水層撤去、ケレン・清掃	下地調整（1※ 杉樹脂モルタル）の上、塩ビシート防水（S-M2）機械的固定工法	既設脱気筒〔撤去〕→ステンレス製脱気筒〔新設〕
		屋根C排水溝部：コンクリート直押え下地、ゴムシート防水	既存防水層撤去、ケレン・清掃	下地調整（1※ 杉樹脂モルタル）の上、塩ビシート防水（S-F2）接着工法 改修用ドレン：塩ビ製ストレーナ	既設改修用ドレン〔撤去〕→改修用ドレン〔新設〕
	ハーフット開放廊下 モルタル笠木・底部	防水モルタル金釘押え	既存残置・高圧洗浄	ウレタン塗膜防水（X-2）の上、塩ビ長尺シート（防滑）仕上げ（平場のみ）	既設防水押え金物〔撤去〕→〔新設〕
		防水モルタルコテ押え 立上り部共 （庇2の天端・小口はモルタル下地ウレタン塗膜防水（X-2））	既存残置・高圧洗浄	ウレタン塗膜防水（X-2） 立上り部共	

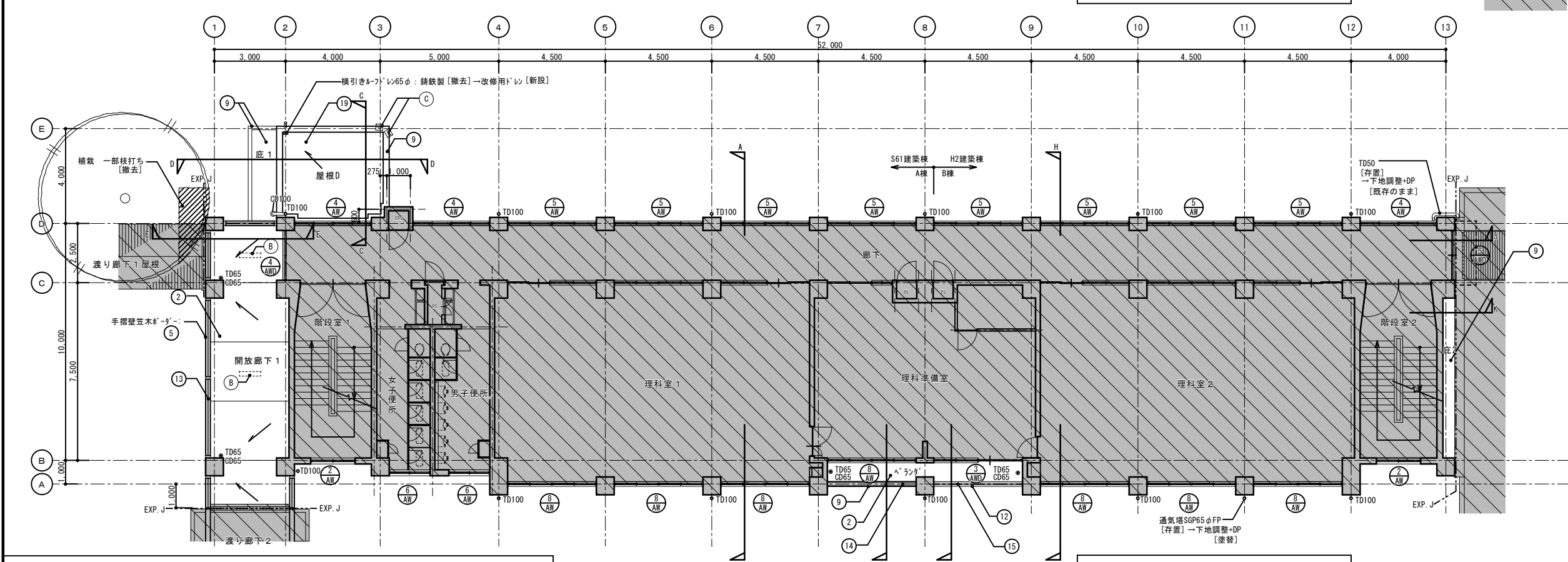
外壁改修仕上表					
	部 位	既 設 仕 上	補修処理内容	改 修 仕 上	備 考
A 棟	外 壁	南面	モルタル刷毛引の上 アクリルシリン吹付 ステンレス流し廻り：モルタル下地、50角磁器質タイル	劣化改修図による	タイル面：水洗い
		北面	モルタル刷毛引の上 アクリルシリン吹付	劣化改修図による	下地調整（C1）の上、防水形複層塗材RE
		東面	モルタル刷毛引の上 アクリルシリン吹付	劣化改修図による	下地調整（C1）の上、防水形複層塗材RE
		西面	－	－	－
		テラス床・犬走	モルタル金釘押え	劣化改修図による	水洗い
		巾 木	モルタル金釘押え	劣化改修図による	下地調整（C1）の上、防水形複層塗材RE
		庇1 見付部	モルタル刷毛引 アクリルシリン吹付	劣化改修図による	下地調整（C1）の上、防水形複層塗材RE
		庇1 裏面	コンクリート打放しの上、アクリルシリン吹付	劣化改修図による	下地調整（C1）の上、外装薄塗材E
		梁 型	モルタル刷毛引の上 アクリルシリン吹付	劣化改修図による	下地調整（C1）の上、防水形複層塗材RE
		塔屋内部	コンクリート打放し 素地	劣化改修図による	既存のまま
		ハーフット外壁	モルタル刷毛引の上 吹付タイル	劣化改修図による	下地調整（C1）の上、防水形複層塗材RE
		軒裏・軒裏梁型	コンクリート打放下地、アクリルシリン吹付	劣化改修図による	下地調整（C1）の上、外装薄塗材E
	ハーフット内	床	防水モルタル金釘押え	高圧水洗浄	平場長尺防滑性塩ビシート張り t＝2.5（下地、超速硬化ウレタン防水） 排水ドレン・中継ドレン：下地調整（RB種）の上、変性1※ 杉樹脂塗料
		巾木	防水モルタル金釘押え	高圧水洗浄	ウレタン塗膜防水（X-2）
		壁	モルタル刷毛引の上 アクリルシリン吹付	劣化改修図による	下地調整（C1）の上、防水形複層塗材RE
		スラブ 裏	コンクリート打放し下地、アクリルシリン吹付	劣化改修図による	下地調整（C1）の上、外装薄塗材E
		梁 型	モルタル刷毛引の上 アクリルシリン吹付	劣化改修図による	下地調整（C1）の上、防水形複層塗材RE
		建具廻り	面台 アルミサッシ2重水切り		既存のまま
	建具廻り	外壁取合	シーリング 15×10	既存撤去処分 7※※t含有みなし1※※t	シーリング（MS-2）打替え
		鋼製建具	スチール製 FP	既存のまま	下地調整（RB種）の上、DP
		堅樋		既存撤去処分	カーVP・ステンレス製摺み金物@1500共
	開放廊下 1（2F～3F）	床	防水モルタル金釘押え	高圧水洗浄	平場長尺防滑性塩ビシート張り t＝2.5（下地：ウレタン塗膜防水（X-2）） 排水ドレン・中継ドレン：既存のまま
		巾木	防水モルタル金釘押え	高圧水洗浄	ウレタン塗膜防水（X-2）
		壁	モルタル刷毛引の上 アクリルシリン吹付	劣化改修図による	下地調整（C1）の上、防水形複層塗材RE
		手摺壁	モルタル刷毛引きの上、アクリルシリン吹付、一部手摺3方※t一部：モルタル刷毛引きの上、吹付タイル	劣化改修図による	下地調整（C1）の上、防水形複層塗材RE
		スラブ 裏	コンクリート打放し下地、アクリルシリン吹付	劣化改修図による	下地調整（C1）の上、外装薄塗材E
		梁 型	モルタル刷毛引の上 アクリルシリン吹付	劣化改修図による	下地調整（C1）の上、防水形複層塗材RE

外壁改修仕上表					
	部 位	既 設 仕 上	補修処理内容	改 修 仕 上	備 考
B 棟	外 壁	南面	モルタル刷毛引の上 アクリルシリン吹付 ステンレス流し廻り：モルタル下地、50角磁器質タイル	劣化改修図による	下地調整（C1）の上、防水形複層塗材RE
		北面	モルタル刷毛引の上 アクリルシリン吹付	劣化改修図による	下地調整（C1）の上、防水形複層塗材RE
		東面	－	劣化改修図による	下地調整（C1）の上、防水形複層塗材RE
		西面	モルタル刷毛引の上 アクリルシリン吹付	－	－
		テラス床・犬走	モルタル金釘押え	劣化改修図による	水洗い
		巾 木	モルタル金釘押え	劣化改修図による	下地調整（C1）の上、防水形複層塗材RE
		庇3 小口部	モルタル刷毛引 アクリルシリン吹付 （庇2の小口は上記防水改修仕上表の底部参照）	劣化改修図による	下地調整（C1）の上、外装薄塗材E
		庇2・庇3 裏面	コンクリート打放しの上、アクリルシリン吹付	劣化改修図による	下地調整（C1）の上、外装薄塗材E
		梁 型	モルタル刷毛引の上 アクリルシリン吹付	劣化改修図による	下地調整（C1）の上、防水形複層塗材RE
		ハーフット外壁	モルタル刷毛引の上 吹付タイル	劣化改修図による	下地調整（C1）の上、防水形複層塗材RE
		軒裏・軒裏梁型	コンクリート打放下地 アクリルシリン吹付	劣化改修図による	下地調整（C1）の上、外装薄塗材E
	ハーフット内	床	防水モルタル金釘押え	高圧水洗浄	平場長尺防滑性塩ビシート張り t＝2.5（下地：ウレタン塗膜防水（X-2）） 排水ドレン・中継ドレン：既存のまま
		巾木	防水モルタル金釘押え	高圧水洗浄	ウレタン塗膜防水（X-2）
		壁	モルタル刷毛引の上 アクリルシリン吹付	劣化改修図による	下地調整（C1）の上、防水形複層塗材RE
		スラブ 裏	コンクリート打放下地、アクリルシリン吹付	劣化改修図による	下地調整（C1）の上、外装薄塗材E
		梁 型	モルタル刷毛引の上 アクリルシリン吹付	劣化改修図による	下地調整（C1）の上、防水形複層塗材RE
		建具廻り	面台 アルミサッシ2重水切り		既存のまま
	建具廻り	外壁取合	シーリング 15×10	既存撤去処分 1※t	シーリング（MS-2）打替え
		堅樋		既存撤去処分	カーVP・ステンレス製摺み金物@1500共 一部隣接等EXP部堅樋：下地調整（RB種）の上、DP塗装

工事名					岡山市立興除中学校校舎棟長寿命化予防改修工事		No.		株式会社 彩 工 房 建築設計室	
図面名					外部仕上表		縮尺	A-11		
							-			
岡山市					都市整備局		住宅・建築部		公共建築課	
							令和 7年 6月		A-31	
課長		課長補佐		係長		課員		担当者		承認
										検図
										製図



1階 平面図 S=1/100

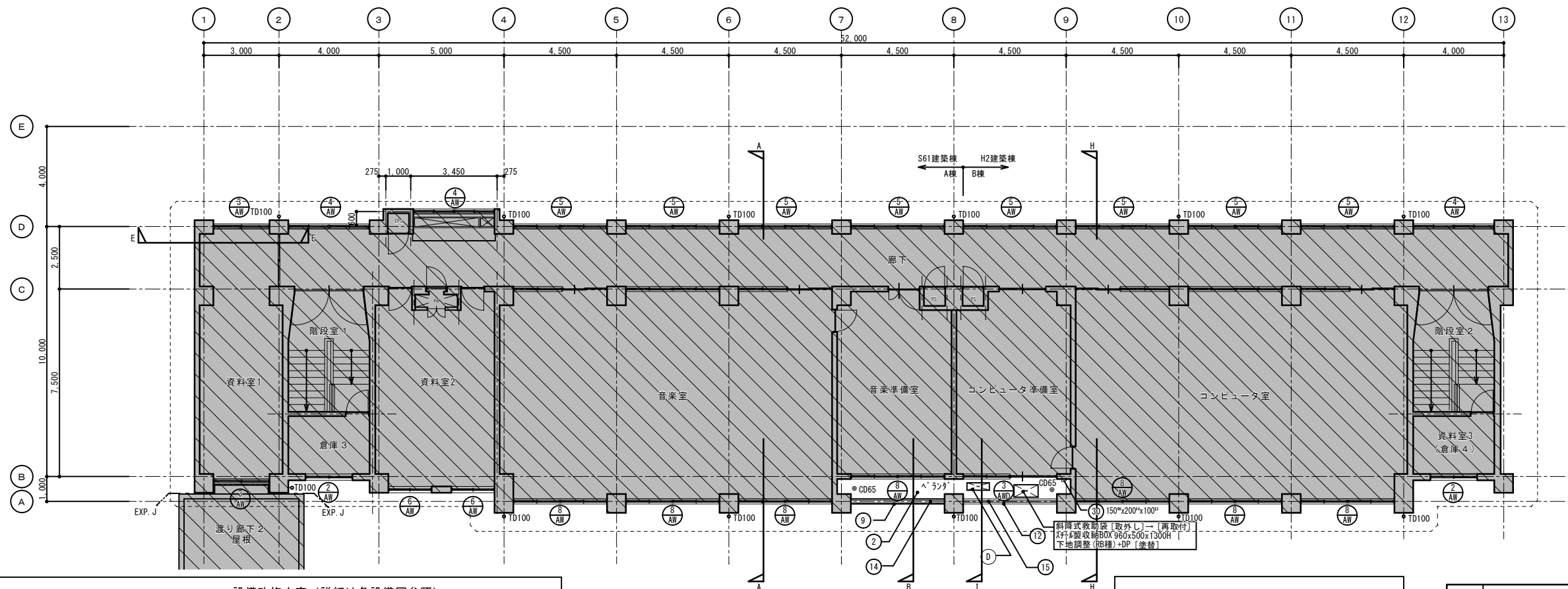


2階 平面図 S=1/100

設備改修内容（詳細は各設備図参照）				
A	屋外照明器具(5カ所)	[撤去]	3Fバルコニー 空調設備室外機 (1カ所)	[取外し]
	LED照明	[新設]		既設室外機
B	開放廊下照明器具(6カ所)	[撤去]	設備配管 (※防水上への配管支持金物(8カ所)は[取外し]・[再取付]有り)	[存置]
	LED照明	[新設]		既設配管養生
C	スピーカー2台	[撤去]	設備配管、タンク、器具等、破線部は[存置]養生の上、[美装]とする。	
	既設同等品	[新設]		

改修内容	
符号	改修前 改修後
①	汚床・路面・蹴上面・犬走・排水金引押え [水洗い] 既設面 [既存のまま]
②	開放廊下・ベランダ・床・防水排水金引押え 立上りH100共 [高圧洗浄] 防水塗膜防水・長尺シート (防漏)・立上り・防水塗膜防水まで [新設]
③	巾木・排水金引押え [高圧洗浄] 下地調整 (C1)・防水型複層塗材貼 [新設]
④	壁・柱型・梁型・排水金引引き7711/11 [高圧洗浄] 下地調整 (C1)・防水型複層塗材貼 [塗替]
⑤	軒先・一部手摺壁・排水金引吹付54 [高圧洗浄] 下地調整 (C1)・防水型複層塗材貼 [塗替]
⑥	高架水槽置場内壁・コンクリート打放し素地 [高圧洗浄] 既設面 [既存のまま]
⑦	高架水槽置場梁型・排水金引押え [高圧洗浄] 既設面 [既存のまま]
⑧	応裏・3F・裏・軒先梁型・軒先・コンクリート打放し下地 7711/11吹付 [高圧洗浄] 下地調整 (C1)・外装薄塗材貼 [塗替]
⑨	笠木・応天端・応壁際立上H100・防水排水金引押え [高圧洗浄] 防水塗膜防水 (K-2) [新設]
⑩	屋上防水7711・配管ヒヤ・水槽基礎・排水金引下地防水塗膜防水 (K-2) [高圧洗浄] 防水塗膜防水 (K-2) [塗替]
⑪	音響リバー部・排水金引押え ステンレス・排水目皿 [水洗い] ※リバー部は別途工事 (備品) とする [既存のまま]
⑫	7711製笠木 [存置] 既設面 [既存のまま]
⑬	手摺: □-100x50x2.0 SUS304 支柱: □-25x25x1.5 SUS304 [存置] 既設面 [既存のまま]
⑭	手摺: □-100x50x2.0 支柱: □-80x40x1.5 横棒: □-61x32x1.5 [存置] 手摺: □-21x21x1.5 H119.5 すべて SUS304 [存置]
⑮	手摺: 65x45 支柱: 50x50 横棒: 45x33 手摺子: 20x20H130 すべて7711製 [存置] 既設面 [既存のまま]
⑯	既設シート防水下地・塩ビシート防水 (S1-M2) ※外断熱層有り [高圧洗浄] 既設シート防水下地・塩ビシート防水 (S-M2) [新設]
⑰	排水溝及びリバー部・屋根A 塩ビシート防水 (S-F2) 屋根C ゴムシート防水 [撤去] 下地調整 (※リバー部は[存置]の上、塩ビシート防水 (S-F2) [新設]
⑱	バルコニー立上り・天端・屋根A 塩ビシート防水 (S-F2) 屋根C ゴムシート防水 [撤去] 下地調整 (※リバー部は[存置]の上、塩ビシート防水 (S-F2) [新設]
⑲	加断熱シート防水7711・排水金引7711・110 屋根D平場 [存置] 屋根C [撤去] 平場: 既設防水下地 (断熱部は下地調整の上) 塩ビシート防水 (S-M2) [新設] 既設上地・110 下地調整 (※リバー部は[存置]の上、塩ビシート防水 (S-F2) [新設]
⑳	防水押え7711金物 [撤去] 防水押え7711金物 [新設]
㉑	ステンレス製脱気筒 (既設7カ所) [撤去] ステンレス製脱気筒 (1カ所/50m) [新設]
㉒	ステンレス製脱気筒: FP [存置] 下地調整 (R6種)・DP [塗替]
㉓	床下換気7711100φ (特記なき限りステンレス製) * = S: ステンレス 共 [存置] 既設面 [既存のまま]
㉔	天井裏換気口: 塩ビ製60φ (2箇所/1スリット) 合計48カ所 [存置] 下地調整・DP [塗替]
㉕	目隠しレバー・ガラス7711/11 H-2 スリット 共 [存置] 既設面 [既存のまま]
㉖	レバー下地鉄骨: 横材 □-100x100x4.5 PL-9x150x300 FP塗 [存置] 縦材 □-50x50x2.3 FP塗 [存置] 下地調整 (R6種)・DP [塗替]
㉗	高架水槽置場天井: 溶融亜鉛付鉄骨 [存置] 既設面 [既存のまま]
㉘	屋上点検口: ステンレス製500角 [存置] 既設面 [既存のまま]
㉙	ステンレスラップ 19φ 11箇所 [存置] 既設面 [既存のまま]
㉚	設備ステンレスBOX FP ** x ** x ** ** = S: ステンレス製 [存置] 下地調整 (R6種)・DP [塗替] ステンレス製の場合: [美装]
㉛	排水金引下地 45角磁器蓋54 [水洗い] 既設面 [美装]
㉜	面台: 人造大理石1200x250 [存置] 既設面 [美装]
㉝	ステンレス製流し [存置] 既設面 [水洗い]
㉞	換気7711: 350角 (特記なき限りステンレス製) ** = S: ステンレス製: 9カ所共 [存置] 下地調整 (R6種)・DP [塗替] ステンレス製の場合: [既存のまま]
㉟	壁柱: SGP管・掘込み金物φ1500共 ** = 管径を示す [撤去] 壁柱: 7711・ステンレス掘込み金物φ1500共 [新設]
㊱	7711: 樹脂製改修用7711 ** = 管径を示す 特記なき限り [撤去] 樹脂製改修用7711 [新設] 特記なき限り [新設]
㊲	ベランダ用7711・中継7711: 鉄製 ** = 管径を示す [存置] 既設面 [既存のまま]
㊳	防球ネット (または防鳥ネット) [取外し] 既設ネット [再取付]
㊴	床具調子・7711水切り下地・地金物取合い目地: 15x10 [撤去] シリング (MS-2) 15x10 [打替]
㊵	打替・スリット・笠木・立上り排水目地部: シリング 15x10 B棟のみ [撤去] シリング (PU-2) 15x10 A棟は[新設]・B棟は[打替] 誘発目地共通で [新設]
㊶	撤去部・範囲を示す [撤去] 撤去後の新設範囲を示す (矩計図・地詳細図を除く) [新設]
㊷	建具符号を示す
㊸	工事範囲外を示す

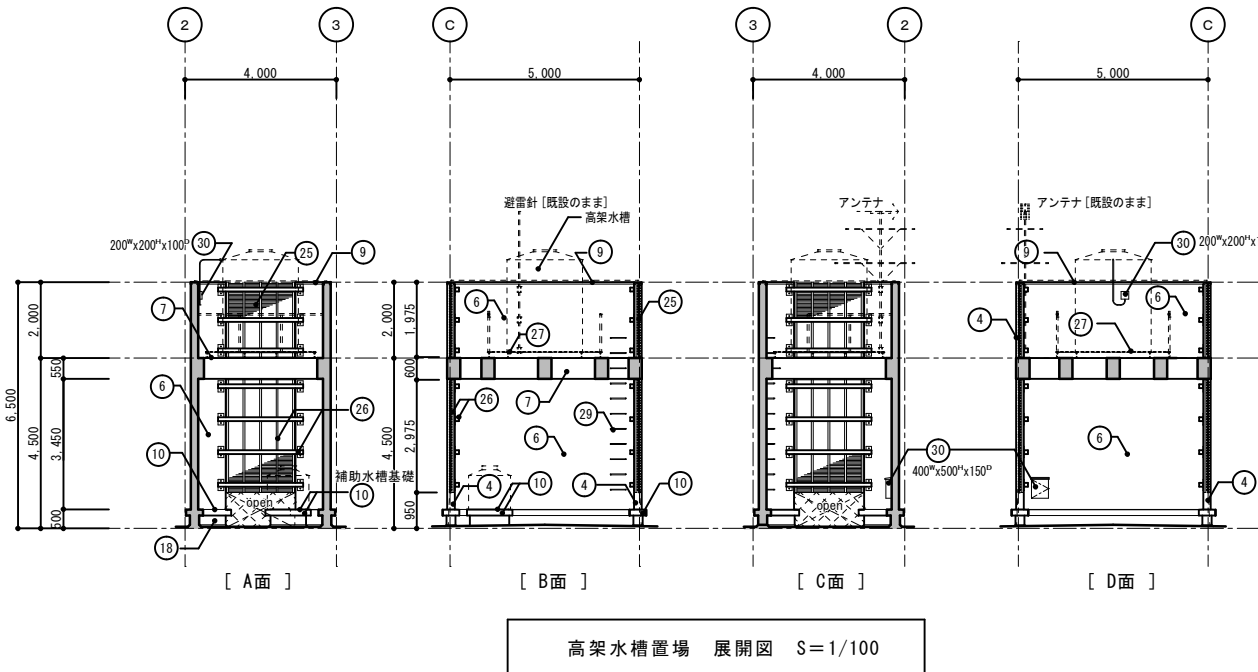
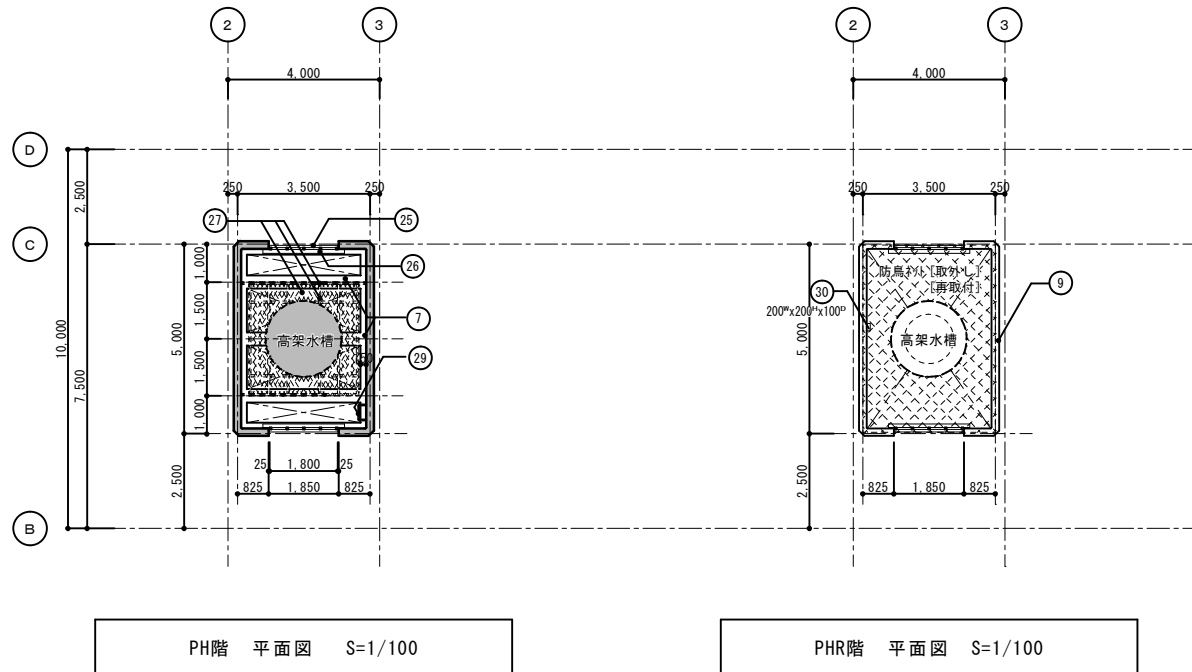
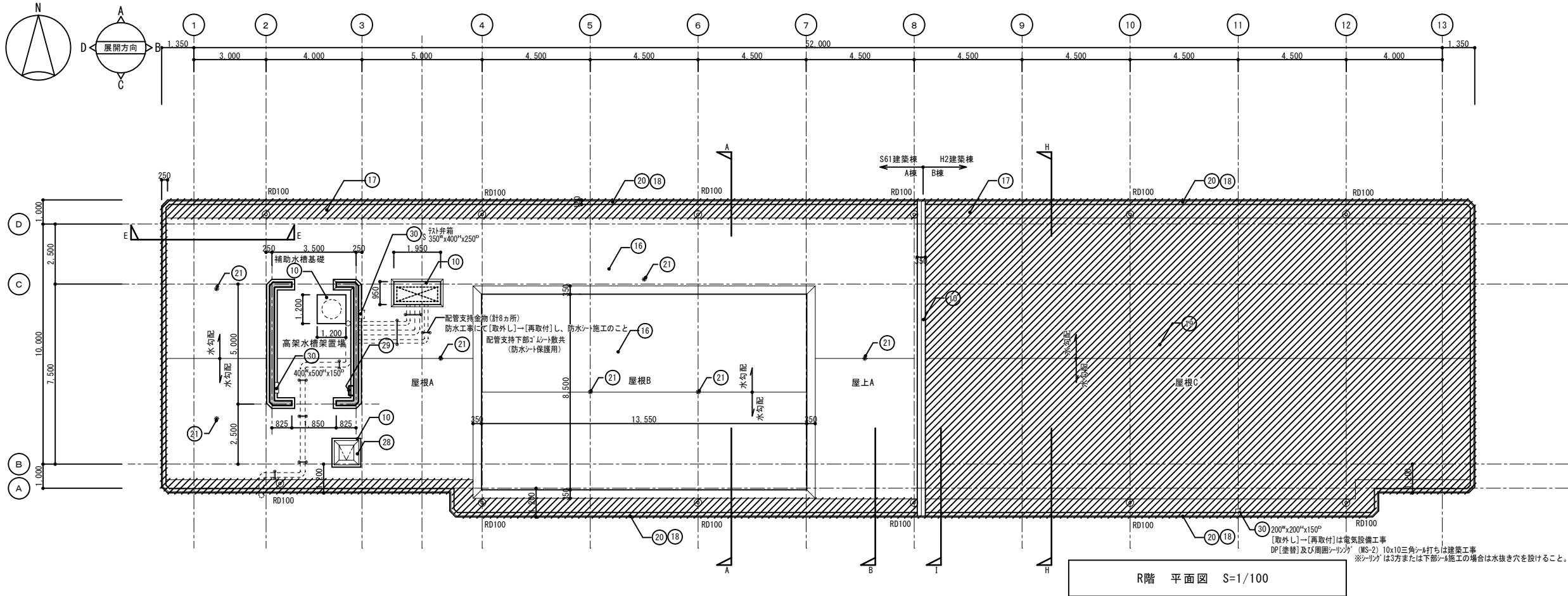
工事名	岡山市立興除中学校校舎棟長寿命化予防改修工事	N. 1	株式会社 彩工房 建築設計室
図面名	改修 1階・2階 平面図	縮尺 1/100	一級建築士事務所 岡山県知事登録 第14791号 一級建築士登録 第279247号 宮原 正徳
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	令和 7年 6月	担当 承認 検閲 製図	
課長 課長補佐 係長 課員			



設備改修内容（詳細は各設備図参照）					
(A)	屋外照明器具（5カ所） LED照明	[撤去] [新設]	(D)	3Fベランダ 空調設備室外機（1カ所） 既設室外機	[取外し] [再取付]
(B)	開放地下照明器具（6カ所） LED照明	[撤去] [新設]	C	設備配管（排水口上の配管支持金物（8カ所）は[取外し]・[再取付有り]	[存在] [美装]
(C)	スピーカー 2台 既設同等品	[撤去] [新設]		設備配管、タンク、器具等、破損部は[存在]養生の上、[美装]とする。	

工事名 岡山市立興除中学校校舎棟長寿命化予防改修工事					No. A-13		株式会社 彩工房 建築設計室	
図面名 改修 3階・4階 平面図				縮尺 1/100	A-31		一般建築士事務所 岡山県知事登録 第1479号 一般建築士登録 第272472号 支部 正庫	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和 7年 6月			承認	確認
課長	課長補佐	係長	課員	担当書	承認		製図	

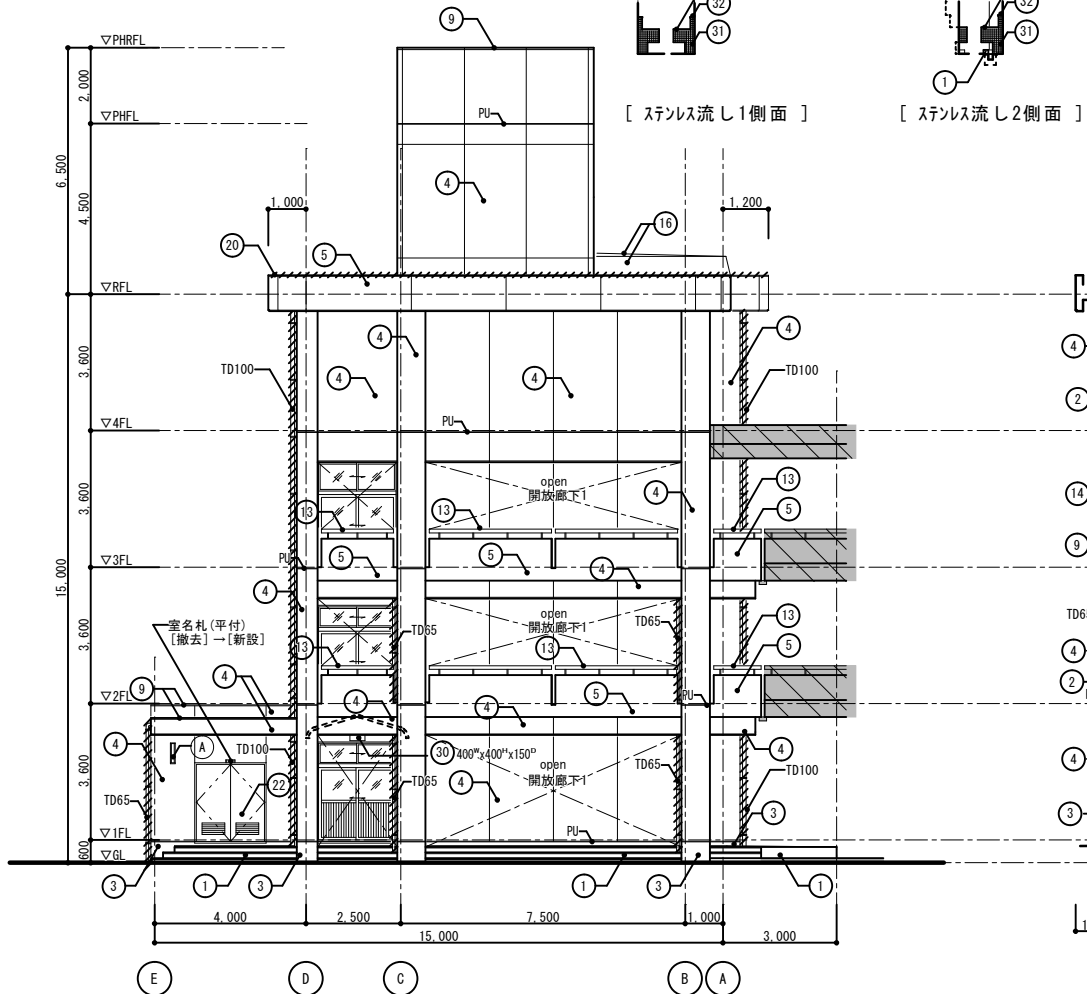




改修内容	
符号	改修前 改修後
①	汚床・路面・蹴上面・犬走: 防水金押し [水洗い] 既設面 [既存のまま]
②	開放廊下・ベランダ: 床: 防水金押し押え 立上りH100共 [高圧洗浄] 防水金押し押え (防水)・立上り・防水金押し押えまで [新設]
③	巾木: 防水金押し押え [高圧洗浄] 下地調整 (C1)+防水型複層塗材 [新設]
④	壁・柱型・梁型: 防水金押し押え 777777 [高圧洗浄] 下地調整 (C1)+防水型複層塗材 [塗替]
⑤	軒先・一部手摺壁: 防水金押し押え 吹付け [高圧洗浄] 下地調整 (C1)+防水型複層塗材 [塗替]
⑥	高架水槽置場内壁: コンクリート打放し素地 [高圧洗浄] 既設面 [既存のまま]
⑦	高架水槽置場梁型: 防水金押し押え [高圧洗浄] 既設面 [既存のまま]
⑧	応面・天井・裏・軒先梁型・軒裏: コンクリート打放し素地 777777吹付 [高圧洗浄] 下地調整 (C1)+外装塗材 [塗替]
⑨	笠木・応面・応面立上りH100: 防水金押し押え [高圧洗浄] 防水金押し押え (U-2) [新設]
⑩	屋上防水: 配管・水槽基礎: 防水金押し押え (U-2) [高圧洗浄] 防水金押し押え (U-2) [塗替]
⑪	各階リフト部: 防水金押し押え スリット・排水目皿 [水洗い] ※リフト自体は別途工事 (備品) とする [既存のまま]
⑫	777777 [存置] 既設面 [既存のまま]
⑬	手摺: □-100x50x2.0 SUS304 支柱: □-25x25x1.5 SUS304 [存置] 既設面 [既存のまま]
⑭	手摺: □-100x50x2.0 支柱: □-80x40x1.5 横棒: □-61x32x1.5 [存置] 手摺子: □-21x21x1.5 すべて SUS304 [存置] 既設面 [既存のまま]
⑮	手摺: 65x45 支柱: 50x50 横棒: 45x33 手摺子: 20x20x130 すべて 777777 [存置] 既設面 [既存のまま]
⑯	既設: 防水下地・塩ビシート防水 (S1-M2) ※外断熱層あり [高圧洗浄] 既設: 防水下地・塩ビシート防水 (S-M2) [新設]
⑰	排水溝及びリフト部: 屋根A 塩ビシート防水 (S-F2) 屋根C 塩ビシート防水 [撤去] 下地調整 (S-F2) ※塩ビシートの上・塩ビシート防水 (S-F2) [新設]
⑱	ベランダ立上り・天井: 屋根A 塩ビシート防水 (S-F2) 屋根C 塩ビシート防水 [撤去] 下地調整 (S-F2) ※塩ビシートの上・塩ビシート防水 (S-F2) [新設]
⑲	加断熱: 塩ビシート防水 (S-F2) ※塩ビシートの上・塩ビシート防水 (S-F2) 屋根C: 撤去 平床: 既設防水下地 (断熱部は下地調整の上) 塩ビシート防水 (S-M2) [新設] 断熱部: 塩ビシート防水 (S-F2) ※塩ビシートの上・塩ビシート防水 (S-F2) [新設]
⑳	防水金押し押え 777777 [撤去] 防水金押し押え 777777 [新設]
㉑	スリット製脱気筒 (既設7箇所) [撤去] スリット製脱気筒 (1箇所/50m) [新設]
㉒	スリット製脱気筒: FP [存置] 下地調整 (R8種)+DP [塗替]
㉓	床下換気: 777777 (特記なき限りスリット製FP) * = S: スリット製 共 [存置] 既設面 [既存のまま]
㉔	天井裏換気口: 塩ビ製60φ (2箇所/1スリット) 合計48箇所 [存置] 下地処理+DP [塗替]
㉕	目隠し: 777777 (特記なき限りスリット製FP) 共 [存置] 既設面 [既存のまま]
㉖	スリット製脱気筒: 塩ビ製□-100x100x4.5 PL-9x150x300 FP塗 [存置] 線材□-50x50x2.3 FP塗 [塗替] 下地調整 (R8種)+DP [塗替]
㉗	高架水槽置場: 777777: 溶融亜鉛メッキ鉄骨 [存置] 既設面 [既存のまま]
㉘	屋上点検口: スリット製500角 [存置] 既設面 [既存のまま]
㉙	スリット製脱気筒 19φ 11箇所 [存置] 既設面 [既存のまま]
㉚	設備: スリット製 FP ** x ** x ** * = S: スリット製 [存置] 下地調整 (R8種)+DP [塗替] スリット製の場合: [塗替]
㉛	防水金押し押え 45角磁器質 [水洗い] 既設面 [塗替]
㉜	面材: 人達大理石1200x250 [存置] 既設面 [塗替]
㉝	スリット製流し [存置] 既設面 [水洗い]
㉞	換気: 350角 (特記なき限りスリット製FP) ** = S: スリット製: 9箇所共 [存置] 下地調整 (R8種)+DP [塗替] スリット製の場合: [既存のまま]
㉟	壁: SGP管・掘込み金物φ1500共 FP ** = 管径を示す [撤去] 壁: 777777・スリット製掘込み金物φ1500共 [新設]
㊱	777777: 樹脂製改修用ドレン ** = 管径を示す 特記なき限り [撤去] 樹脂製改修用ドレン [新設]
㊲	ベランダ用ドレン・中継ドレン: 鋼鉄製 ** = 管径を示す [存置] 既設面 [既存のまま]
㊳	防球ネット (または防鳥ネット) [取外し] 既設: [再取付]
㊴	建具: 777777: 777777下地・地金物取合い目地: 15x10 [撤去] 777777 (MS-2) 15x10 [打替]
㊵	打替: スリット・笠木・立上り目地部: スリット 15x10 B種のみ [撤去] 777777 (PU-2) 15x10 A種は [新設] B種は [打替] 諸君目地共通で [新設]
㊶	撤去部・範囲を示す [撤去] 撤去後の新設範囲を示す (矩計図・他詳細図を除く) [新設]
㊷	建具符号を示す [存置]
㊸	工事範囲を示す [新設]

設備改修内容 (詳細は各設備図参照)			
A	屋外照明器具 (5カ所) LED照明 [撤去] LED照明 [新設]	D	3Fベランダ部 空調設備室外機 (1カ所) 既設室外機 [取外し] 既設室外機 [再取付]
B	開放廊下照明器具 (6カ所) LED照明 [撤去] LED照明 [新設]	C	設備配管 (※防水上の配管支持金物 (8カ所) は [取外し]・[再取付] 有り) [存置] 既設配管養生 [塗替]
C	スピーカー2台 既設同等品 [撤去] 既設同等品 [新設]	E	設備配管・タンク・器具等・破損部は [存置] 養生の上・[塗替] とする。

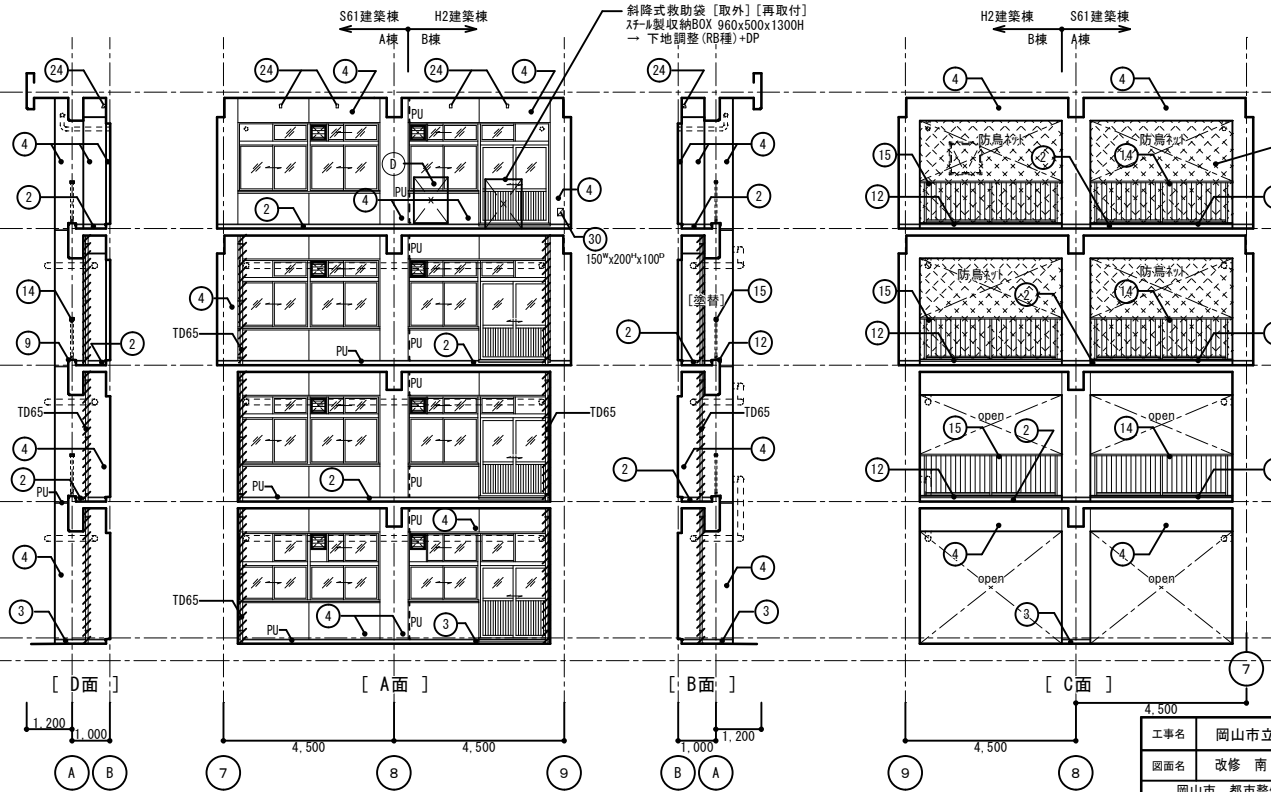
工事名	岡山市立立興中学校校舎棟長寿命化予防改修工事			N o .	株式会社 彩 工 房 建築設計室	
図面名	改修 R階、PH階 平面図、高架水槽置場展開図			縮尺	A-14 A-31	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和 7年 6月	一級建築士事務所 岡山県知事登録 第14791号 一級建築士登録 第279247号 宮原 正 様	
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検印



西立面図 S=1/100

※特記なき限り図示既設材誘発目地は既設シーリング無しのため  
改修にてシーリング (PU-2) 15x10[新設]とする。(A棟・B棟共通)

設備改修内容（詳細は各設備図参照）					
A	屋外照明器具(5カ所)	[撤去]	D	3Fベランダ部 空調設備室外機 (1カ所)	[取外し]
	LED照明	[新設]		既設室外機	[再取付]
B	開放廊下照明器具(6カ所)	[撤去]	C	設備配管 (※防水工事上の配管支持金物(8カ所)は[取外し]・[再取付]有り)	[存置]
	LED照明	[新設]			既設配管養生
C	スピーカー 2台	[撤去]	E	設備配管、タンク、器具等、破線部は[存置]養生の上、[美装]とする。	
	既設同等品	[新設]			

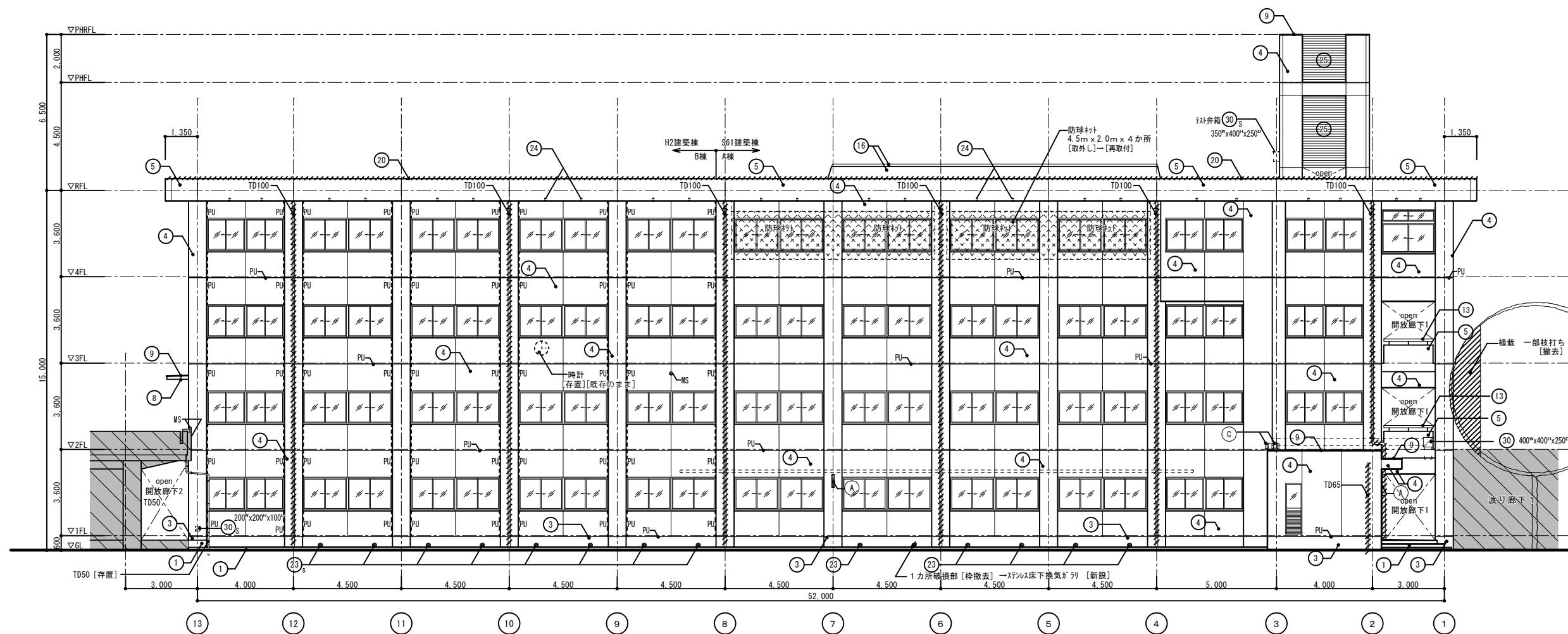


ベランダ 展開図 S=1/100

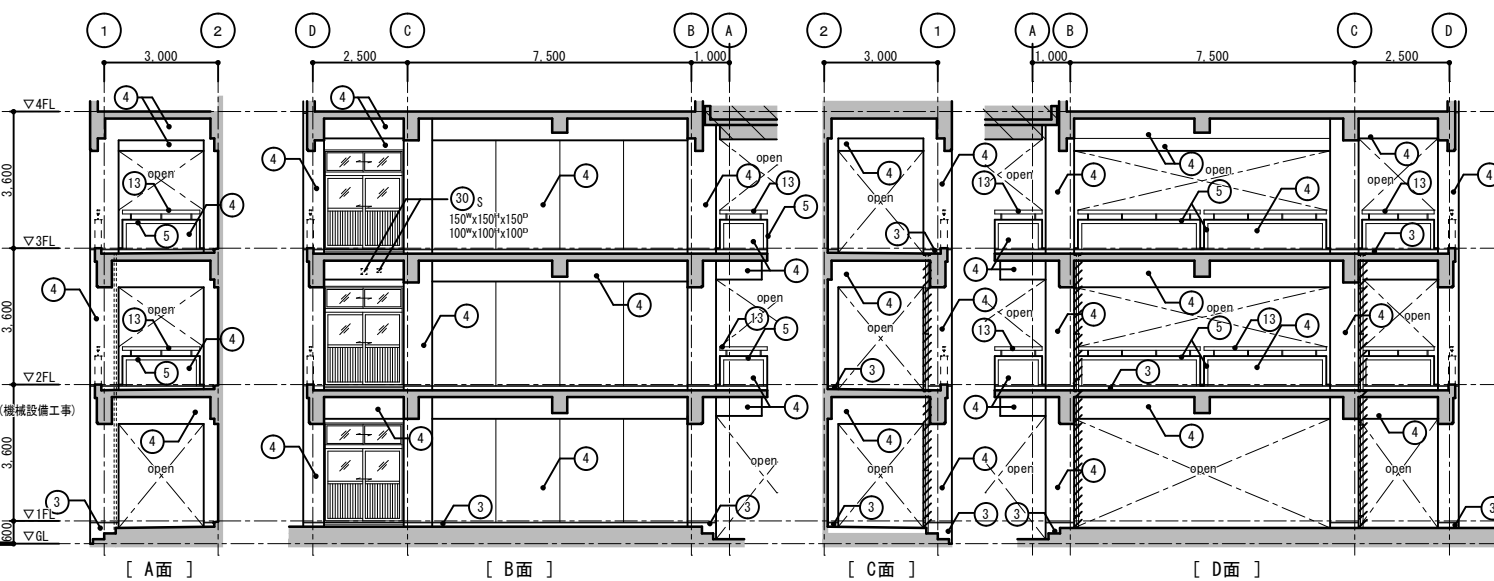
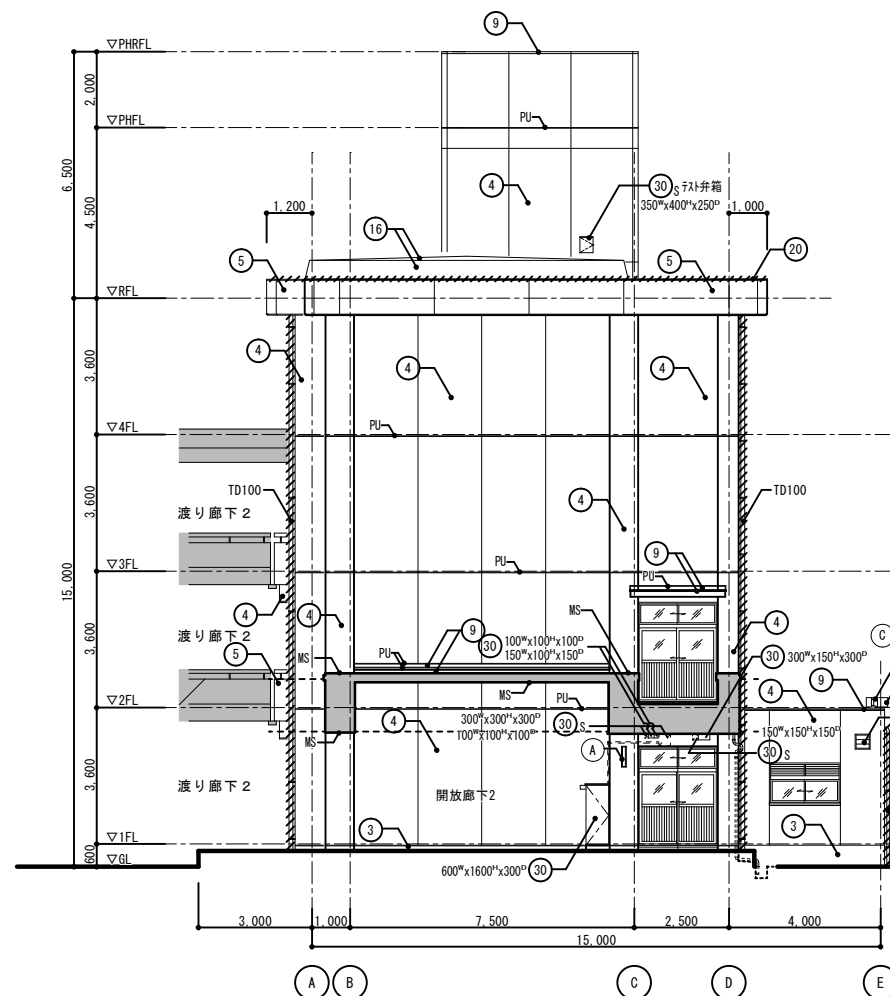
南立面図 S=1/100  
※特記なき限り図示既設材誘発目地は既設シーリング無しのため  
改修にてシーリング (PU-2) 15x10[新設]とする。(A棟・B棟共通)

改修内容		
符号	改修前 改修後	
①	汚床・路面・蹴上・犬走・排水金具押え 既設面	[水洗い] [既存のまま]
②	開放廊下・ベランダ床・防水金具押え 立上りH100共 防水塗膜防水・長尺シート (防漏) 立上り・防水塗膜防水まで	[新設] [新設]
③	巾木・排水金具押え 下地調整 (C1) + 防水型複層塗材	[新設] [新設]
④	壁・柱型・梁型・排水金具引き771111 下地調整 (C1) + 防水型複層塗材	[新設] [新設]
⑤	軒先・一部手摺壁・排水金具引吹付44 下地調整 (C1) + 防水型複層塗材	[新設] [新設]
⑥	高架水槽置場内壁: コンクリート打放し素地 既設面	[新設] [既存のまま]
⑦	高架水槽置場梁型: 排水金具押え 既設面	[新設] [既存のまま]
⑧	応裏・357・裏・軒先梁型・軒裏: コンクリート打放し素地 771111吹付 下地調整 (C1) + 外装薄塗材	[新設] [新設]
⑨	空木・応天端・応天端上H100: 防水金具押え 防水塗膜防水 (K-2)	[新設] [新設]
⑩	屋上防水77・配管引き・水槽基礎: 防水金具押え防水 (K-2) 防水塗膜防水 (K-2)	[新設] [新設]
⑪	寄置り44部: 排水金具押え スチール棒・排水目皿 ※44自体は別途工事 (備品) となる	[水洗い] [既存のまま]
⑫	771111空木 既設面	[存置] [既存のまま]
⑬	手摺: □-100x50x2.0 SUS304 支柱: □-25x25x1.5 SUS304 既設面	[存置] [既存のまま]
⑭	手摺: □-100x50x2.0 支柱: □-80x40x1.5 横棒: □-61x32x1.5 手摺子: □-21x21x1.5H119.5 すべてSUS304 既設面	[存置] [既存のまま]
⑮	手摺: 65x45 支柱: 50x50 横棒: 45x33 手摺子: 20x20H130 すべて771111製 既設面	[存置] [既存のまま]
⑯	既設77防水下地: 塩ビシート防水 (S1-M2) ※外断熱層有り 既設77防水下地: 塩ビシート防水 (S-M2)	[新設] [新設]
⑰	排水溝及び44部・屋根A 塩ビシート防水 (S-F2) 屋根C 塩ビシート防水 下地調整 (※77セメント・スチ) の上、塩ビシート防水 (S-F2)	[撤去] [撤去]
⑱	ベランダ立上り・天端: 屋根A 塩ビシート防水 (S-F2) 屋根C 塩ビシート防水 下地調整 (※77セメント・スチ) の上、塩ビシート防水 (S-F2)	[撤去] [撤去]
⑲	加断熱77防水771111・771111・771111・771111・771111・771111・771111・771111 平場: 既設防水下地 (断熱部は下地調整の上) 塩ビシート防水 (S-M2) 断熱部は771111・771111・771111・771111・771111・771111・771111・771111	[撤去] [撤去]
⑳	防水押え771111金物 防水押え771111金物	[撤去] [撤去]
㉑	スチール製脱気筒 (既設7カ所) スチール製脱気筒 (1カ所/50m)	[撤去] [撤去]
㉒	スチール製脱気筒: FP 下地調整 (R8種) + DP	[存置] [存置]
㉓	床下換気771111 (特記なき限り771111製FP) ※S: スチール製 共 [存置] 既設面	[存置] [既存のまま]
㉔	天井裏換気口: 塩ビ製60φ (2箇所/1カ所) 合計48カ所 下地調整 + DP	[存置] [撤去]
㉕	目隠し771111・771111・771111・771111・771111・771111・771111・771111 既設面	[存置] [既存のまま]
㉖	771111・771111・771111・771111・771111・771111・771111・771111 下地調整 (R8種) + DP	[存置] [撤去]
㉗	高架水槽置場771111・771111・771111・771111・771111・771111・771111・771111 既設面	[存置] [既存のまま]
㉘	屋上点検口: スチール製500角 既設面	[存置] [既存のまま]
㉙	スチール製771111 11箇所 既設面	[存置] [既存のまま]
㉚	設備771111 BOX FP ** x ** x ** ※S: スチール製 [存置] 下地調整 (R8種) + DP [撤去]	[存置] [撤去]
㉛	排水金具 45角磁器製771111 既設面	[水洗い] [美装]
㉜	面材: 人達大理石1200x250 既設面	[存置] [美装]
㉝	スチール製流し 既設面	[存置] [水洗い]
㉞	換気771111: 350角 (特記なき限り771111製FP) ※S: スチール製 9カ所共 [存置] 下地調整 (R8種) + DP [撤去]	[存置] [撤去]
㉟	壁柱: SGP管・掘込み金物φ1500共 FP ** = 管径を示す [撤去] 壁柱: 771111・771111・771111・771111・771111・771111・771111・771111	[撤去] [新設]
㊱	771111・771111・771111・771111・771111・771111・771111・771111 樹脂製改修用771111 ** = 管径を示す 特記なき限り [撤去] 樹脂製改修用771111 特記なき限り [新設]	[撤去] [新設]
㊲	ベランダ用771111・中継771111: 鉄製 ** = 管径を示す [存置] 既設面	[存置] [既存のまま]
㊳	防球771111 (または防鳥771111) 既設面	[取外し] [再取付]
㊴	器具開口: 771111水切り下地: 地金物取合い目地: 15x10 シーリング (MS-2) 15x10	[撤去] [打替]
㊵	打替・スチール・空木・立上り771111目地部: シーリング 15x10 B棟のみ [撤去] シーリング (PU-2) 15x10 A棟は [新設] B棟は [打替] 誘発目地共通 [新設]	[撤去] [新設]
㊶	撤去部・範囲を示す 撤去後の新設範囲を示す (矩計図・地詳細図を除く)	[撤去] [新設]
㊷	建築符号を示す	工事範囲を示す

工事名	岡山市立興隆中学校校舎棟長寿命化予防改修工事	No.	A-15
図面名	改修・南・西立面図・ベランダ展開図	縮尺	1/100
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	令和 7年 6月	担当者	A-31
課長	課長補佐	係長	課員
承認	承認	承認	承認

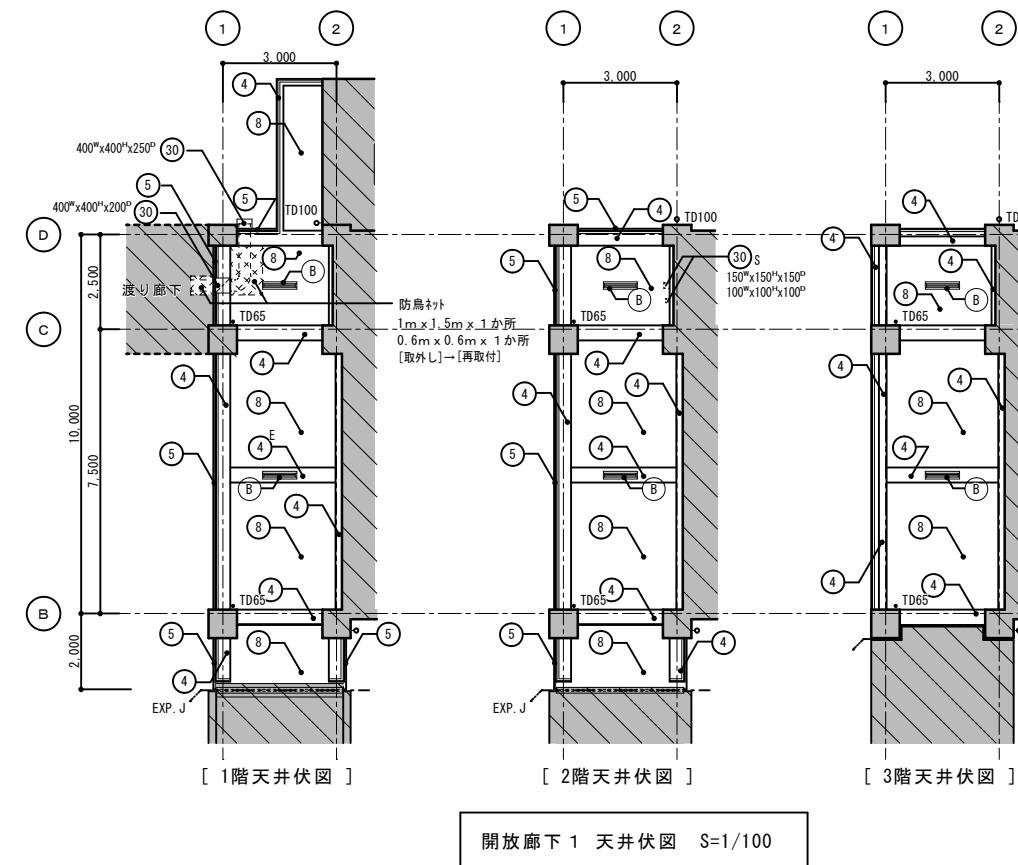



設備改修内容（詳細は各設備図参照）				
(A)	屋外照明器具(5カ所) LED照明	〔撤去〕 〔新設〕	①	3Fベランダ 空調設備室外機 (1台所) 〔取外し〕 既設室外機 〔再取付〕
(B)	開放廊下照明器具(6カ所) LED照明	〔撤去〕 〔新設〕	②	設備配管 (※防水工上の配管支持金物(6ヶ所)は〔取外し〕・〔再取付〕有り) 〔存置〕 既設配管養生 〔美装〕
(C)	スピーカー 2台 既設同等品	〔撤去〕 〔新設〕	③	設備配管、タンク、器具等、破壊部は〔存置〕養生の上、〔美装〕とする。



改修内容	
符号	改修前 改修後
(1)	①床・路面・壁上面・大土・砂金打押え [水洗い] 既設面 [既存のまま]
(2)	②開放階段・ベランダ床・防水砂金打押え 立上りH100共 [高圧洗浄] ③水溝排水防水(長尺P) (防漏)、立上り/カサ塗防水まで [新設]
(3)	④木床・砂金打押え [高圧洗浄] 下地調整(C1)+防水型複層塗材貼 [新設]
(4)	⑤壁・柱型・梁型・砂金刷毛引き7mmリッソ [高圧洗浄] 下地調整(C1)+防水型複層塗材貼 [塗補]
(5)	⑥軒先・一部手摺壁・砂金刷毛引吹付9mm [高圧洗浄] 下地調整(C1)+防水型複層塗材貼 [塗補]
(6)	⑦高築水槽置場内壁面：コンクリート打ちし素地 [高圧洗浄] 既設面 [既存のまま]
(7)	⑧高築水槽置場梁型：砂金打押え [高圧洗浄] 既設面 [既存のまま]
(8)	⑨底床・575 梁型・軒先梁型・軒裏・コンクリート打放下地 7mmリッソ吹付 [高圧洗浄] 下地調整(C1)+外装薄塗材E [塗補]
(9)	⑩笠木・庇天端・庇屋際立上りH100：防水砂金打押え [高圧洗浄] カサ塗防水(K-2) [新設]
(10)	⑪風上防水K7：配管周り・水槽基礎・砂金下地/カサ塗防水(K-2) [高圧洗浄] カサ塗防水(K-2) [塗補]
(11)	⑫音響用7mm板・砂金打押え ステンレス枠・排水目皿 [水洗い] ※7mm自体は別途注文 (備品) とする [既存のまま]
(12)	⑬7mm製笠木 [存在] 既設面 [既存のまま]
(13)	⑭手摺：C100×50x2.0 SUS304 支柱：C125x25x1.5 SUS304 [存在] 既設面 [既存のまま]
(14)	⑮手摺：C100×50x2.0 支柱：C130x40x1.5 横樑：C161x32x1.5 手摺子：C121x21x1.5H1915mmすべてSUS304 [存在] 既設面 [既存のまま]
(15)	⑯手摺 65x45 支柱 50x50 横樑45x33 手摺子 20x20H130 すべて7mm製 [存在] 既設面 [既存のまま]
(16)	⑰既設の防水下地・塩ビシート防水 (S1-S2) ※外断熱層有り [高圧洗浄] 既設の防水下地・塩ビシート防水 (S-W2) [新設]
(17)	⑱排水溝及びバリエーション：屋根A 塩ビシート防水 (S-F2) 屋根C ゴムシート防水 [撤去] 下地調整(δ/アセトンペーシスト)の上、塩ビシート防水 (S-F2) [新設]
(18)	⑲ベランダ立上り・天端・屋根A 塩ビシート防水 (S-F2) 屋根C ゴムシート防水 [撤去] 手摺子(δ/アセトンペーシスト)の上、塩ビシート防水 (S-F2) [新設]
(19)	⑳加断熱シート防水 (R1/R2/S1/S2) t10 屋根平準化 [存在] 屋根C：[撤去] 半導体保管防水下地 (搬送前後は下地調査の上)、塩ビシート防水 (S-W2) [新設] 屋根Cの上層、Lに張り、下地調整(δ/アセトンペーシスト)の上、塩ビシート防水 (S-F2) [新設]
(20)	㉑防水押え7mm金物 [存在] 防水押え7mm金物 [新設]
(21)	㉒ステンレス製気筒架 (既設7箇所) [撤去] ステンレス製気筒架 (1箇所/50m) [新設]
(22)	㉓7mm製建具・FP [存在] 既設面 (RB組)・OP [塗補]
(23)	㉔床下換気口7mm OP (特記なき限り7mm製FP) * = S:ステンレス製 7mm OP [存在] 既設面 [既存のまま]
(24)	㉕天井裏換気口：塩ビ製60φ (2箇所/12m <sup>2</sup> ) 合計48ヶ所 [存在] 下地処理・DP [塗補]
(25)	㉖目隠しロープ=75×75mm <sup>2</sup> H-2 スリット共 [存在] 既設面 [既存のまま]
(26)	㉗天井・下地鉄骨・鋼材C100×100x4.5 PL-9x150x300 FP塗 [存在] 既設面 (RB組)・OP [塗補]
(27)	㉘高築水槽台座：溶融亜鉛メッキ鉄骨 [存在] 既設面 [既存のまま]
(28)	㉙屋上点検口：ステンレス製500角 [存在] 既設面 [既存のまま]
(29)	㉚ステンレス7mm 11箇所 [存在] 既設面 [既存のまま]
(30)	㉛設備箱+ABOX FP ** = x x x x x x x x x x ** = S:ステンレス製 [存在] 下地調整 (RB組)・OP [塗補] ステンレス製の場合：[美観]
(31)	㉜砂金下地 45角部器資材4枚 [水洗い] 既設面 [美観]
(32)	㉝面倉：人達大石120Wx25t [存在] 既設面 [美観]
(33)	㉞ステンレス製洗い [存在] 既設面 [水洗い]
(34)	㉟換気口7mm 350角 (特記なき限り7mm製FP) ** = S:ステンレス製 9箇所共 [存在] 下地調整 (RB組)・OP [塗補] ステンレス製の場合：[既存のまま]
(35)	㊱壁：SQP管・掘込み金物約1500共 FP ** = 管径を示す [撤去] 壁：7mm P・ステンレス掘込み金物約1500共 [新設]
(36)	㊲7mm P・樹脂製改修用ドレ ** = 管径を示す 特記なき限り [撤去] 樹脂製改修用ドレ [新設]
(37)	㊳ベランダ用ドレ + 中継ドレ：鉄線製 ** = 管径を示す [存在] 既設面 [既存のまま]
(38)	㊴防汚ネット(または防鳥网) [取入れ] 既設面 [再取得]
(39)	㊵既着履り・7mm水切り下地・他金物取合い目地：15x10 [撤去] MS 20 15x10 [新設]
(40)	㊶打盤：2x10・笠木・立上り・砂金目地部：7mm P 15x10 B種のみ [撤去] 7mm P (PU-2) 15x10 A種は [新設] B種は [打替] 筋糸目地共に通て [新設]
(41)	㊷撤去面・範囲を示す [撤去] 撤去後の新設範囲を示す (矩計図、他詳細欄を除く) [新設]
(42)	㊸器具符号を示す [存在]
(43)	㊹工事範囲外を示す [存在]

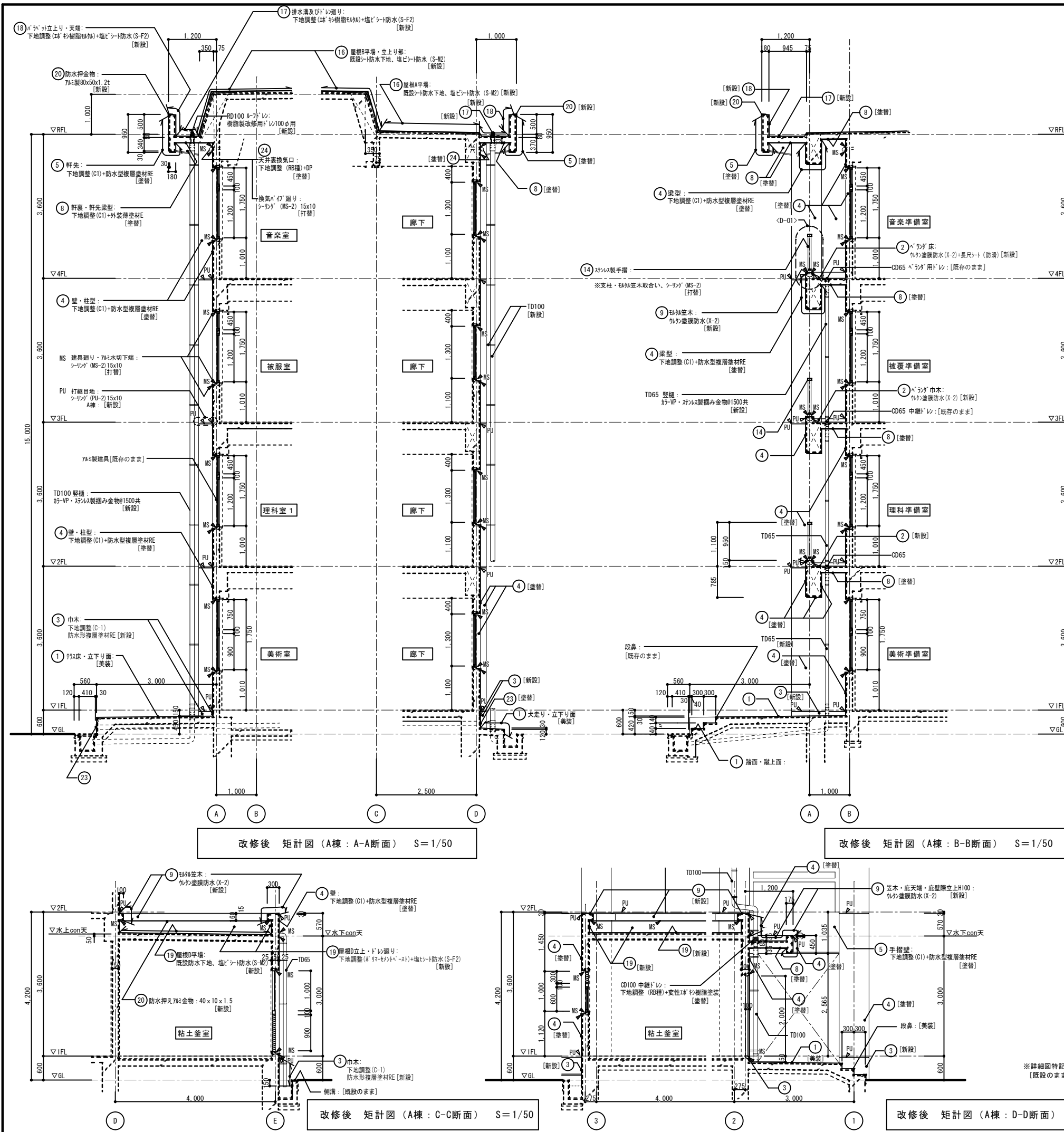
工事名	岡山市立興除中学校校舎棟長寿命化予防改修工事			No.		株式会社 彩工房 建築設計室	
図面名	改修 北・東 立面図・開放廊下1層開閉	換気	1/100	A-16		一般建築士事務所 岡山知事登録 第14791号	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和 7年 6月	A-31	一般建築士登録 第27247号 宮原 正廣	
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図



工事名	岡山市立興隆中学校校舎棟長寿命化予防改修工事			No.	株式会社 彩工房 建築設計室 一級建築士事務所 岡山県知事登録 第14791号 一級建築士登録 第279247号 京原 正規	
図面名	改修 各部天井伏図	縮尺	1/100	 A-17 A-31		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課			令和 7年 6月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当書	承認	捺印

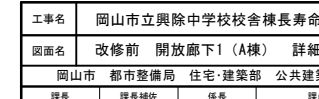
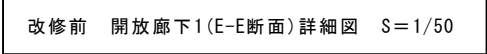
縮小版 A3 50% A1 100%



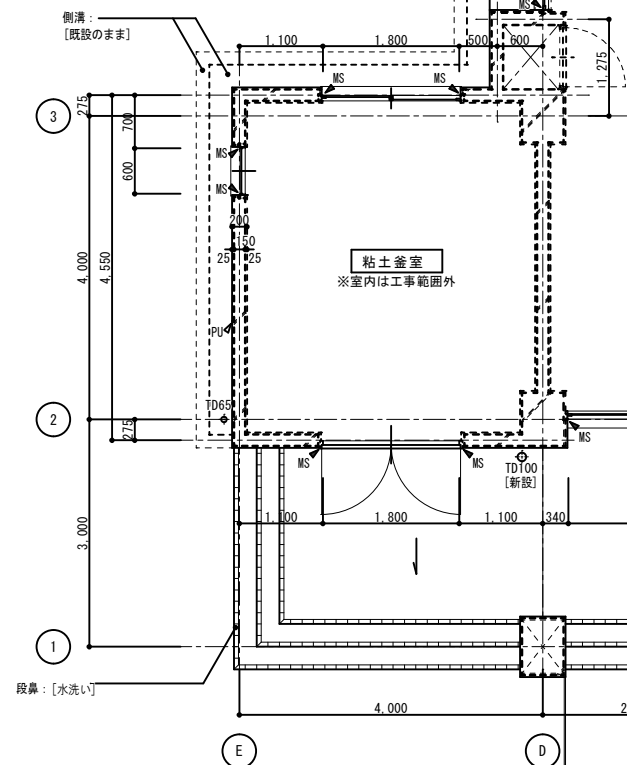
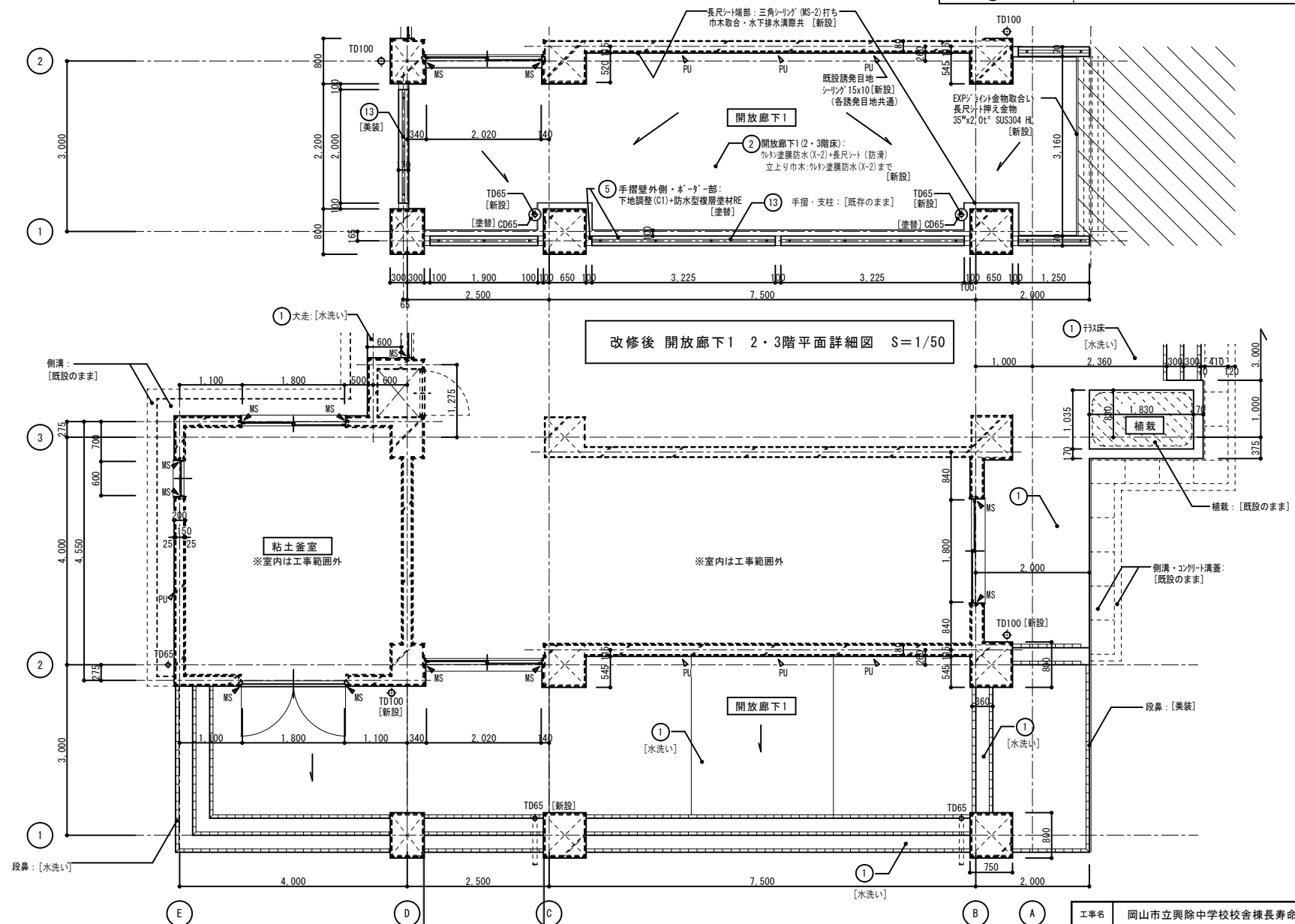
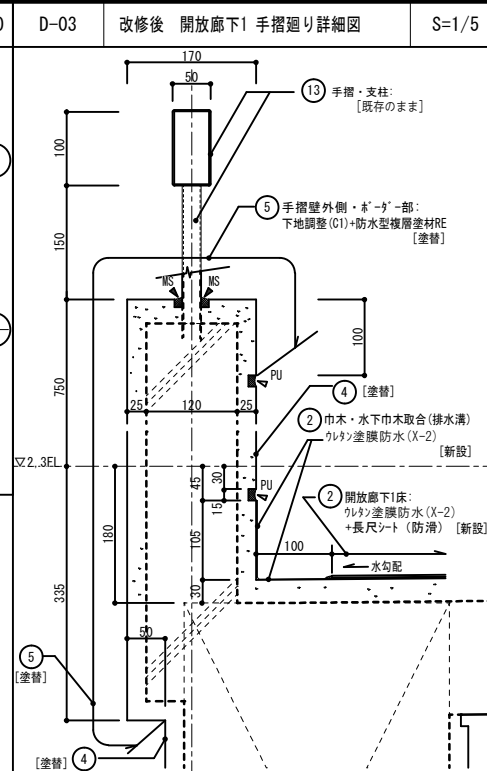
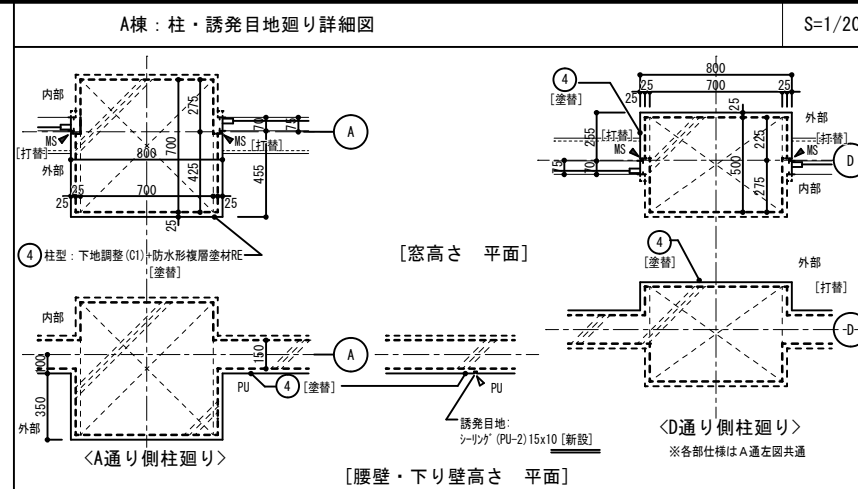
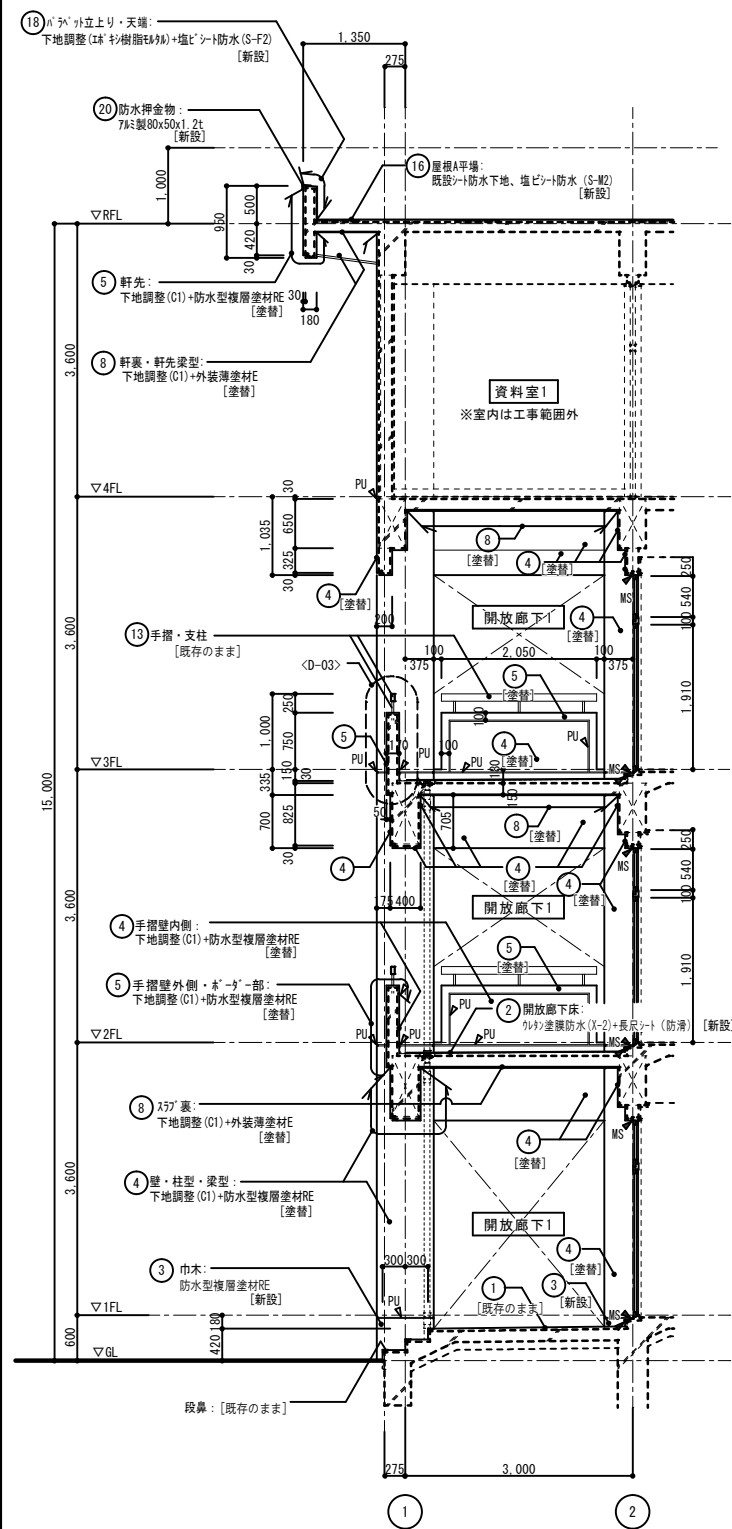


D-01 A棟：改修後 手摺廻り詳細図		S=1/5	改修内容
		14	手摺：[既存のまま]
		1	手摺：[既存のまま]
		2	手摺：[既存のまま]
		3	手摺：[既存のまま]
		4	手摺：[既存のまま]
		5	手摺：[既存のまま]
		6	手摺：[既存のまま]
		7	手摺：[既存のまま]
		8	手摺：[既存のまま]
		9	手摺：[既存のまま]
		10	手摺：[既存のまま]
		11	手摺：[既存のまま]
		12	手摺：[既存のまま]
		13	手摺：[既存のまま]
		14	手摺：[既存のまま]
		15	手摺：[既存のまま]
屋根A, C 側溝部防水シート納まり (参考図)		S=1/5	
		16	排水溝：[既存のまま]
		17	排水溝：[既存のまま]
		18	排水溝：[既存のまま]
		19	排水溝：[既存のまま]
		20	排水溝：[既存のまま]
		21	排水溝：[既存のまま]
		22	排水溝：[既存のまま]
		23	排水溝：[既存のまま]
		24	排水溝：[既存のまま]
		25	排水溝：[既存のまま]
		26	排水溝：[既存のまま]
		27	排水溝：[既存のまま]
		28	排水溝：[既存のまま]
		29	排水溝：[既存のまま]
		30	排水溝：[既存のまま]
屋根D 防水立上り、笠木廻り詳細図		S=1/10	
		31	排水溝：[既存のまま]
		32	排水溝：[既存のまま]
		33	排水溝：[既存のまま]
		34	排水溝：[既存のまま]
		35	排水溝：[既存のまま]
		36	排水溝：[既存のまま]
		37	排水溝：[既存のまま]
		38	排水溝：[既存のまま]
		39	排水溝：[既存のまま]
		40	排水溝：[既存のまま]
		41	排水溝：[既存のまま]
		42	排水溝：[既存のまま]
		43	排水溝：[既存のまま]
		44	排水溝：[既存のまま]
		45	排水溝：[既存のまま]
		46	排水溝：[既存のまま]





工事名	岡山市立興隆中学校校舎長寿命化予防改修工事			N o.	株式会社 彩工房 建築設計室
図面名	改修前 開放廊下！(A棟) 詳細図	縮尺	1/50 1/20 1/5	A-20	一級建築士事務所 岡山県倉敷市 第11791号 一級建築士登録 第279247号 加藤 正博
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和 7年 6月	A-31
図表	建築設備	床表	図表	承認	校印
					捺印



改修内容					
符号	改修前 改修後				
①	汚水床・路面・壁上全面・犬走：珪砂金平押え 既設面	[水洗い] [既存のまま]			
②	間接配下、ベランダ床：防水珪砂金平押え、立上りH100共 カワ塗装防水・長尺入り（断角）、立上りカワ塗装防水まで	[高压洗浄] [新設]			
③	山木：珪砂金平押え 下地調整（C1）・防水型複層塗材貼	[高压洗浄] [新設]			
④	壁・柱型・窓型：珪砂毛引引き7リリシ 下地調整（C1）・防水型複層塗材貼	[高压洗浄] [塗替]			
⑤	軒先・一部手摺壁：珪砂毛引吹付タイル 下地調整（C1）・防水型複層塗材貼	[高压洗浄] [塗替]			
⑥	高架水槽置場内壁：コンクリ打放し素地 既設面	[高压洗浄] [既存のまま]			
⑦	高架水槽置場梁型：珪砂金平押え 既設面	[高压洗浄] [既存のまま]			
⑧	広庭・37°裏・軒先梁型・軒裏：コンクリ打放地下7リリシの吹付 下地調整（C1）・外装複層塗料	[高压洗浄] [塗替]			
⑨	笠木・庇端下・庇壁際立上H100：防水珪砂金平押え 下地調整（K-2）	[高压洗浄] [新設]			
⑩	屋上防水K7・配管周り・水槽基礎：珪砂地下外側準防水（K-2） カワ塗装防水（K-2）	[高压洗浄] [塗替]			
⑪	畜糞リナリ部：珪砂金平押え スパル材・排水目 ※リナリ自体は別途工事（備品）とする	[水洗い] [既存のまま]			
⑫	78×製芝木 既設面	[存置] [既存のまま]			
⑬	手摺：□=100x50x2.0 SUS304 支柱：□=25x25x1.5 SUS304 既設面	[存置] [既存のまま]			
⑭	手摺：□=100x50x2.0 支柱：□=30x40x1.5 横樑：□=61x32x1.5 手摺子：□=21x21x1.5H19以上すべてSUS304 既設面	[存置] [既存のまま]			
⑮	手摺 65x45 支柱 50x50 横樑45x33 手摺子 20x20H130 すべて78×製 既設面	[存置] [既存のまま]			
⑯	既設リナリ防水下地・塩ビシート防水（SI-M2） ※外断熱層有り 既設リナリ防水下地・塩ビシート防水（S-M2）	[高压洗浄] [新設]			
⑰	排水溝及びリナリ廻り：屋根A 塩ビシート防水（S-F2） 屋根C ゴムシート防水 下地調整（K-リナリセパレート）の上、塩ビシート防水（S-F2）	[撤去] [新設]			
⑱	バルコニ立上り・天端・屋根B 塩ビシート防水（S-F2） 屋根C ゴムシート防水 下地調整（K-リナリセパレート）の上、塩ビシート防水（S-F2）	[撤去] [新設]			
⑲	加硫ゴムシート防水・リナリ付「ツ」付 t10 屋根D平準 [存置] 屋根C [撤去] 半準：既設防水下地（敷合部は下地調整の上）、塩ビシート防水（S-M2） 既設面上部よりリナリ廻り、下地調整（K-リナリセパレート）・塩ビシート防水（S-F2）	[撤去] [新設]			
20	防水押え78×金平 防水押え78×金平	[撤去] [新設]			
21	スチロール製脱脂筒（既設78φ） スチロール製脱脂筒（118φ/50m）	[撤去] [新設]			
22	スチロール製建具・FP 下地調整（RB種）+DP	[存置] [塗替]			
23	床下換気グリッド100φ（特記なき限りスチロール製FP） * S：スチロール製 共 既設面	[存置] [既存のまま]			
24	天井裏換気口：塩ビ製60φ（2箇所/12㎡） 合計48か所 下地処理+DP	[存置] [塗替]			
25	目隠しM-1・57-78×7リリシ78×H-2 スリガウ共 既設面	[存置] [既存のまま]			
26	M-1下地鉄骨・機材口100x100x4.5 PL-9x150x300 FP塗 腐材口50x50x3.2 FP塗 下地調整（RB種）+DP	[存置] [塗替]			
27	高架水槽台架付ボルト溶融亜鉛メッキ鉄骨 既設面	[存置] [既存のまま]			
28	屋上点検口：スチロール製50角 既設面	[存置] [既存のまま]			
29	スチロールラック19φ 11箇所 既設面	[存置] [既存のまま]			
30	設備用スチロール箱 FP ** x ** x ** + ** =S：スチロール製 下地調整（RB種）+DP [塗替] スチロールの場合： [塗替]	[存置] [塗替]			
31	珪砂地下 45角磁器蓋タイル 既設面	[水洗い] [塗替]			
32	両台入込大岩石120Wx25t 既設面	[美装] [美装]			
33	スチロール製流し 既設面	[水洗い] [水洗い]			
TD**	換気マウス：350角（特記なき限りスチロール製FP） **S：スチロール製・9箇所共 下地調整（RB種）+DP [塗替]	[存置] [既存のまま]			
RD**	堅壁：SGP管・掘込み物#1500共 FP ** = 管理を示す 堅壁：WP・スチロール掘込み物#1500共	[撤去] [新設]			
CD**	M-7リナリ：樹脂製改修用リナリ ** = 管理を示す 樹脂製改修用リナリ	[特記なき限り][撤去] [特記なき限り][新設]			
CD**	ベランダ用リナリ・中継リナリ：鉄線製 ** = 管理を示す 既設面	[存置] [既存のまま]			
防犯カメラ	防犯カメラ（または防鳥カメラ） 既設面	[取外し] [再取付]			
MS	廃島高リ：78x3切口下地、他食物取合い目地：15x10 シリンダ（MS-2）15x10	[撤去] [打替]			
PU	打替・スリット・密木・立上り珪砂地面部：シリンダ 15x10 B棟のみ シリンダ（PU-2）15x10 A棟は[新設]、B棟は[打替] 諸露部目地共通で	[撤去] [新設]			
〃	撤去部・範囲を示す 撤去後の新設範囲を示す（短計図、詳細群図を除く）	[撤去] [新設]			
〃	建具番号を示す				
〃	工事範囲外を示す				

化学予防改修工事

N.O.

A-21

承認

令和 7年 6月

担当書

承認

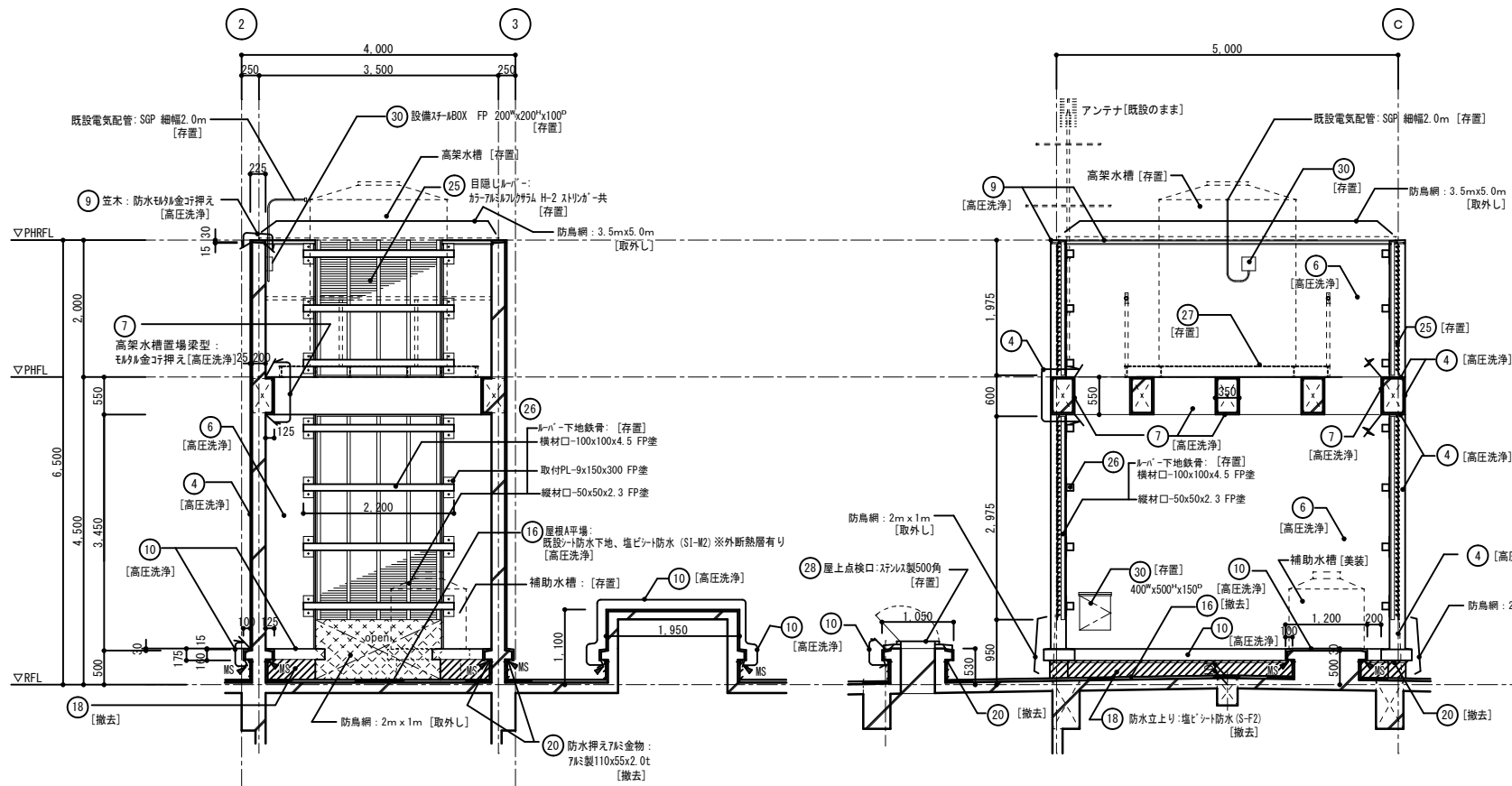
検査

監理

株式会社 彩工房 建築設計室

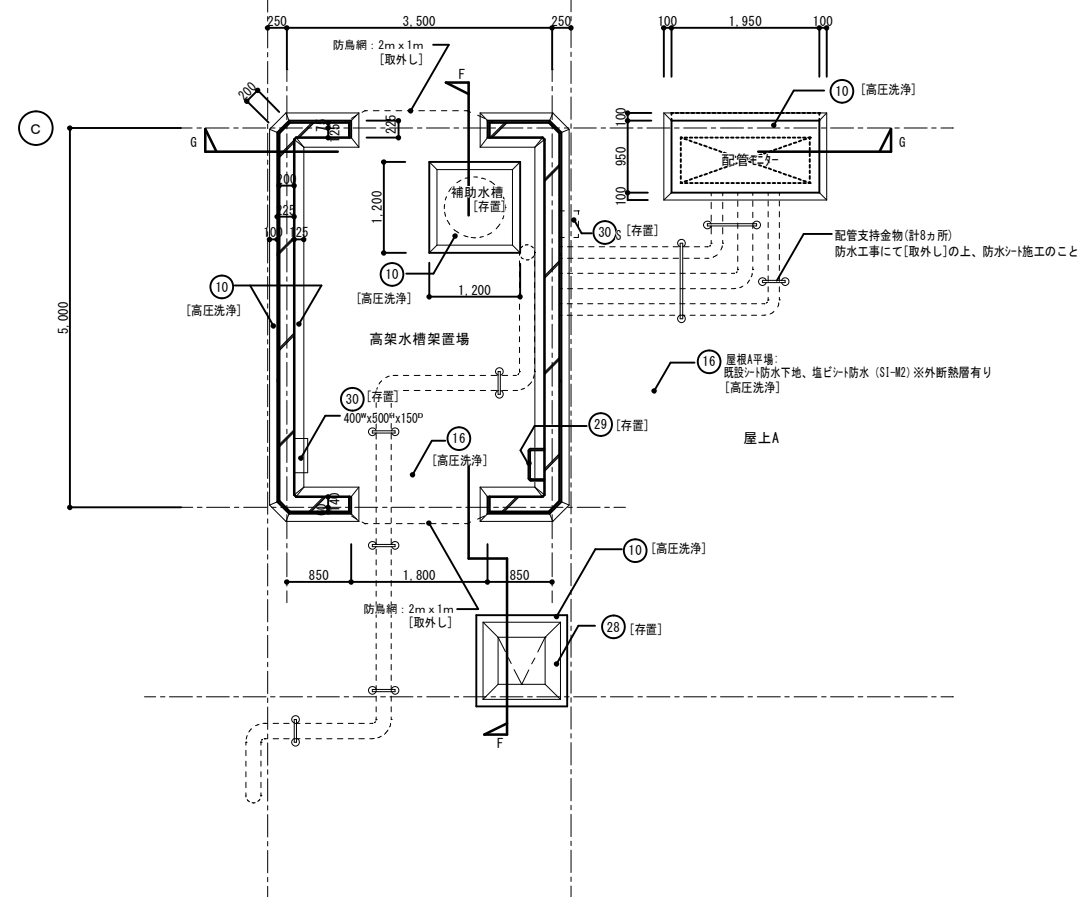
-建設業士事務所 岡山県知事登録第1479号-

一般建築士登録第27924号 営業 正庫

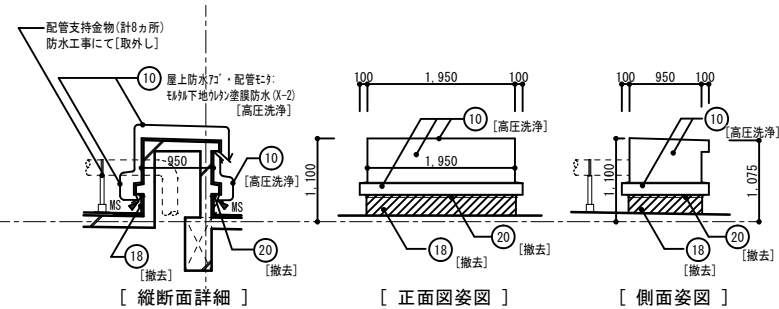


改修前 高架水槽置場 (F-F断面) 詳細図 S=1/50

改修前 高架水槽置場 (G-G断面) 詳細図 S=1/50



改修前 高架水槽置場廻り 平面詳細図 S=1/50



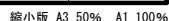
縦断面詳細

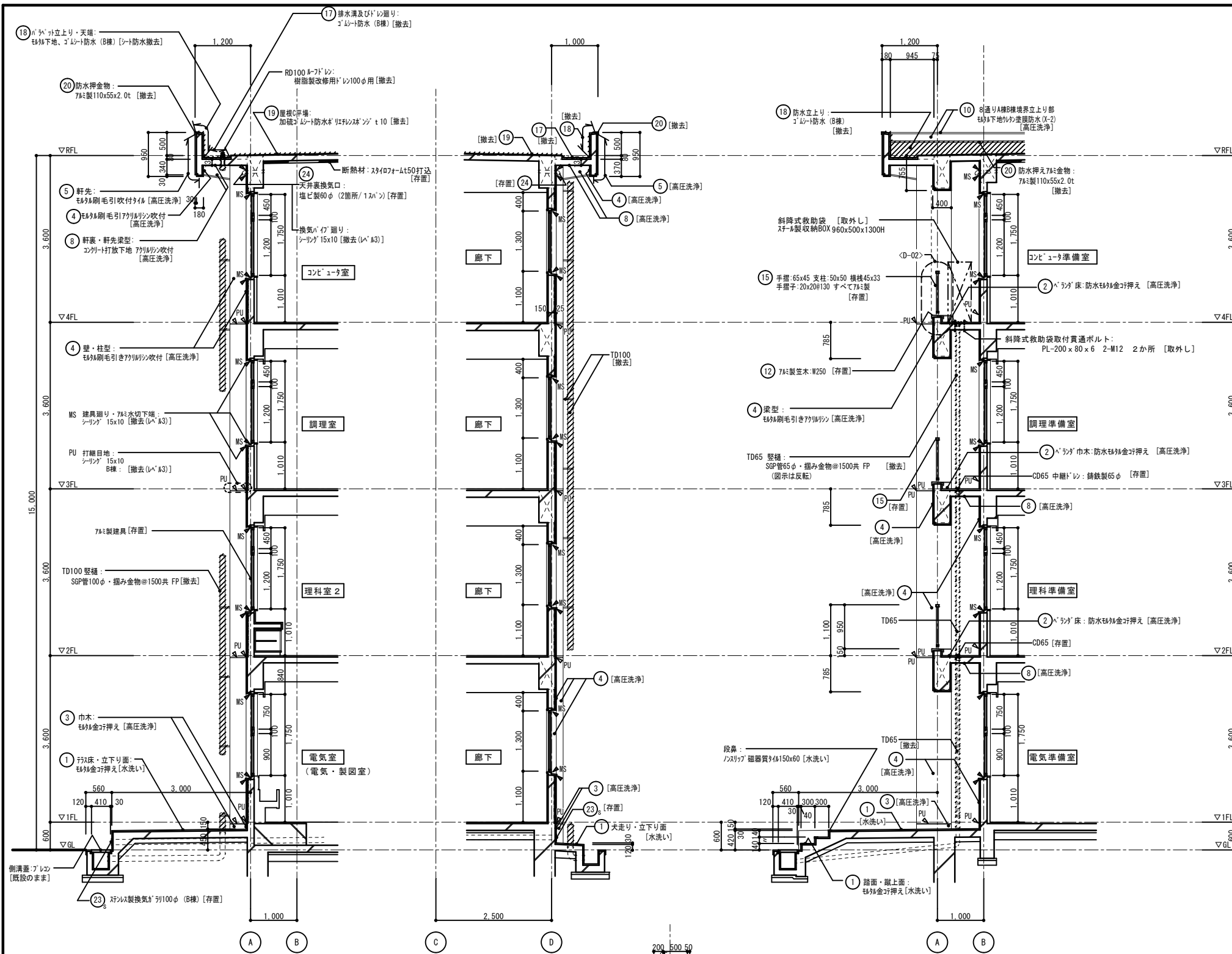
正面図姿図

側面図姿図

改修内容	
符号	改修前 改修後
①	床・路面・蹴上面・犬走・排水金具押え 既設面 [水洗い] [既存のまま]
②	開放廊下・ベランダ・床・防水金具押え 立上りH100共 外側遮断防水・長尺シート (防漏) 立上り・外側遮断防水まで [新設]
③	巾木・排水金具押え 下地調整 (C1)・防水型複層塗材 [新設]
④	壁・柱型・梁型・排水金具引き771111 下地調整 (C1)・防水型複層塗材 [新設]
⑤	軒先・一部手摺壁・排水金具引き吹付け 下地調整 (C1)・防水型複層塗材 [新設]
⑥	高架水槽置場内壁: コンクリート打放し素地 既設面 [既存のまま]
⑦	高架水槽置場梁型: 排水金具押え 既設面 [既存のまま]
⑧	応裏・天井裏・軒先梁型・軒裏: コンクリート打放し素地 下地調整 (C1)・外装薄塗材 [新設]
⑨	笠木・応天端・応壁際立上りH100: 防水金具押え 外側遮断防水 (K-2) [新設]
⑩	屋上防水77・配管77・水槽基礎: 外側下地外側遮断防水 (K-2) 外側遮断防水 (K-2) [新設]
⑪	音響リフレクター: 排水金具押え スリット・排水目皿 ※リフレクター別途工事 (備品) とする [水洗い] [既存のまま]
⑫	771111笠木 既設面 [既存のまま]
⑬	手摺: □-100x50x2.0 SUS304 支柱: □-25x25x1.5 SUS304 既設面 [既存のまま]
⑭	手摺: □-100x50x2.0 支柱: □-80x40x1.5 横樑: □-61x32x1.5 手摺: □-21x21x1.5H119.5 すべてSUS304 既設面 [既存のまま]
⑮	手摺: 65x45 支柱: 50x50 横樑: 45x33 手摺子: 20x20H130 すべて771111製 既設面 [既存のまま]
⑯	既設シート防水下地: 塩ビシート防水 (S1-M2) ※外断熱層有り 既設シート防水下地: 塩ビシート防水 (S-M2) [新設]
⑰	排水溝及びリフレクター・屋根A 塩ビシート防水 (S-F2) 屋根C 塩ビシート防水 下地調整 (K-2)・セメント・ストの上・塩ビシート防水 (S-F2) [新設]
⑱	ベランダ立上り・天端・屋根A 塩ビシート防水 (S-F2) 屋根C 塩ビシート防水 下地調整 (K-2)・セメント・ストの上・塩ビシート防水 (S-F2) [新設]
⑲	加断熱シート防水77・リフレクター77・110 屋根D平面: [新設] 屋根E: [撤去] 平場: 既設防水下地 (撤去部は下地調整の上) 塩ビシート防水 (S-M2) [新設] 屋根E立上り部: リフレクター77・110 下地調整 (K-2)・セメント・スト・塩ビシート防水 (S-F2) [新設]
⑳	防水金具771111金物 防水金具771111金物 [新設]
㉑	スリット製脱気筒 (既設77箇所) スリット製脱気筒 (17箇所/50m) [新設]
㉒	スリット製脱気筒: FP 下地調整 (R8種)・DP [新設]
㉓	床下換気771111φ (特記なき限りスリット製FP) * = S: スリット製 共 [新設] 既設面 [既存のまま]
㉔	天井裏換気口: 塩ビ製60φ (2箇所/1スリット) 合計48ヶ所 下地処理・DP [新設]
㉕	目隠しスリット: カラ771111スリット H-2 スリット 共 既設面 [既存のまま]
㉖	スリット下地鉄骨: 横材□-100x100x4.5 PL-9x150x300 FP塗 縦材□-50x50x2.3 FP塗 下地調整 (R8種)・DP [新設]
㉗	高架水槽置場771111溶融亜鉛771111鉄骨 既設面 [既存のまま]
㉘	屋上点検口: スリット製500角 既設面 [既存のまま]
㉙	スリット771111 19φ 11箇所 既設面 [既存のまま]
㉚	設備スリットBOX FP ** x ** x ** * 下地調整 (R8種)・DP [新設] スリット製の場合: [新設]
㉛	排水金具771111 45角磁器蓋771111 既設面 [水洗い] [新設]
㉜	面台: 人造大理石1200x250 既設面 [新設]
㉝	スリット製流し 既設面 [水洗い] [新設]
㉞	換気771111: 350角 (特記なき限りスリット製FP) ** = S: スリット製: 9箇所共 [新設] 下地調整 (R8種)・DP [新設] スリット製の場合: [既存のまま]
㉟	壁柱: SGP管・掘込み金物φ1500共 FP ** = 管径を示す [撤去] 壁柱: 771111・スリット製掘込み金物φ1500共 [新設]
㊱	スリット771111: 樹脂製改修用771111 ** = 管径を示す 特記なき限り [撤去] 樹脂製改修用771111 [新設]
㊲	ベランダ用771111・中継771111: 鋼鉄製 ** = 管径を示す [新設] 既設面 [既存のまま]
㊳	防球ネット (または防鳥ネット) 既設面 [再取付]
㊴	建具廻り・771111水切り下地: 地金物取合い目地: 15x10 シリング (MS-2) 15x10 [新設]
㊵	打継・スリット・笠木・立上り目地部: シリング 15x10 B種のみ [撤去] シリング (PU-2) 15x10 A種は [新設] B種は [打替] 読衆目地共通で [新設]
㊶	撤去部・範囲を示す 撤去後の新設範囲を示す (矩計図・他詳細図を除く) [新設]
㊷	建具符号を示す
㊸	工事範囲外を示す

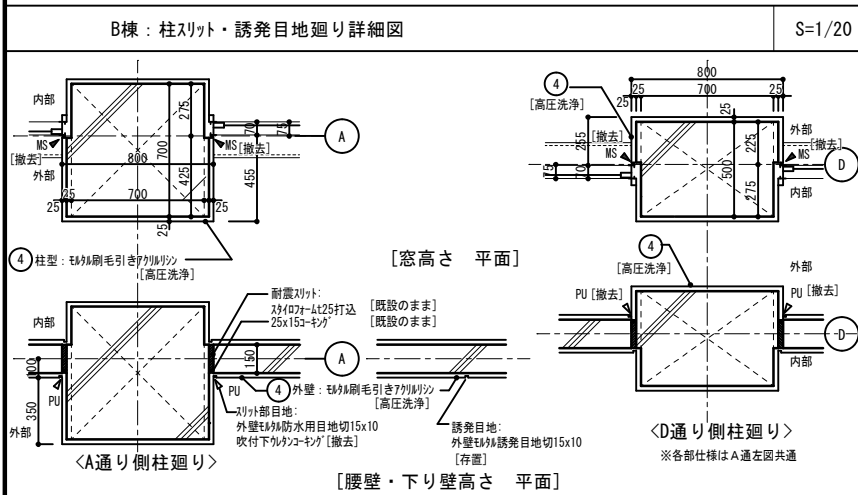
工事名	岡山市立興中中学校校舎棟長寿命化予防改修工事	N o .	A-22	株式会社 彩工房 建築設計室
図面名	改修前 高架水槽廻り (A棟) 詳細図	縮尺	1/50	一般建築士事務所 岡山県知事登録 第14791号
岡山市	都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	令和	7年 6月	一般建築士登録 第279247号 宮原 正 様
課長	課長補佐	係長	課員	担当者
				承認
				検図
				製図





改修前 矩計図 (B棟: H-H断面) S=1/50

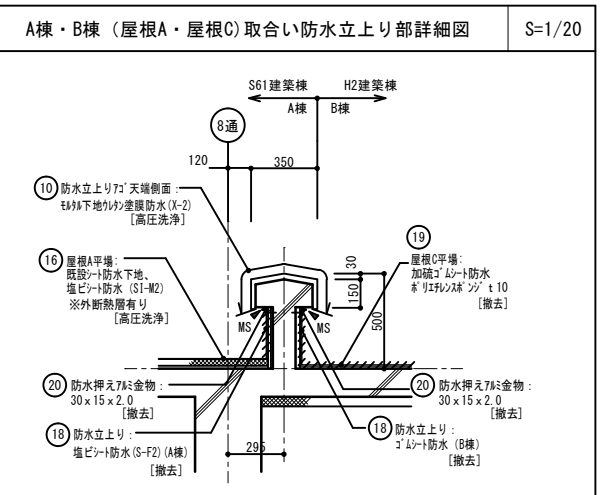
改修前 矩計図 (B棟: I-I断面) S=1/50



改修前 断面詳細図 (B棟: K-K断面) S=1/50

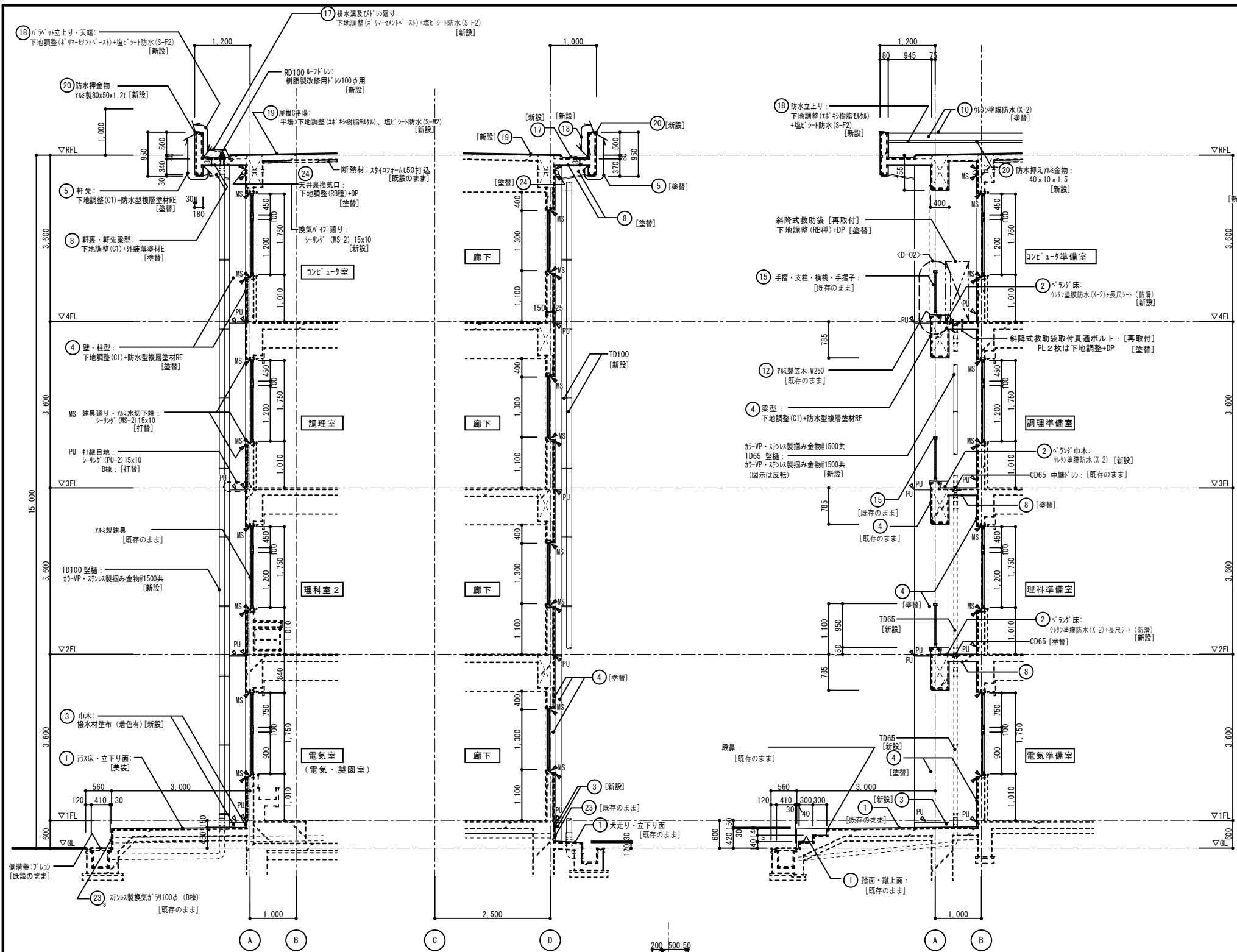
D-02 B棟: 手摺廻り詳細図 1/5		S=1/5	改修内容
	符号	改修前	改修後
	①	手摺: 65x45 支柱: 50x50 横桎45x33 手摺子: 20x20φ130 すべて7A製	手摺: 65x45 支柱: 50x50 横桎45x33 手摺子: 20x20φ130 すべて7A製
	②	開放廊下・ベランダ床: 防水砂金タテ押え 立上りH100共	開放廊下・ベランダ床: 防水砂金タテ押え 立上りH100共
	③	巾木: 砂金タテ押え	巾木: 砂金タテ押え
	④	壁・柱型: 砂金タテ押え	壁・柱型: 砂金タテ押え
	⑤	軒先・一部手摺壁: 砂金タテ押え	軒先・一部手摺壁: 砂金タテ押え
	⑥	高架水槽置場内壁: コンクリート打放し素地	高架水槽置場内壁: コンクリート打放し素地
	⑦	高架水槽置場梁型: 砂金タテ押え	高架水槽置場梁型: 砂金タテ押え
	⑧	応室・S27・裏・軒先梁型・軒先: コンクリート打放し素地	応室・S27・裏・軒先梁型・軒先: コンクリート打放し素地
	⑨	笠木・応室・応室梁上H100: 防水砂金タテ押え	笠木・応室・応室梁上H100: 防水砂金タテ押え
	⑩	屋上防水7A・配管ヒヤ・水槽基礎: 砂金タテ押え	屋上防水7A・配管ヒヤ・水槽基礎: 砂金タテ押え
	⑪	音摺り7A: 砂金タテ押え	音摺り7A: 砂金タテ押え
	⑫	7A製笠木	7A製笠木
	⑬	手摺: □-100x50x2.0 SUS304 支柱: □-25x25x1.5 SUS304	手摺: □-100x50x2.0 SUS304 支柱: □-25x25x1.5 SUS304
	⑭	手摺子: □-21x21x1.5φ119.5 すべてSUS304	手摺子: □-21x21x1.5φ119.5 すべてSUS304
	⑮	手摺: 65x45 支柱: 50x50 横桎45x33 手摺子: 20x20φ130 すべて7A製	手摺: 65x45 支柱: 50x50 横桎45x33 手摺子: 20x20φ130 すべて7A製
	⑯	既設7A防水下地: 塩ビシート防水 (S1-M2) ※外断熱層有り	既設7A防水下地: 塩ビシート防水 (S1-M2) ※外断熱層有り
	⑰	排水溝及び1/2巾木: 屋根A 塩ビシート防水 (S-F2) 屋根C: 塩ビシート防水	排水溝及び1/2巾木: 屋根A 塩ビシート防水 (S-F2) 屋根C: 塩ビシート防水
	⑱	巾木: 砂金タテ押え	巾木: 砂金タテ押え
	⑲	加硫ゴムシート防水 (S-F2) 屋根A 塩ビシート防水 (S-F2) 屋根C: 塩ビシート防水	加硫ゴムシート防水 (S-F2) 屋根A 塩ビシート防水 (S-F2) 屋根C: 塩ビシート防水
	⑳	防水押え7A金物	防水押え7A金物
	㉑	スリット製脱気筒 (既設7A所)	スリット製脱気筒 (既設7A所)
	㉒	スリット製脱気筒 (1A所/50m)	スリット製脱気筒 (1A所/50m)
	㉓	天井裏換気口: 塩ビ製60φ (2箇所/1A所) 合計48カ所	天井裏換気口: 塩ビ製60φ (2箇所/1A所) 合計48カ所
	㉔	目隠し1/2巾木: カラ7A製タテ押え H-2 スリット共	目隠し1/2巾木: カラ7A製タテ押え H-2 スリット共
	㉕	床下換気口: 7A製100φ (特記なき限り7A製FP) ※S: スリット製 共	床下換気口: 7A製100φ (特記なき限り7A製FP) ※S: スリット製 共
	㉖	天井裏換気口: 塩ビ製60φ (2箇所/1A所) 合計48カ所	天井裏換気口: 塩ビ製60φ (2箇所/1A所) 合計48カ所
	㉗	高架水槽置場: 7A・溶融亜鉛メッキ鉄骨	高架水槽置場: 7A・溶融亜鉛メッキ鉄骨
	㉘	屋上点検口: スリット製500角	屋上点検口: スリット製500角
	㉙	スリット製19φ 11箇所	スリット製19φ 11箇所
	㉚	設備スリットBOX FP ** X ** X ** S: スリット製	設備スリットBOX FP ** X ** X ** S: スリット製
	㉛	下地調整 (R6種) +DP	下地調整 (R6種) +DP
	㉜	面材: 人造大理石1200x250	面材: 人造大理石1200x250
	㉝	スリット製流し	スリット製流し
	㉞	換気口: 350角 (特記なき限り7A製FP) ※S: スリット製 9所共	換気口: 350角 (特記なき限り7A製FP) ※S: スリット製 9所共
	㉟	下地調整 (R6種) +DP	下地調整 (R6種) +DP
	㊱	壁: SGP管・掘込み金物φ1500共 FP	壁: SGP管・掘込み金物φ1500共 FP
	㊲	壁: 7A・樹脂製改修用7A	壁: 7A・樹脂製改修用7A
	㊳	壁: 7A・樹脂製改修用7A	壁: 7A・樹脂製改修用7A
	㊴	壁: 7A・樹脂製改修用7A	壁: 7A・樹脂製改修用7A
	㊵	壁: 7A・樹脂製改修用7A	壁: 7A・樹脂製改修用7A
	㊶	壁: 7A・樹脂製改修用7A	壁: 7A・樹脂製改修用7A
	㊷	壁: 7A・樹脂製改修用7A	壁: 7A・樹脂製改修用7A
	㊸	壁: 7A・樹脂製改修用7A	壁: 7A・樹脂製改修用7A
	㊹	壁: 7A・樹脂製改修用7A	壁: 7A・樹脂製改修用7A
	㊺	壁: 7A・樹脂製改修用7A	壁: 7A・樹脂製改修用7A
	㊻	壁: 7A・樹脂製改修用7A	壁: 7A・樹脂製改修用7A
	㊼	壁: 7A・樹脂製改修用7A	壁: 7A・樹脂製改修用7A
	㊽	壁: 7A・樹脂製改修用7A	壁: 7A・樹脂製改修用7A
	㊾	壁: 7A・樹脂製改修用7A	壁: 7A・樹脂製改修用7A
	㊿	壁: 7A・樹脂製改修用7A	壁: 7A・樹脂製改修用7A

改修前 断面詳細図 (B棟: J-J断面) S=1/50



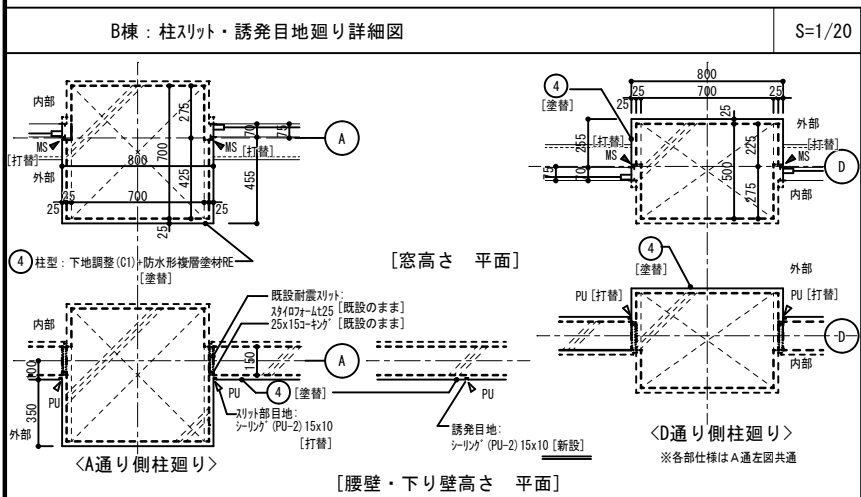
改修前 断面詳細図 (B棟: K-K断面) S=1/50

工事名	岡山市立興隆中学校校舎棟長寿命化予防改修工事	N. A-24
図面名	改修前 矩計図 2 (B棟)	1/50 1/20
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	令和 7年 6月	A-31
課長	課長補佐	係長
課員	担当	承認
課員	承認	検閲
課員	承認	製図

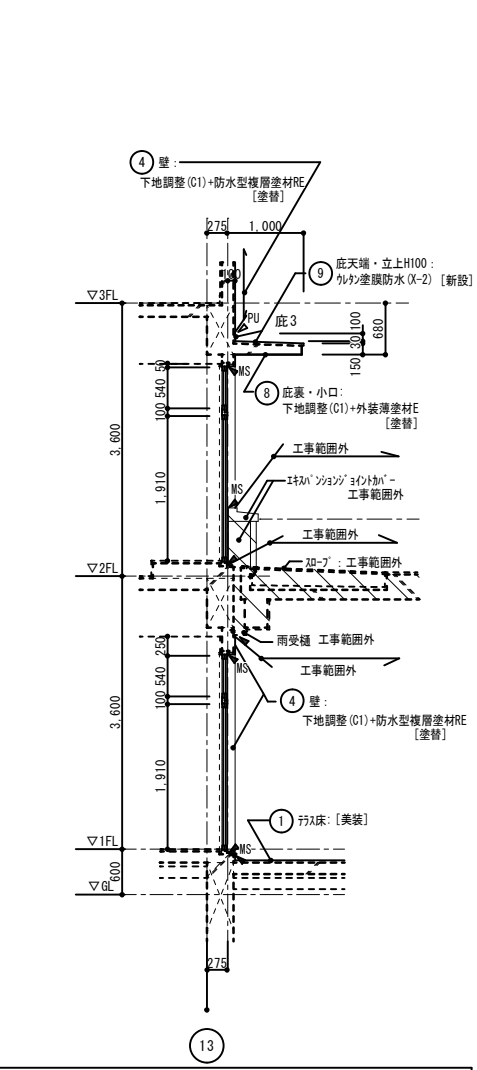
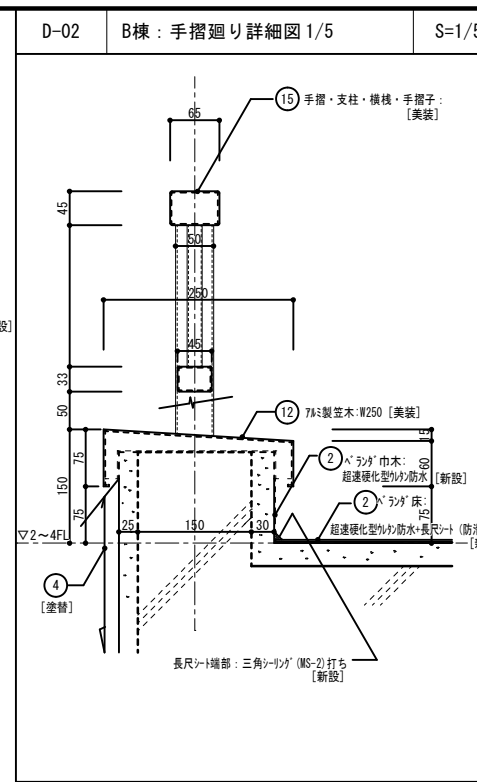
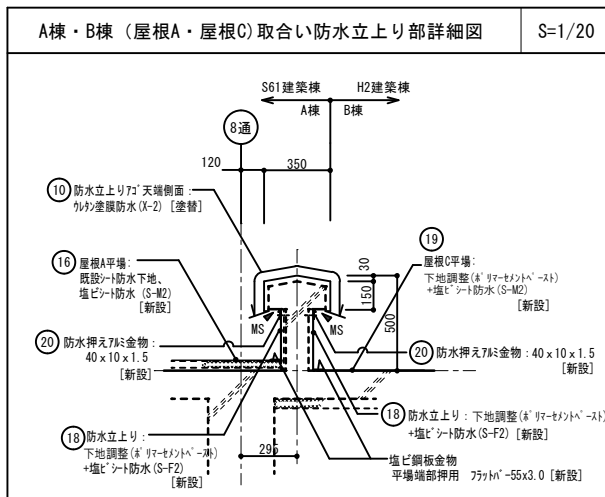


改修後 矩計図 (B棟 : A-A断面) S=1/50

改修後 矩計図 (B棟 : I-I断面) S=1/50



改修前 断面詳細図 (B棟 : K-K断面) S=1/50

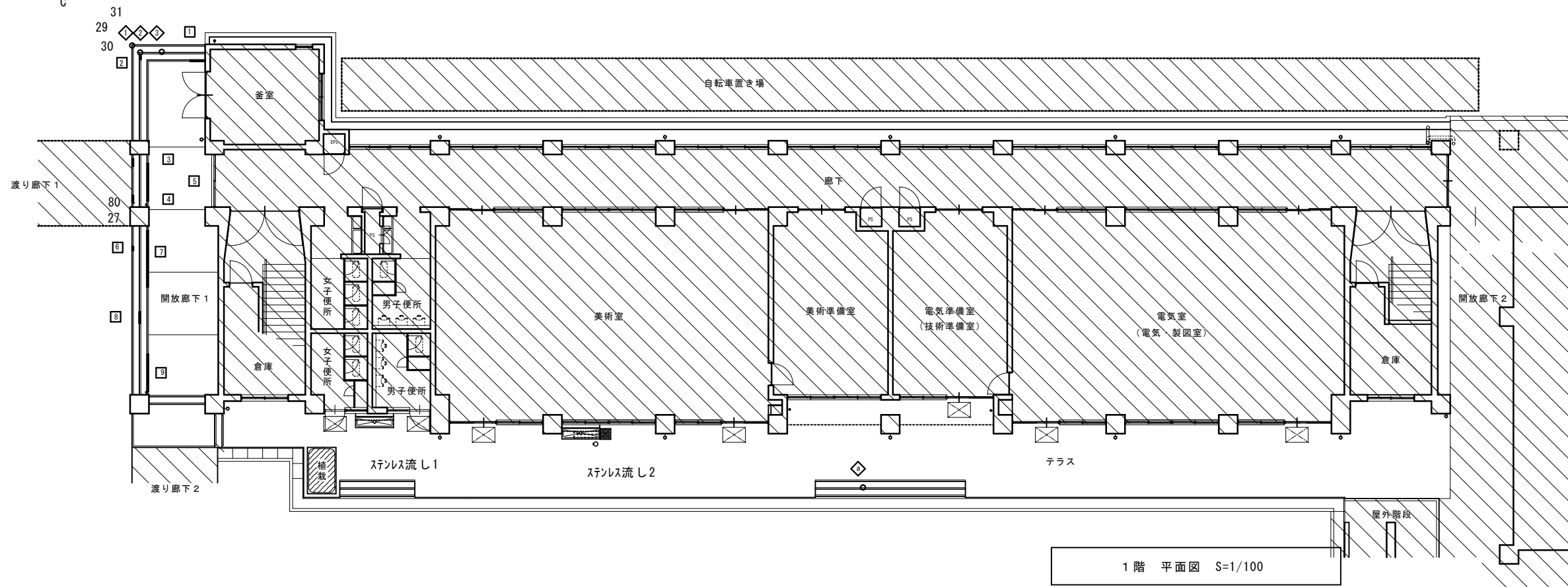
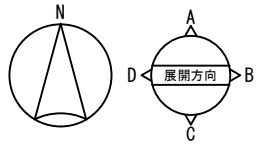


改修後 断面詳細図 (B棟 : J-J断面) S=1/50

改修内容	
符号	改修前 改修後
①	床・路面・蹴上面・犬走・防水金押し 既設面 [水洗い] [既存のまま]
②	開放廊下・ベランダ・床・防水金押し押え 立上りH100共 防水金押し押え・長尺シート (防水)・立上り・防水金押し押えまで [新設] [既存のまま]
③	巾木・防水金押し押え 防水金押し押え [新設] [既存のまま]
④	壁・柱型・梁型・防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
⑤	軒先・一部手摺壁・防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
⑥	高架水槽置場内壁・コンクリート打放し素地 防水金押し押え [新設] [既存のまま]
⑦	高架水槽置場外壁・防水金押し押え 防水金押し押え [新設] [既存のまま]
⑧	応室・スリ・裏・軒先梁型・軒先・コンクリート打放し下地 7mm厚吹付 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
⑨	笠木・応室・応室立上りH100・防水金押し押え 防水金押し押え [新設] [既存のまま]
⑩	屋上防水7mm・配管ヒヤ・水槽基礎・防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
⑪	手摺・防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
⑫	7mm厚吹付 防水金押し押え [新設] [既存のまま]
⑬	手摺・防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
⑭	手摺・防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
⑮	手摺・防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
⑯	既設・防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
⑰	排水溝及び1mm厚・屋根A・防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
⑱	排水溝及び1mm厚・屋根A・防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
⑲	加断・防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
⑳	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㉑	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㉒	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㉓	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㉔	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㉕	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㉖	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㉗	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㉘	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㉙	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㉚	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㉛	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㉜	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㉝	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㉞	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㉟	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㊱	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㊲	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㊳	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㊴	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㊵	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㊶	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㊷	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㊸	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㊹	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㊺	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㊻	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㊼	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㊽	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㊾	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]
㊿	防水金押し押え・防水金押し押え 防水金押し押え・防水金押し押え [新設] [既存のまま]

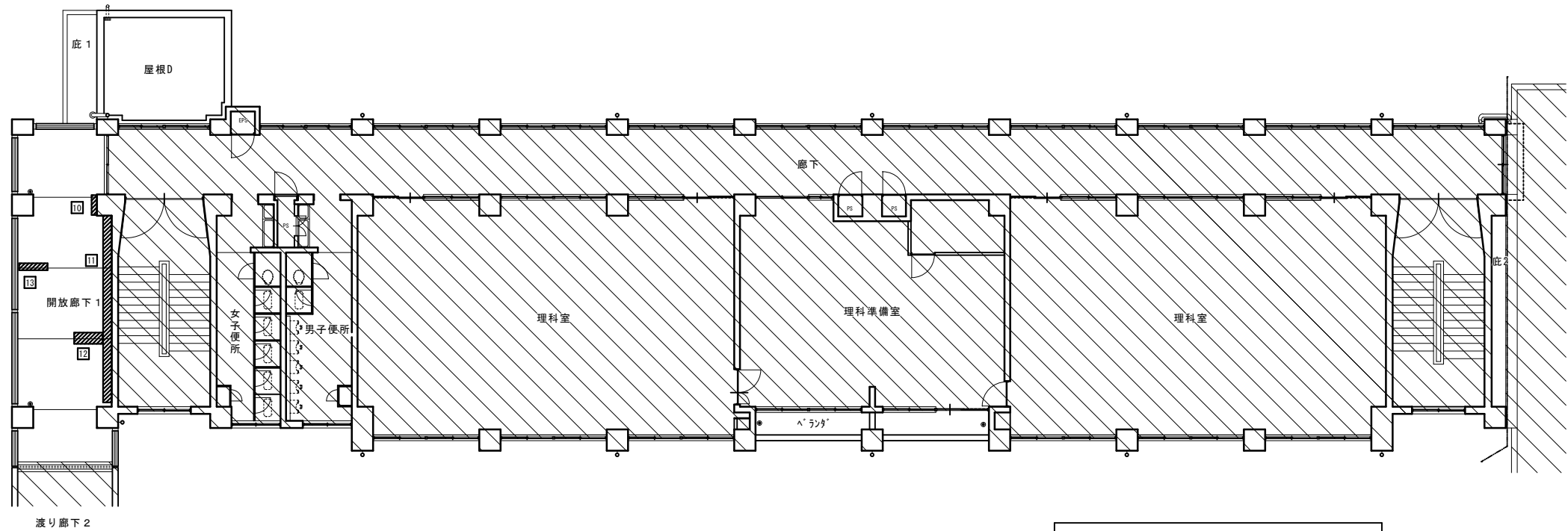


符号・場所・数量			1 AW	1F 倉庫 1、2	2	2 AW	2～4F：階段室 1、2、 4F:倉庫 3、資料室(倉庫 4)	8	3 AW	4F：資料室 1	2	4 AW	1～4F：廊下	11	5 AW	1～4F：廊下	32	6 AW	2～4F：男子便所・女子便所	6													
形状・寸法																																	
見 込			70			70			70			70			70			70															
型 式			引き違い窓			引き違い窓			引開引き違い窓付き引き違い窓			2連引き違い窓			2連引き違い窓			引開引き違い窓付き引き違い窓															
仕 上			-			-			-			-			-			-															
硝 子			-			-			-			-			-			-															
金 物			-			-			-			-			-			-															
備 考			二重水切り			二重水切り			二重水切り			二重水切り			二重水切り			二重水切り															
符号・場所・数量			7 AW	1F：美術室、美術準備室、電気室（電気・製図室）	3	8 AW	2F：理科室1・2、理科準備室 3F：設備室、家庭科準備室、調理室 4F：音楽室、音楽準備室、コンピュータ室、コンピュータ準備室	21	1 AWG	1F：粘土釜室	1	2 AWG	1F：粘土釜室	1	1 AWD	1F：男子便所・女子便所	2	2 AWD	1F：美術室、電気室（電気・製図室）、電気準備室	5													
形状・寸法																																	
見 込			70			70			70			70			70			70															
型 式			2連引開引き違い窓付き引き違い窓			2連引開引き違い窓付き引き違い窓			腰7A引開引き違い窓			引開7A引開引き違い窓			引開引き違い窓、袖嵌め殺し窓付き片開き戸			2連引開引き違い窓・袖引き違い窓付き引き違い戸															
仕 上			-			-			-			-			-			-															
硝 子			-			-			-			-			-			-															
金 物			-			-			-			-			-			-															
備 考			二重水切り			二重水切り			二重水切り			二重水切り			二重水切り			二重水切り															
符号・場所・数量			3 AWD	2F：理科準備室、3F：調理準備室、4F：コンピュータ準備室	3	4 AWD	1～3F：廊下	4	5 AWD	2F：廊下	1	1 SD	1F：粘土釜室	1																			
形状・寸法																																	
見 込			70			70			70			100																					
型 式			2連引開引き違い窓・袖引き違い窓付き引き違い戸			引開引き違い窓付き引き違い戸			引開引き違い窓付き引き違い戸			引開引き開き戸																					
仕 上			-			-			-			FP塗装 ー下地調整（R8種）+DP 〔塗替〕 （枠・扉内外面共）																					
硝 子			-			-			-			-																					
金 物			-			-			-			-																					
備 考			袖引き違い窓部のみ二重水切り			二重水切り			二重水切り			省窓SUS304 t2.0																					
凡例・特記	【一般次項】			【建具符号】			【建具金物符号】			【ガラス符号】			【塗装符号】			省窓の形状と記号			工事名 岡山市立興除中学校校舎棟長寿命化予防改修工事 図面名 改修「シーリング」打替え・塗装塗替 建具表 岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課 課長 課長補佐 係長 課員 担当 令和 7年 6月 No. A-26 A-31 株式会社 彩工房 建築設計室 一級建築士事務所 岡山県知事登録 第14791号 一級建築士登録 第279247号 宮原 正 規														
	1. 建具廻りシーリングの撤去は四方と、二重水切りの場合はさらに水切り下部と躯体取合いのシーリングを〔撤去〕〔打替〕するものとする。			AD：アルミニウム製ドア AW：アルミニウム製窓 AG：アルミガラリ SD：鋼製ドア SSD：ステンレス製ドア LSD：鋼製軽量ドア SS：スチールシャッター			WD：木製ドア WW：木製窓 TB：トイレプス GP：ガラススクリーン PT：パーティション SK：鋼製開口枠			DC：ドアクローザ PH：ピボットヒンジ FH：フロアーヒンジ OH：オートヒンジ TH：タッチハンドル LH：レバーハンドル			KH：ケースハンドル H：丁番（ステンレス製） PD：シリンダー本締め錠 C：空錠 T：ドア当り AS：アームストッパー									FB：フランス落し AT：エアタイト SAT：セミエアタイト			FL：フロート板ガラス F：型板ガラス PW：網入り磨き板ガラス FW：網入り型板ガラス WP：網入り磨き板ガラス TL：強化ガラス GB：ガラスブロック			HP：熱線吸収ガラス RG：熱線反射ガラス Low-E：遮熱高断熱複層ガラス A：複層ガラスにおける空気層			SOP：合成樹脂調合ペイント塗り DP：耐候性塗料塗り CL：クリヤラッカー UC：ウレタン樹脂ニス塗り OS：オイステン塗り		
	2. シーリングの撤去においては、7Aペリ含有材としてペリ7A3の撤去及び処分とすること。																																
	3. 塗装改修は、下地調整（R8種）の上、塗装とする																																
	4. 建具改修時に、既設物を損傷する恐れがある場合は、養生を施すものとする。																																
	5. やむを得なく損傷した場合は、現状復帰まで工事範囲とする。																																

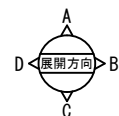


1階・2階床面調査結果						
番号	大 き さ			場 所	下地・仕上げ	
	W	H	A<0.25 0.25≤A			
1	600	60	0.036	段鼻	ノスリツブ タイル	
2	150	60	0.009	段鼻	ノスリツブ タイル	
3	300	60	0.018	段鼻	ノスリツブ タイル	
4	300	60	0.018	段鼻	ノスリツブ タイル	
5	1500	60	0.090	段鼻	ノスリツブ タイル	
6	150	60	0.009	段鼻	ノスリツブ タイル	
7	2250	60	0.135	段鼻	ノスリツブ タイル	
8	450	60	0.027	段鼻	ノスリツブ タイル	
9	1500	60	0.090	段鼻	ノスリツブ タイル	
10	200	700	0.140	床	モルタル	
11	300	6600	1.980	床	モルタル	
12	1000	400	0.400	床	モルタル	
13	1000	250	0.250	床	モルタル	
(1階・2階床面)			0.432㎡	段鼻	ノスリツブ タイル (7.2m)	
浮き			0.140㎡	2.630㎡	床	モルタル

番号	大 き さ			場 所	下地・仕上げ	
	W	H	A			
◇	150	60	0.009	段鼻	ノスリツブ タイル割れ	
◇	150	60	0.009	段鼻	ノスリツブ タイル割れ	
◇	150	60	0.009	段鼻	ノスリツブ タイル割れ	
欠損小計			0.027㎡	段鼻	ノスリツブ タイル (0.45m)	
番号	大 き さ			場 所	仕 上げ	
	W	H	A			
◇	150	60	0.009	段鼻	ノスリツブ タイル割れ	
欠損 小計			0.009㎡	段鼻	ノスリツブ タイル (0.15m)	
(1階・2階床面)			0.036㎡	段鼻	ノスリツブ タイル (0.60m)	
欠損 合計			0.036㎡	段鼻	ノスリツブ タイル (0.60m)	

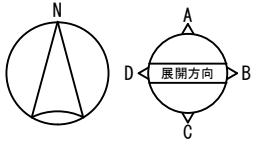


凡例		
番 号	符 号	名 称
○	—	ひび割れ 0.4≤X≤1.0
○	—	ひび割れ 1.0<X
△		爆裂
□		浮き
◇		欠損
▼		側面表示

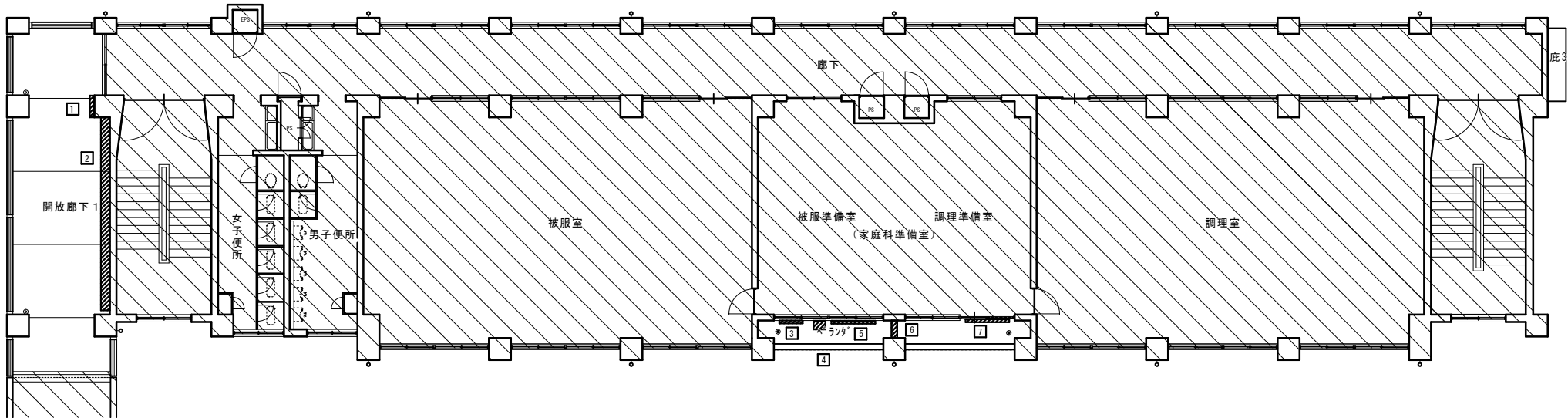


2 階 平面図 S=1/100

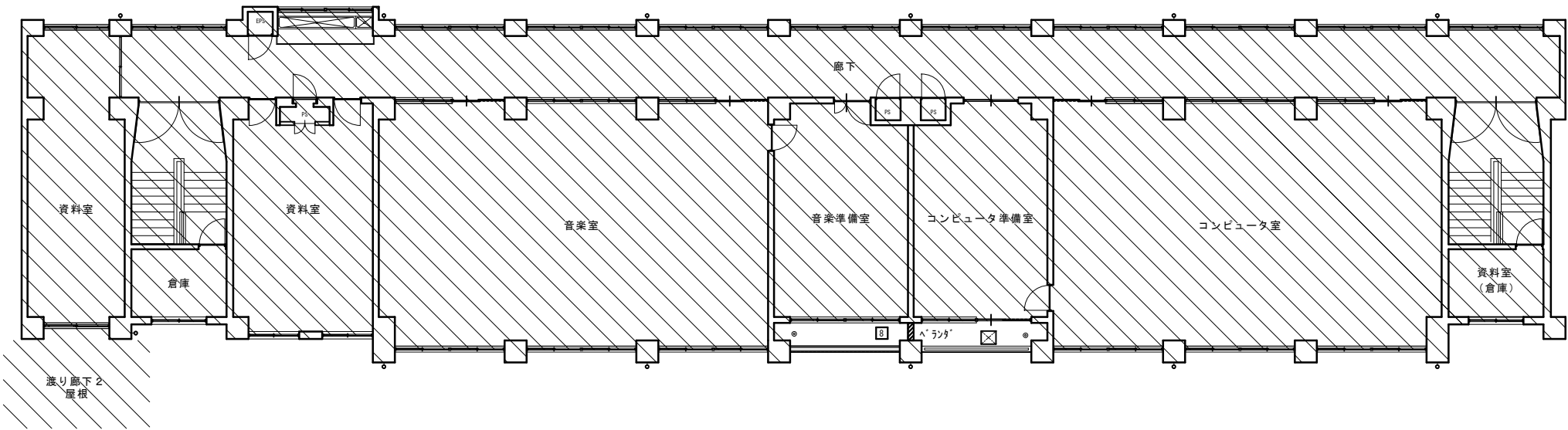
工事名 岡山市立興除中学校校舎棟長寿命化予防改修工事					No. A-27		株式会社 彩工房 建築設計室	
図面名 劣化調査 1階・2階 平面図					縮尺 1/100	一般建築士事務所 岡山県知事登録 第14791号		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課					令和 7年 6月	一般建築士登録 第279247号 宮原 正 様		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図	



3階・4階床面調査結果						
番号	大 き さ			場 所	下地・仕上げ	
	W	H	A<0.25 0.25≤A			
1	750	150	0.113	床	モルタル	
2	6600	300		1.980	床	モルタル
3	800	100	0.080	床	モルタル	
4	400	300	0.120	床	モルタル	
5	1500	150	0.225	床	モルタル	
6	600	200	0.120	床	モルタル	
7	1800	150		0.270	面台	モルタル
8	600	200	0.120	床	モルタル	
(3階床面) 浮床				0.778㎡	2.250㎡	



3 階 平面図 S=1/100



4 階 平面図 S=1/100

凡例		
番 号	符 号	名 称
○	—	ひび割れ 0.4≤X≤1.0
○	—	ひび割れ 1.0<X
△		爆裂
□		浮き
◇		欠損
▼		側面表示

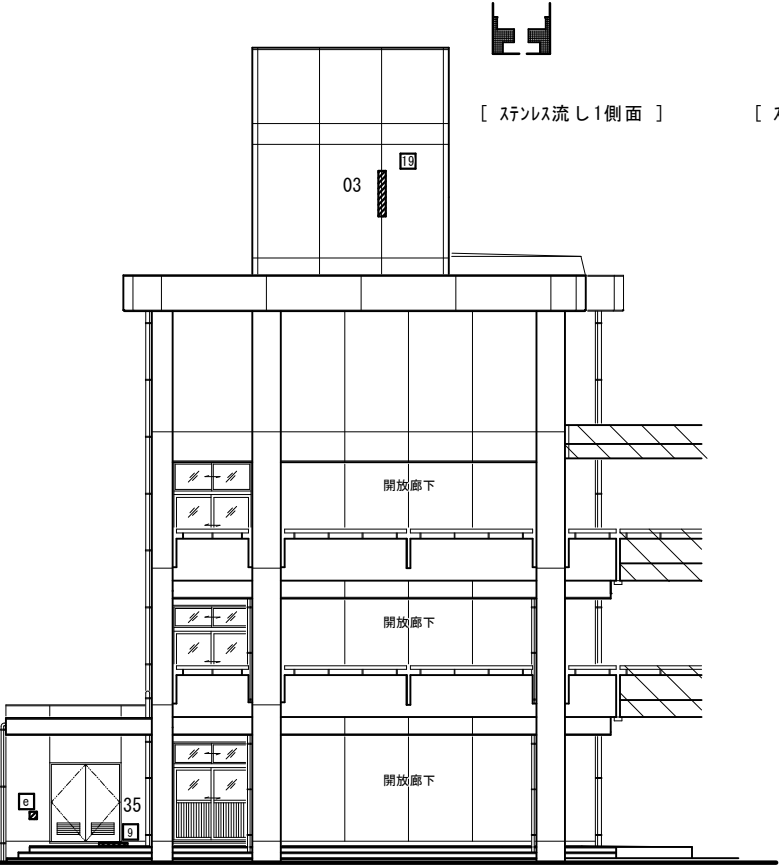
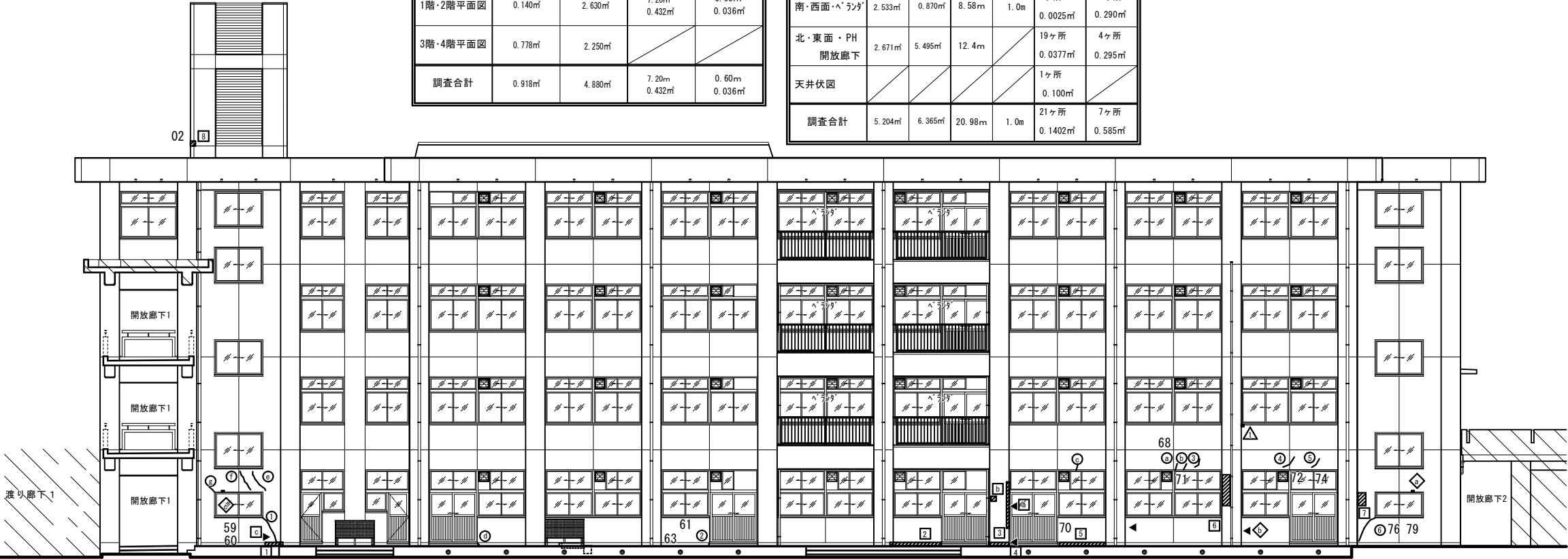
工事名 岡山市立興除中学校校舎棟長寿命化予防改修工事					No. A-28		株式会社 彩工房 建築設計室	
図面名 劣化調査 3階・4階 平面図				縮尺 1/100	A-31		一級建築士事務所 岡山県知事登録 第14791号 一級建築士登録 第279247号 笠原 正 規	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課		令和 7年 6月	担当者	承認	検図	製図		
課長	課長補佐	係長	課員					

外部床面調査集計表

調査図名	モザイク浮き		ノンスリップタイル	
	A<0.25	0.25≤A	浮き	割れ
1階・2階平面図	0.140㎡	2.630㎡	7.20㎡ 0.432㎡	0.60㎡ 0.036㎡
3階・4階平面図	0.778㎡	2.250㎡		
調査合計	0.918㎡	4.880㎡	7.20㎡ 0.432㎡	0.60㎡ 0.036㎡

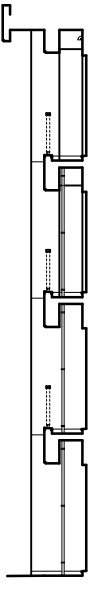
外壁調査集計表 (1階分)

調査図名	モザイク浮き		ひび割れ		爆裂	欠損
	A<0.25	0.25≤A	0.4≤W≤1.0	1.0<W		
南・西面・ベランダ	2.533㎡	0.870㎡	8.58㎡	1.0㎡	1ヶ所 0.0025㎡	3ヶ所 0.290㎡
北・東面・PH 開放廊下	2.671㎡	5.495㎡	12.4㎡		19ヶ所 0.0377㎡	4ヶ所 0.295㎡
天井伏図					1ヶ所 0.100㎡	
調査合計	5.204㎡	6.365㎡	20.98㎡	1.0㎡	21ヶ所 0.1402㎡	7ヶ所 0.585㎡

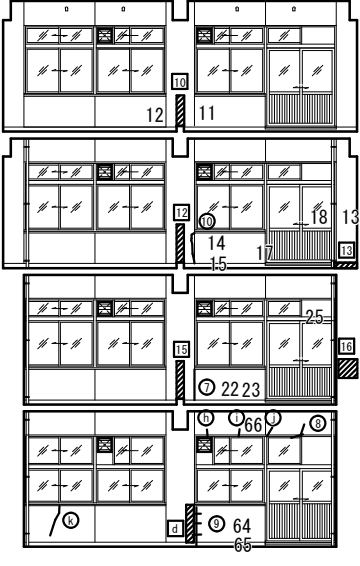


西立面図 S=1/100

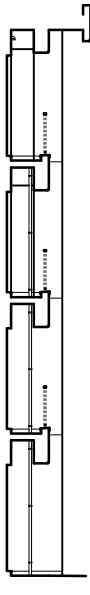
[ ステンレス流し1側面 ]  
[ ステンレス流し2側面 ]



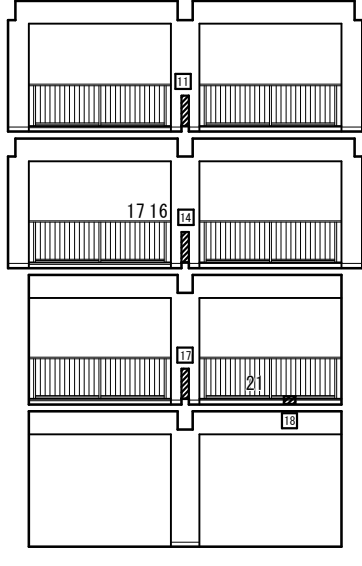
[ D面 ]



[ A面 ]



[ B面 ]



[ C面 ]

南立面図 S=1/100

凡例

番号	符号	名称
○	—	ひび割れ 0.4≤X≤1.0
○	—	ひび割れ 1.0<X
△		爆裂
□		浮き
◇		欠損
▼		側面表示

南面・西面・ベランダ面調査結果

番号	大きさ		場所	下地・仕上げ	割増想定数量	
	W	H			A<0.25	0.25≤A
1	130	600	巾木	モルタル	0.624	
2	130	2000	巾木	モルタル		2.080
3	130	800	巾木	モルタル	0.832	
4	80	400	巾木	モルタル	0.256	
5	80	2200	巾木	モルタル	1.408	
6	300	1200	柱	モルタル下地 吹付		2.880
7	300	500	壁	モルタル下地 吹付	1.200	
8	200	200	壁	モルタル下地 吹付	0.120	
9	70	750	巾木	モルタル	0.106	
10	200	800	壁	モルタル下地 吹付	0.320	
11	200	800	柱	モルタル下地 吹付	0.320	
12	200	1000	壁	モルタル下地 吹付	0.400	
13	600	150	巾木	モルタル	0.180	
14	200	1000	柱	モルタル下地 吹付	0.400	
15	200	900	壁	モルタル下地 吹付	0.360	
16	500	500	壁	モルタル下地 吹付		0.500
17	200	700	柱	モルタル下地 吹付	0.280	
18	300	200	笠木	モルタル	0.120	
19	200	1200	壁	モルタル下地 吹付	0.720	
浮き(小計)					7.646㎡	5.460㎡

南・西・ベランダ面  
浮き合計

番号	大きさ		場所	下地・仕上げ	割増想定数量	
	W	H			A<0.25	0.25≤A
5	100	1800	柱型	モルタル下地 吹付	1.440	
15	200	200	柱型	モルタル下地 吹付	0.320	
16	500	100	巾木	モルタル	0.400	
18	100	1000	柱型	モルタル下地 吹付	0.200	
19	100	1000	壁	モルタル下地 吹付	0.200	
浮き(小計)					2.560㎡	
(南・西・ベランダ面) 浮き合計					10.206㎡	5.460㎡

ひび割れ小計

番号	大きさ		場所	下地・仕上げ	割増想定数量	
	W	H			0.4≤W≤1.0	1.0<W
1	0.4	1,000	壁	モルタル下地 吹付	8,000	
2	0.7	130	巾木	モルタル	1,040	
3	0.4	400	梁	モルタル下地 吹付	3,200	
4	0.4	400	梁	モルタル下地 吹付	3,200	
5	0.4	400	梁	モルタル下地 吹付	3,200	
6	0.4	900	壁	モルタル下地 吹付	7,200	
7	1.0	900	壁	モルタル下地 吹付	1,800	
8	0.4	400	梁	モルタル下地 吹付	800	
9	1.5		1,000	壁		2,000
10	0.8	900	柱	モルタル下地 吹付	1,800	
ひび割れ小計					30.24㎡	2,00㎡

南・西面・ベランダ面  
ひび割れ合計












番号	大きさ		場所	下地・仕上げ	割増想定数量	
	W	H			0.4≤W≤1.0	1.0<W
1	0.4	100	壁	モルタル下地 吹付	800	
2	0.4	100	壁	モルタル下地 吹付	800	
3	0.5	100	壁	モルタル下地 吹付	800	
4	0.5	100	巾木	モルタル	800	
5	0.4	800	壁	モルタル下地 吹付	6400	
6	0.4	800	壁	モルタル下地 吹付	6400	
7	0.4	250	壁	モルタル下地 吹付	2000	
8	0.4	100×3 =300	壁	モルタル下地 吹付	600	
9	0.4	600	壁	モルタル下地 吹付	1200	
ひび割れ小計					19.80㎡	
南・西面・ベランダ面 ひび割れ合計					50.04㎡	2,00㎡

番号	大 き さ				場 所	下地・仕上げ	割増想定数量
	W	H	D	A			
◇	50	50	30	0.0025	壁	モルタル	0.0125
◇	50	50	30	0.0025	腰入隅	モルタル	0.0125
◇	50	50	30	0.0025	壁	モルタル	0.0125
(南・西面・ベランダ面) 欠損				0.290㎡	0.0375㎡		

番号	大 き さ				場 所	下地・仕上げ	割増想定数量
	W	H	D	A			
△	50	50	15	0.0025	壁	モルタル下地 吹付	0.0075
(南・西面・ベランダ面) 爆裂				0.0025 ㎡			0.0075㎡

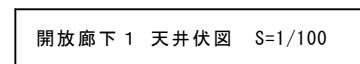
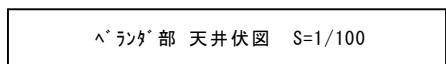
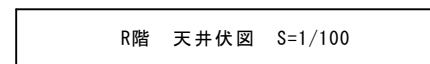
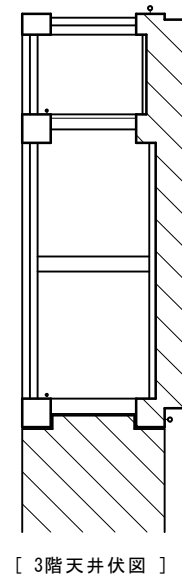
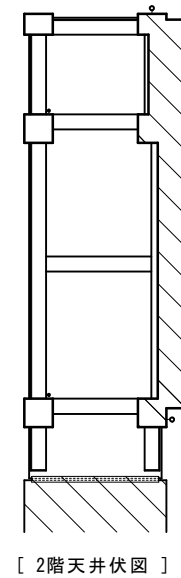
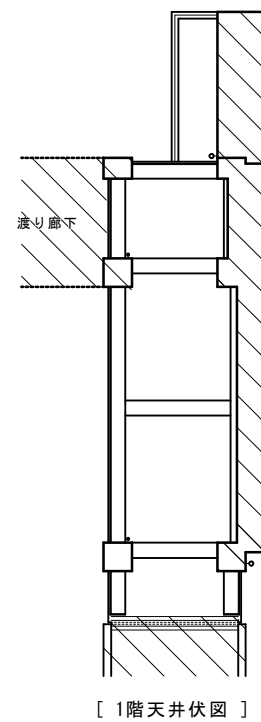
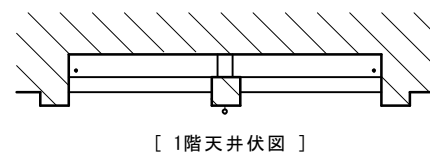
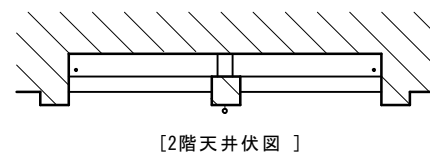
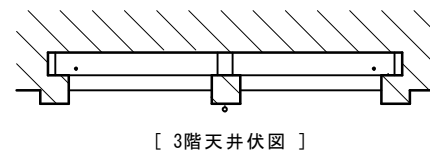
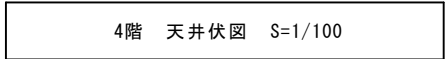
工事名					岡山市立興隆中学校校舎棟長寿命化予防改修工事		No.		株式会社 彩工房 建築設計室	
図面名					劣化調査 南・西立面図		A-29		一般建築士事務所 岡山市和事会館 第14791号 一般建築士会館 第279247号 京原 正雄	
					縮尺		1/100		A-31	
岡山市					都市整備局		住宅・建築部		公共建築課	
					令和		7年		6月	
課長		課長補佐		係長		課員		担当者		承認
										検図
										製図







番号	大 き さ			場 所	下地・仕上げ	割増想定数量	
	W	H	A<0.25 0.25≤A			A<0.25	0.25≤A
a	200	200	0.040	壁	珪砂下地 吹付	0.320	
b	150	150	0.0225	壁	珪砂下地 吹付	0.180	
c	100	1500	0.150	壁	珪砂下地 吹付	1.200	
d	150	500	0.075	柱型	珪砂下地 吹付	0.600	
e	150	800	0.120	柱型	珪砂下地 吹付	0.960	
f	150	300	0.045	壁	珪砂下地 吹付	0.360	
g	150	800	0.120	柱型	珪砂下地 吹付	0.960	
h	150	600	0.090	巾木	珪砂	0.720	
i	150	800	0.120	柱型	珪砂下地 吹付	0.960	
j	200	200	0.040	壁	珪砂下地 吹付	0.320	
k	100	500	0.050	巾木	珪砂	0.075	
浮 き 小 計			0.873㎡			6.655㎡	
(左・東・南面下・塔屋) 浮 き 合 計			2.671㎡	5.495㎡		13.843㎡	20.855㎡

番号	大 き さ				場 所	下地・仕上げ	割増想定数量
	W	H	D	A			
	30	30	20	0.0009	ボルト跡	コンクリト下地吹付	0.0027
	30	30	20	0.0009	不渡アソコ	コンクリト下地吹付	0.0027
	30	30	20	0.0009	不渡アソコ	コンクリト下地吹付	0.0027
	50	250	30	0.0125	爆裂	コン打放し	0.0375
	50	30	20	0.0015	爆裂	コン打放し	0.0045
	50	30	20	0.0015	爆裂	コン打放し	0.0045
	50	30	20	0.0015	爆裂	コン打放し	0.0045
	50	30	20	0.0015	爆裂	コン打放し	0.0045
	50	30	20	0.0015	爆裂	コン打放し	0.0045
	50	30	20	0.0015	爆裂	コン打放し	0.0045
	50	30	20	0.0015	爆裂	コン打放し	0.0045
	50	30	20	0.0015	爆裂	コン打放し	0.0045
	50	30	20	0.0015	爆裂	コン打放し	0.0045
	50	30	20	0.0015	爆裂	コン打放し	0.0045
	50	30	20	0.0015	爆裂	コン打放し	0.0045
	50	30	20	0.0015	爆裂	コン打放し	0.0045
(北・東・間取下1・塔里) 爆裂合計				0.0377m			0.1131m

除中学校校舎棟長寿命化予防改修工事			No. A-30		株式会社 彩工房 建築設計	
・東 立面図			縮尺	1/100	一般建築士事務所 岡山県知事登録 第14号	
住宅・建築部 公共建築課			令和	7年 6月	一般建築士登録 第279247号 笠原	
係長	課長	担当者	承認		機関	製図

縮小版 A3 50% A1 :

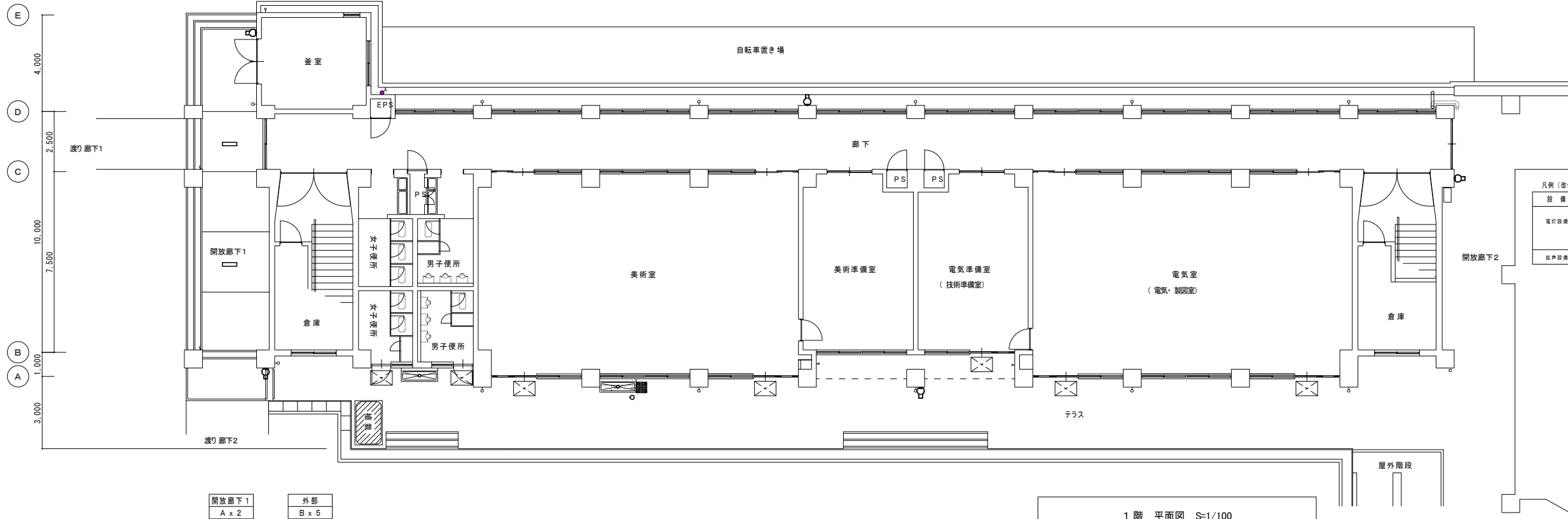
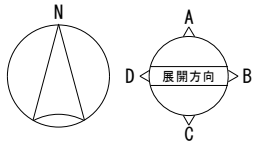


凡例		
番 号	符 号	名 称
		ひび割れ $0.4 \leq X \leq 1.0$
		ひび割れ $1.0 < X$
		爆裂
		浮き
		欠損
		側面表示

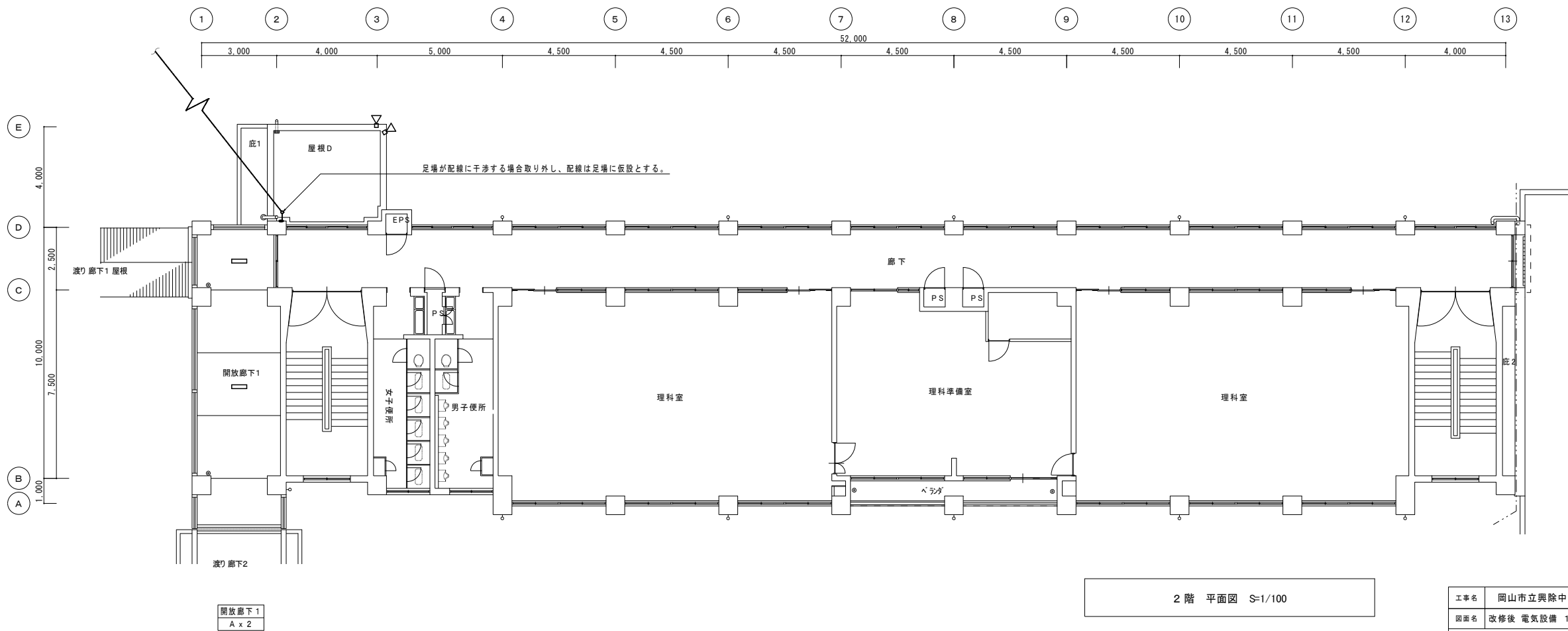
工事名 岡山市立興隆中学校校舎棟長寿命化予防改修工事				No. A-31		株式会社 彩工 建築設計室	
図面名 劣化調査 天井伏図				縮尺 1/100	一級建築士事務所 岡山恵和事務塾 第1479号 一級建築士登録 第27924号 直原 正		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和 7年 6月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図





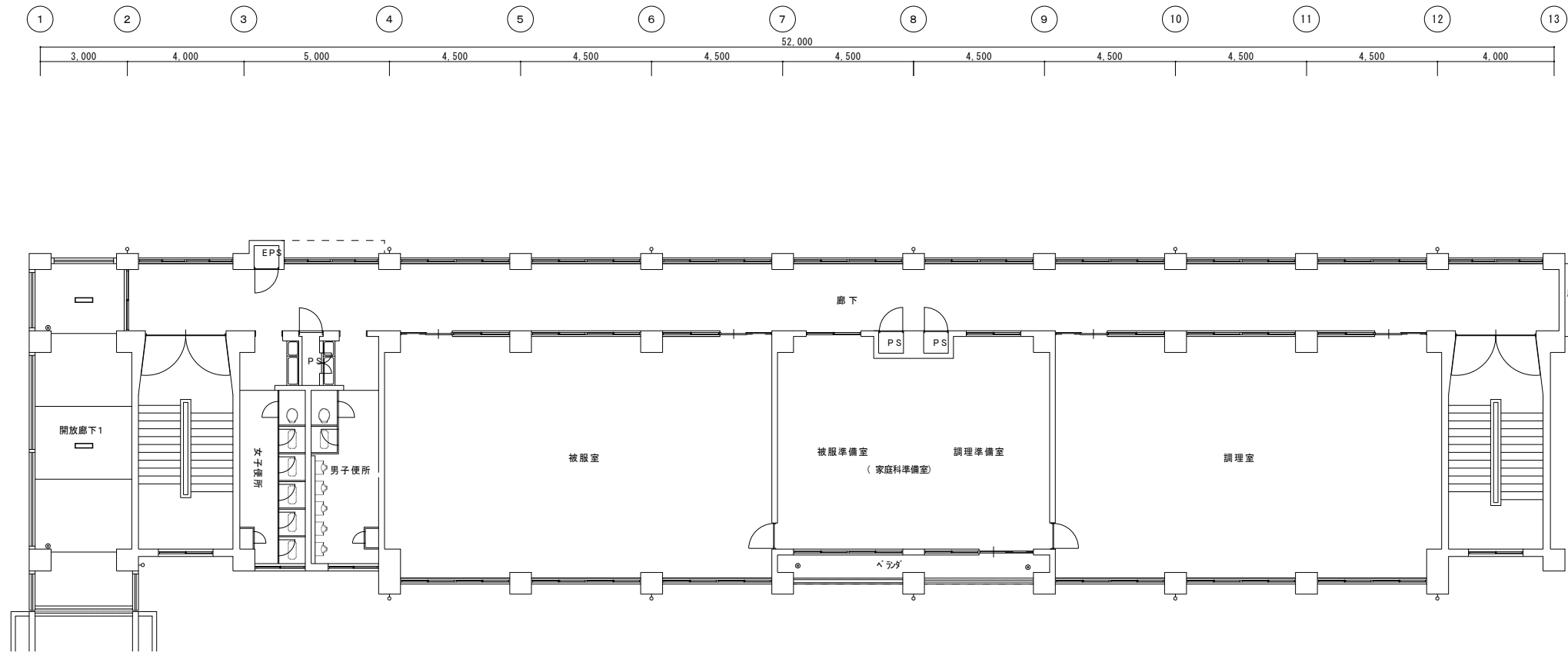
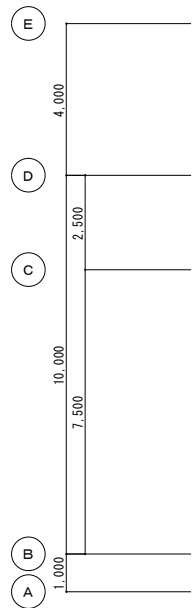
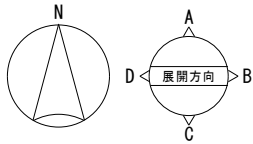


凡例 (改修後)			
設備	記号	名称・適用	備考
電灯設備		照明器具A LED20形	
		照明器具B LEDブラケット20形	
		自動点滅器	
音声設備		ワイドホーンスピーカー 30W	

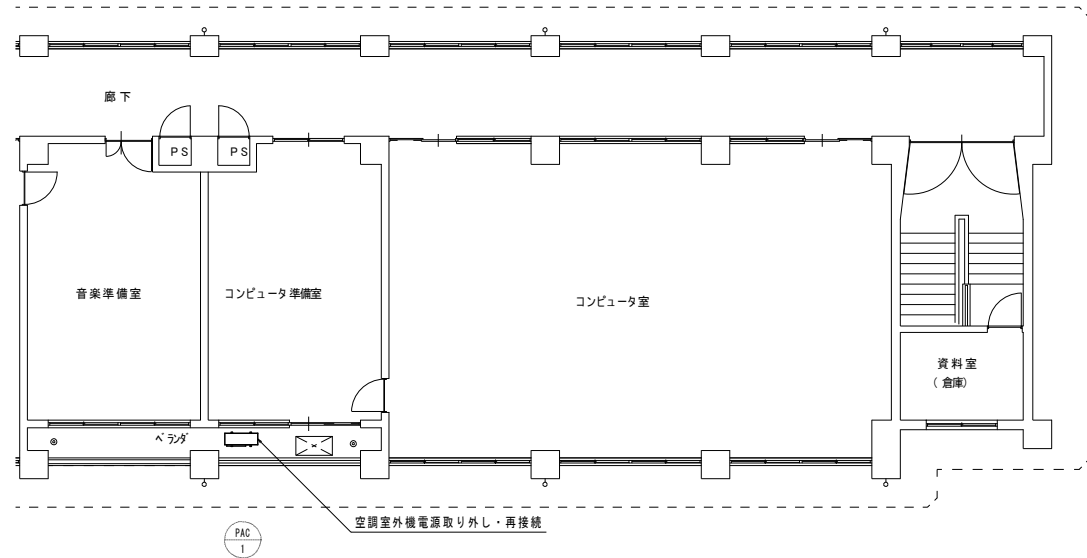
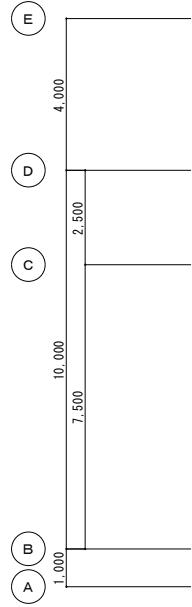
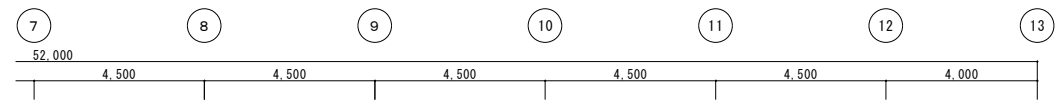


A LED直付型20形 W150 防湿・防雨型															
LSS9MP/RP-2-14 LN (1400lm) (18VA) Ra83 器具寸法 W150xL632xH86															
B LEDウォールライト 20形															
防湿型・防雨型 LBF3MP/RP-2-13 LN (1930lm) (20VA) Ra83 器具寸法 W109xL580 出しろ 100mm															
ワイドホーンスピーカー															
CS-303相当品															
<table><tr><td>定格入力</td><td>30 W (3300) 20 W (5000) 10 W (1 k0)</td></tr><tr><td>出力音圧レベル</td><td>98 dB (1 W, 1 m)</td></tr><tr><td>周波数特性</td><td>120 Hz ~ 15 kHz</td></tr><tr><td>スピーカー</td><td>12 cm防滴コーン型</td></tr><tr><td>水平指向性</td><td>90°</td></tr><tr><td>仕上</td><td>ホーン・カバー: 樹脂 オフホワイト</td></tr><tr><td>その他</td><td>防塵・防水性能: IP65 落下防止ワイヤー 取付金具</td></tr></table>		定格入力	30 W (3300) 20 W (5000) 10 W (1 k0)	出力音圧レベル	98 dB (1 W, 1 m)	周波数特性	120 Hz ~ 15 kHz	スピーカー	12 cm防滴コーン型	水平指向性	90°	仕上	ホーン・カバー: 樹脂 オフホワイト	その他	防塵・防水性能: IP65 落下防止ワイヤー 取付金具
定格入力	30 W (3300) 20 W (5000) 10 W (1 k0)														
出力音圧レベル	98 dB (1 W, 1 m)														
周波数特性	120 Hz ~ 15 kHz														
スピーカー	12 cm防滴コーン型														
水平指向性	90°														
仕上	ホーン・カバー: 樹脂 オフホワイト														
その他	防塵・防水性能: IP65 落下防止ワイヤー 取付金具														

工事名 岡山市立興除中学校校舎棟長寿命化予防改修工事				No. E-02		株式会社 彩工房 建築設計室	
図面名 改修後 電気設備 1階・2階 平面図				縮尺 1/100	E-05	一般建築士事務所 岡山市知事登録 第14791号	
岡山市 都市整備局 住宅・建設部 公共建築課				令和 7年 8月		一般建築士登録 第279247号 笠原 正徳	
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検閲	製図



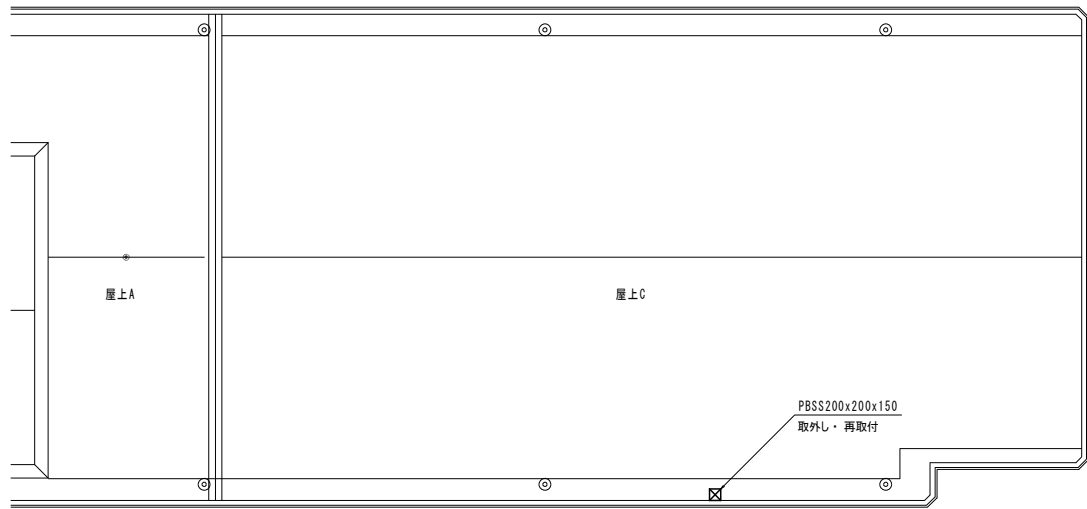
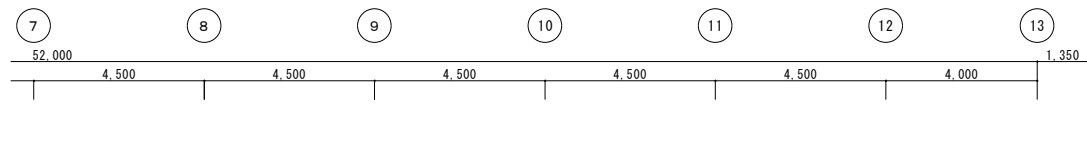
開放廊下1  
A x 2



PAC  
1

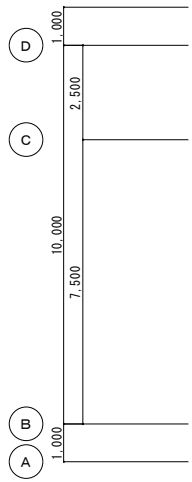
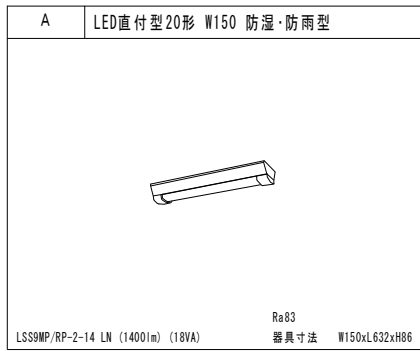
空調室外機電源取り外し・再接続

4階 平面図 S=1/100

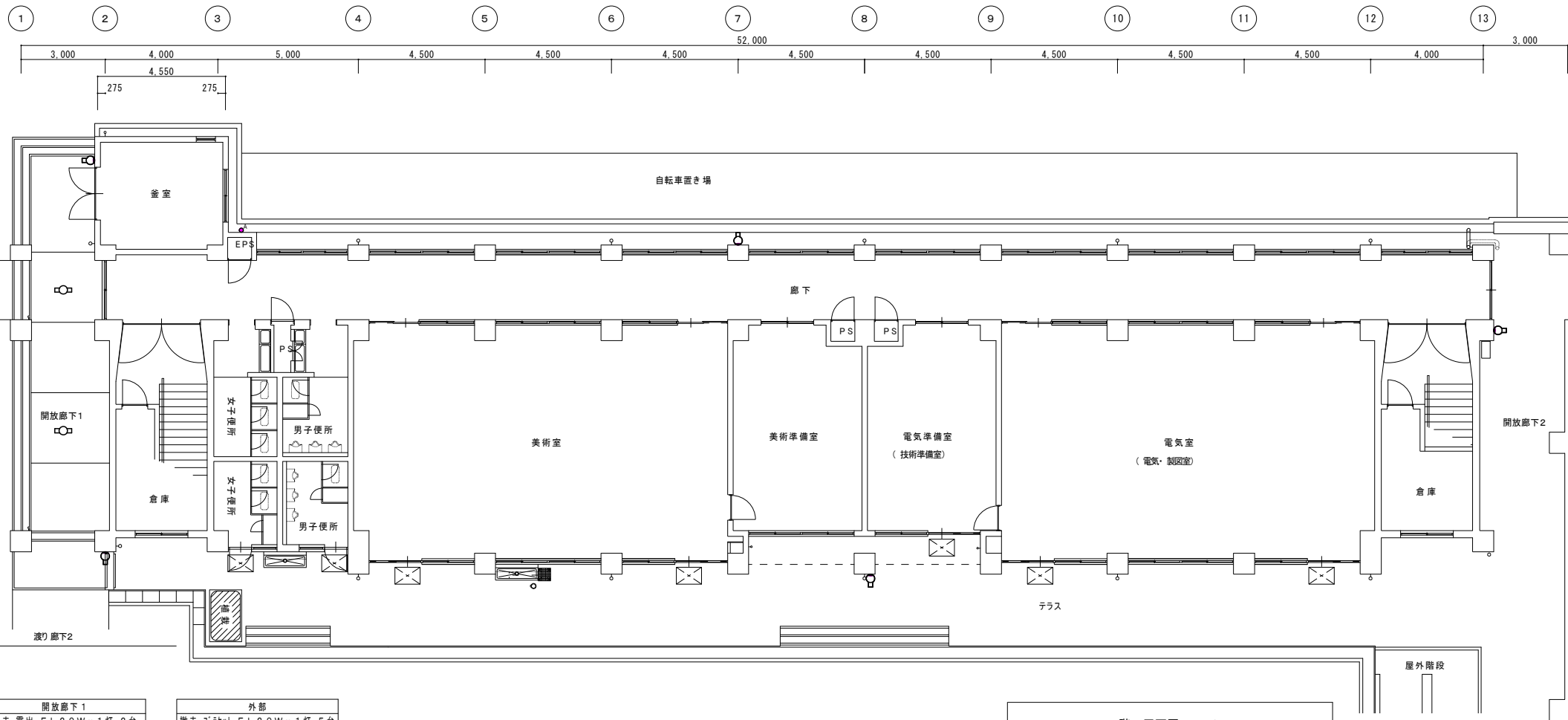
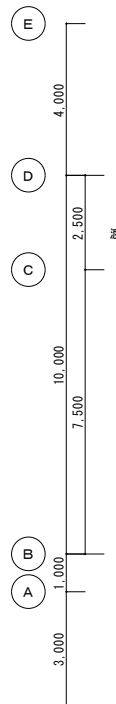
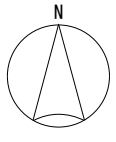


R階 平面図 S=1/100

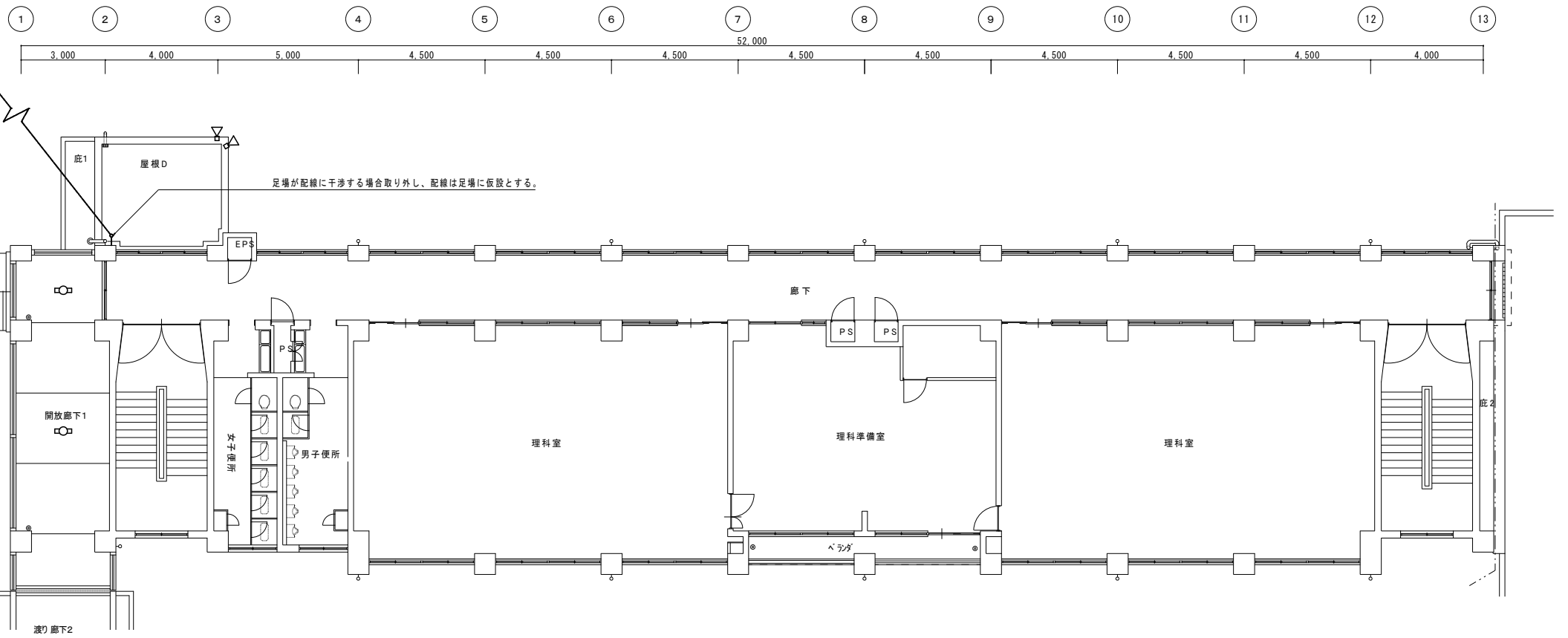
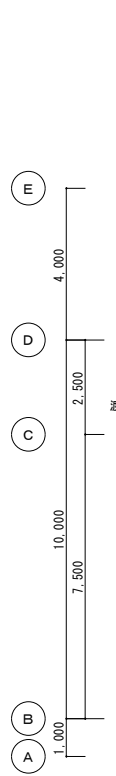
凡例 (改修後)			
設 備	記 号	名称・適用	備 考
電 灯 設 備		照明器具A LED20形	
		プルボックス	



工事名	岡山市立興除中学校校舎棟長寿命化予防改修工事			N o.	E-03		
図面名	改修後 電気設備 3階・4階 平面図			縮尺	1/100		
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和 7年 6月	E-05		
課長	課長補佐	係長	課員	担当	承認	検印	製図



凡例 (改修前)			
設 備	記 号	名称・適用	備 考
電 灯 設 備	□	照明器具 蛍光灯 20Wx1	撤去
	○	照明器具 蛍光灯ブラケット 20Wx1	撤去
	● A	自動点滅器	撤去
拡声設備	▽	ワイドホーンスピーカー 30W	撤去

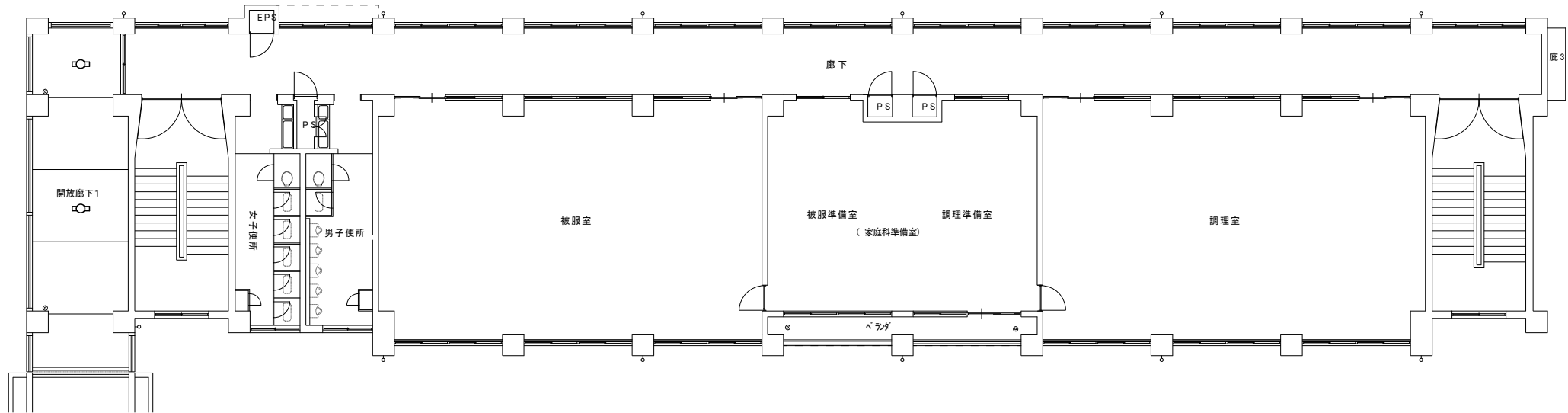
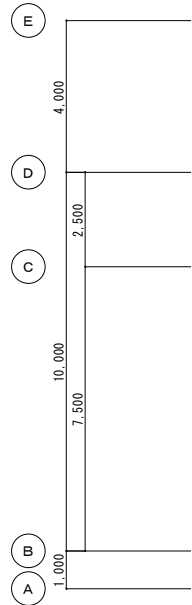
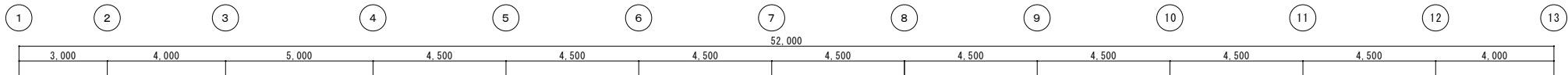
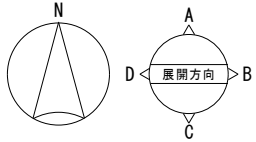


開放廊下1
撤去 露出 F L 2 0 W x 1 灯 2 台

撤去又は取外した照明器具の安定器等については、PCB使用の有無を調査のうえ、リスト及び型番等の分かる写真を添付した報告書を提出し、監督員の承認を得て引渡し又は処分すること。  
なお、電路から取外したPCB使用機器は特別管理産業廃棄物にあたるので、法律に従いPCB廃棄物の飛散・流出及び地下浸透・悪臭発生の防止措置を講じ「PCB汚染物」の標示をすること。  
保管場所については、監督員の指示に従うこと。

2 階 平面図 S=1/100

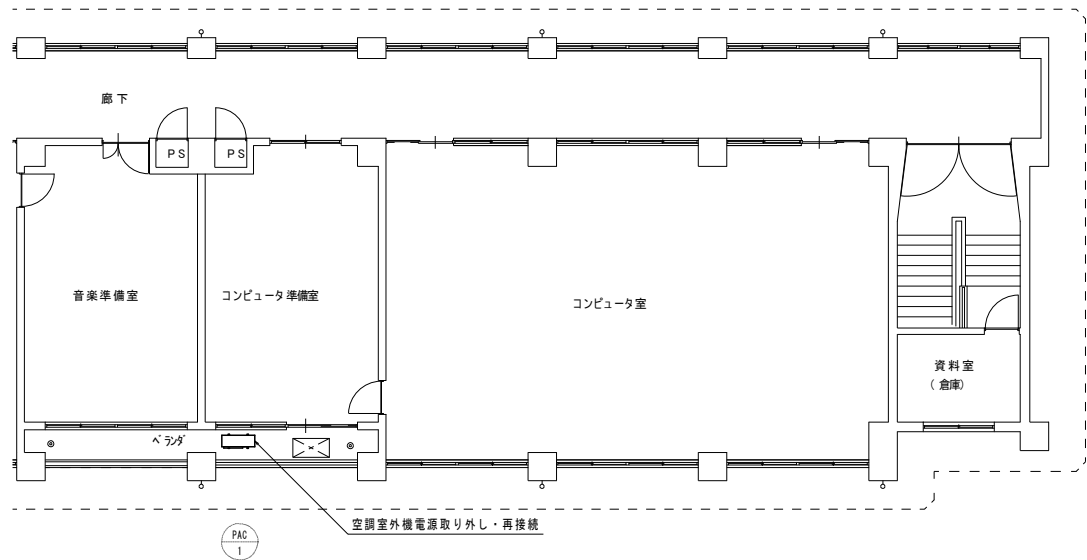
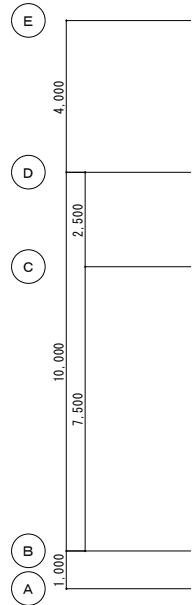
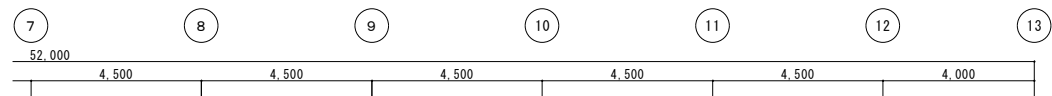
工 事 名 岡山市立興除中学校校舎棟長寿命化予防改修工事					No. E-04		株式会社 彩 工 房 建築設計室	
図面名 改修前 電気設備 1 階・2 階 平面図				縮尺 1/100	E-05		一般建築士事務所 岡山市知事登録 第14791号	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課				令和 7年 6月			一般建築士登録 第279247号 笠原 正 隆	
課長	課長補佐	係長	課員	担当	承認	検印	製図	



開放廊下1  
撤去 露出 F L 2 0 W x 1 灯 2 台

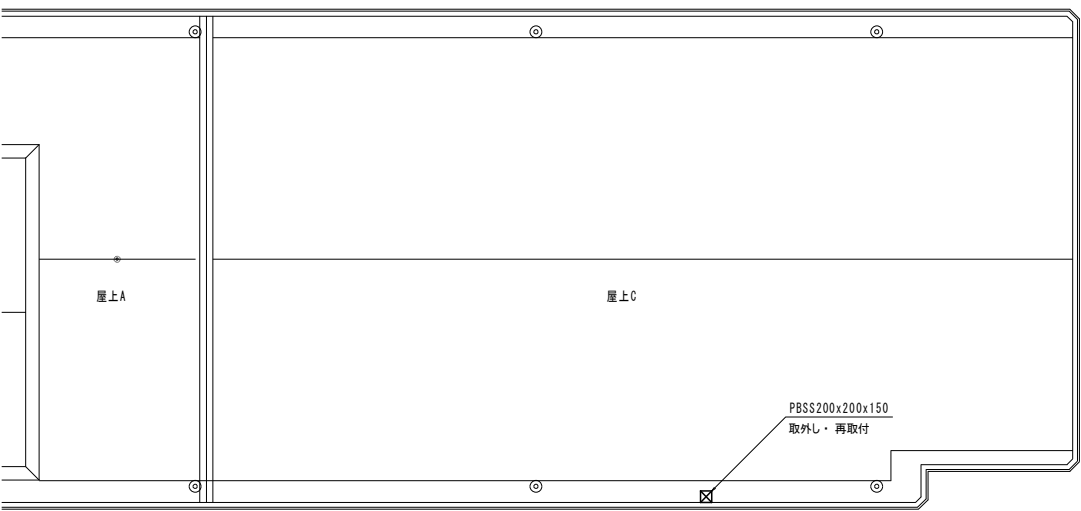
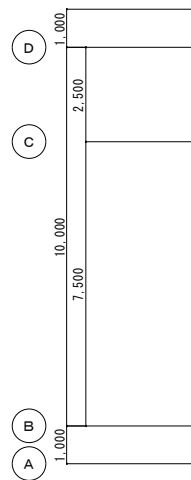
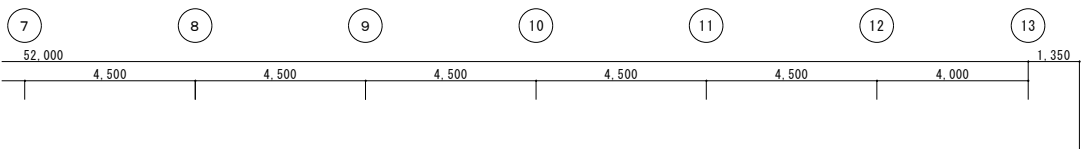
3 階 平面図 S=1/100

凡例 (改修前)			
設 備	記 号	名称・適用	備 考
電灯設備		照明器具 蛍光灯20形1	撤去
		ブルボックス	



PAC 1  
空調室外機電源取り外し・再接続

4 階 平面図 S=1/100



PBS200x200x150  
取外し・再取付

2 階 平面図 S=1/100

撤去又は取外した照明器具の安定器等については、PCB使用の有無を調査のうえ、リスト及び型番等の分かる写真を添付した報告書を提出し、監督員の承諾を得て引渡し又は処分すること。  
なお、電路から取外したPCB使用機器は特別管理産業廃棄物にあたるので、法律に従いPCB廃棄物の飛散・流出及び地下浸透・悪臭発生の防止措置を講じ「PCB汚染物」の標示をすること。  
保管場所については、監督員の指示に従うこと。

工事名					岡山市立興除中学校校舎棟長寿命化予防改修工事		No.		株式会社 彩工房 建築設計室	
図面名					改修前 電気設備 3 階・4 階 平面図		縮尺	1/100	E-05 <div></div> E-05	一般建築士事務所 岡山南校舎登録 第1478号 一般建築士登録 第278247号 宮原 正規
					岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課		令和 7 年 6 月			
課長		課長補佐		係長	課員		担当者		承認	検閲
										製図

[illegible]

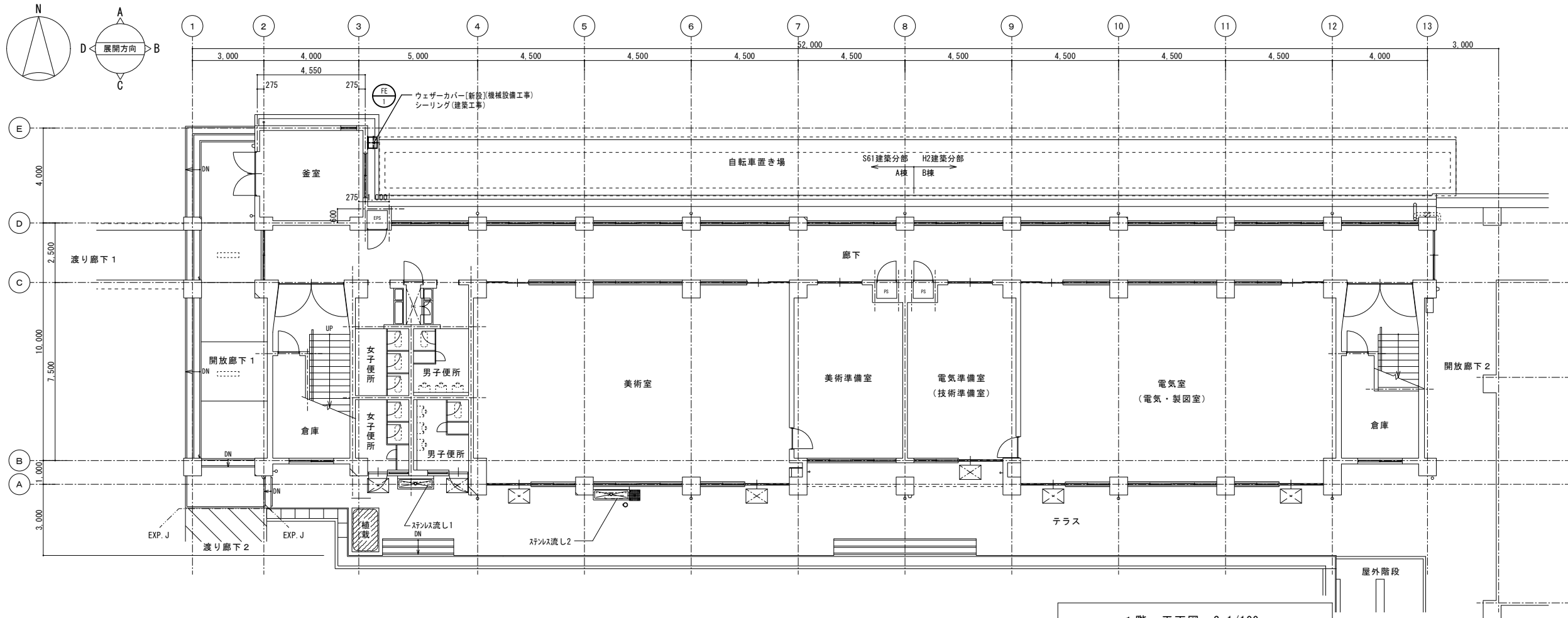
空調機器表(取外し・再取付け)

記号	名称	機器性能・仕様・付属品	電圧	動力	台数	設置場所	備考
			φ-V	kw			
PAC-1	空冷ヒートポンプエアコン	形式：室外機 冷房専用 冷房能力：14.0kW	3φ-200V		1	4階 コンピューター準備室ベランダ	型番：RP160PB(重量：89kg) 冷媒管：15.9φ×9.5φ 冷媒量：R-410A(3.7kg)
				3.20			
				—			
				0.070+0.070			
		室外機用基礎ブロック、風向調整板					

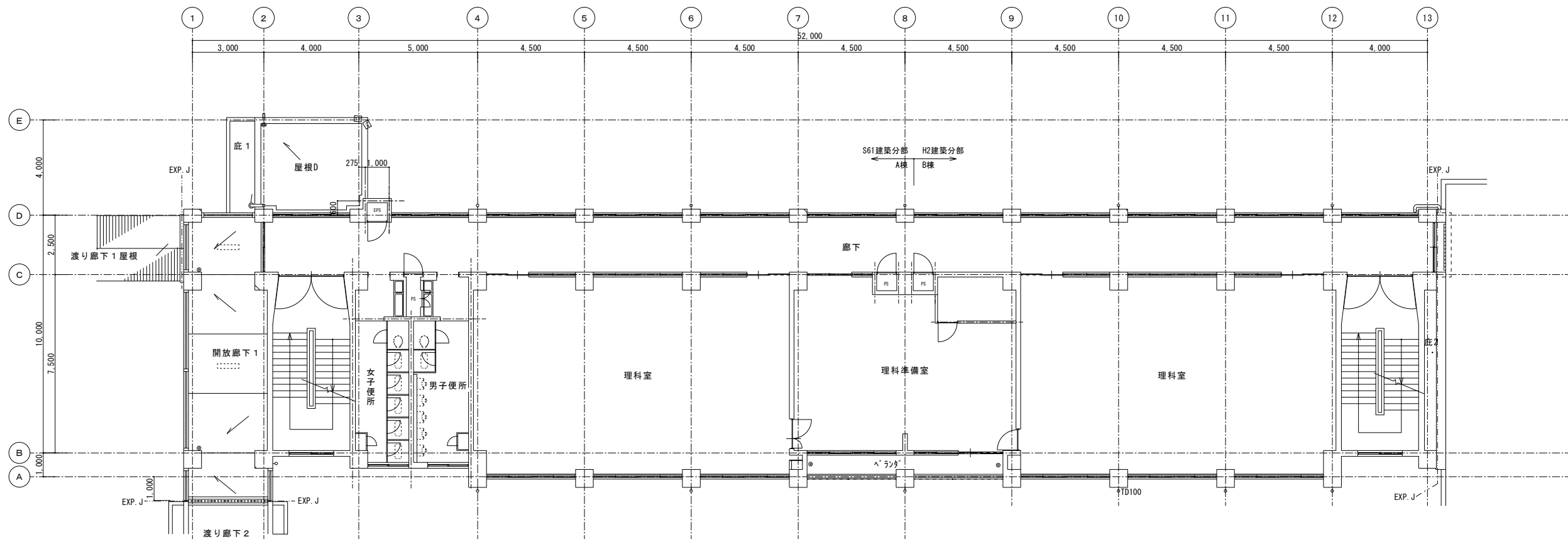
換気機器表(新設)

記号	名称	機器性能・仕様・付属品	電圧	動力	台数	設置場所	参考型番
			φ-V	kw			
FE-1	ウェザーカバー	SUS製、羽根径35cm、防鳥網	—	—	1	1階 釜室	OFS-14NB

工事名					岡山市立興除中学校校舎棟長寿命化予防改修工事		No.		株式会社 彩工房 建築設計室	
図面名					空調換気設備 機器表		縮尺		M-02	
							—			
岡山市					都市整備局 住宅・建築部 公共建築課		令和 7年 6月		M-05	
課長		課長補佐		係長		課員		担当者		承認
										検図
										製図



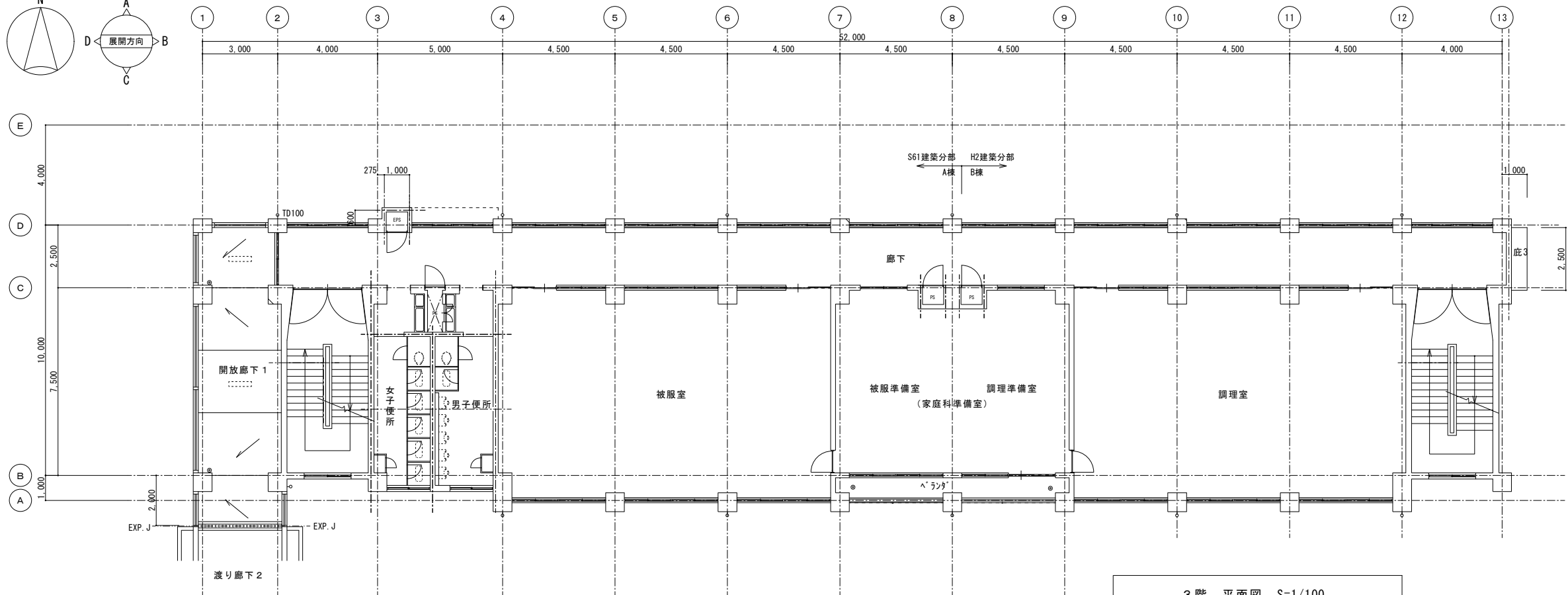
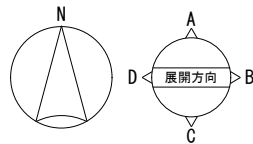
1 階 平面図 S=1/100



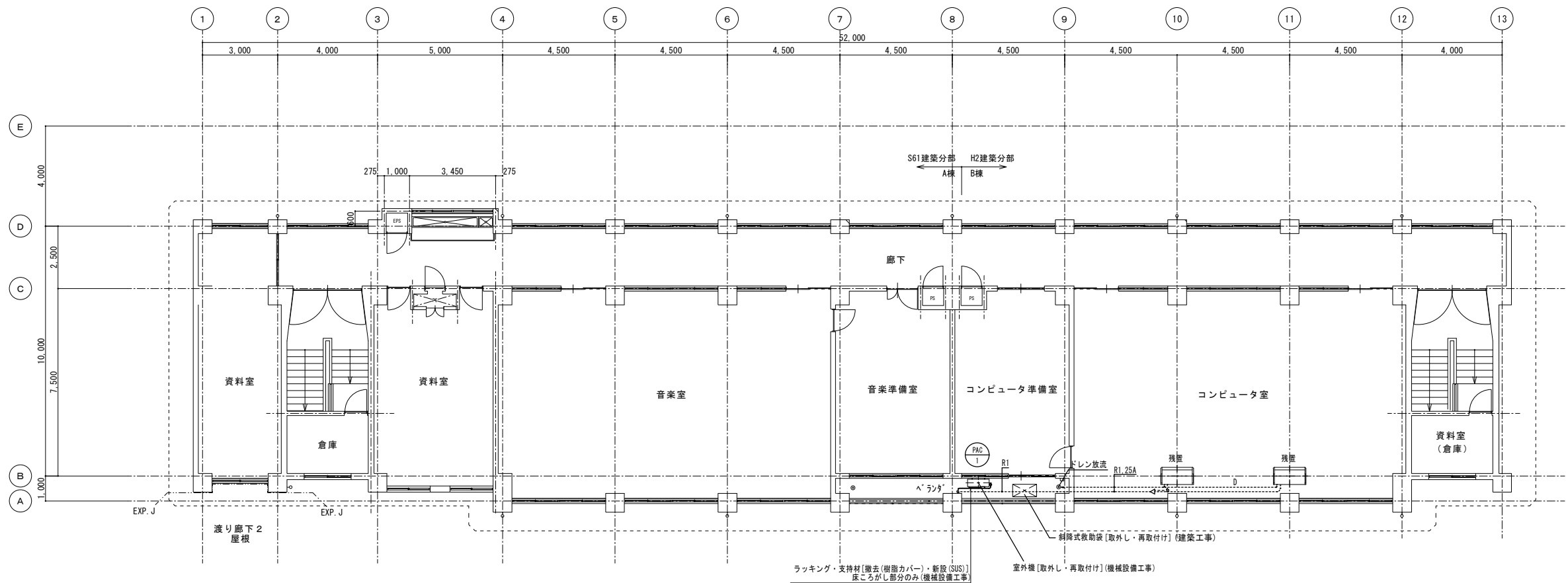
2 階 平面図 S=1/100

工事名 岡山市立興除中学校校舎棟長寿命化予防改修工事					No. M-03		
図面名 空調換気設備 1 階・2 階 平面図					縮尺 1/100		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課					令和 7 年 6 月		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図





3階 平面図 S=1/100



4階 平面図 S=1/100

実線：支持材、ラッキング撤去・新設  
破線：残置配管  
※冷媒管はフレア部で脱着

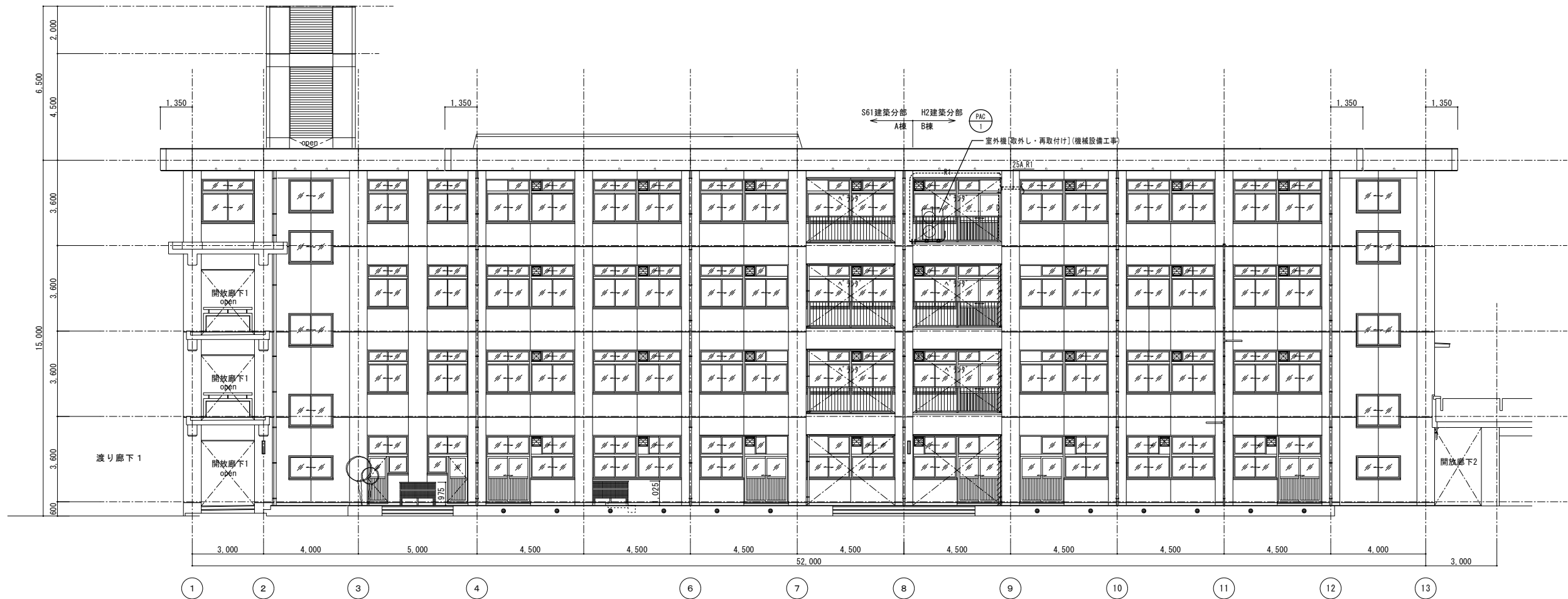
冷媒管サイズ一覧表

R1 φ 15.9\*9.5

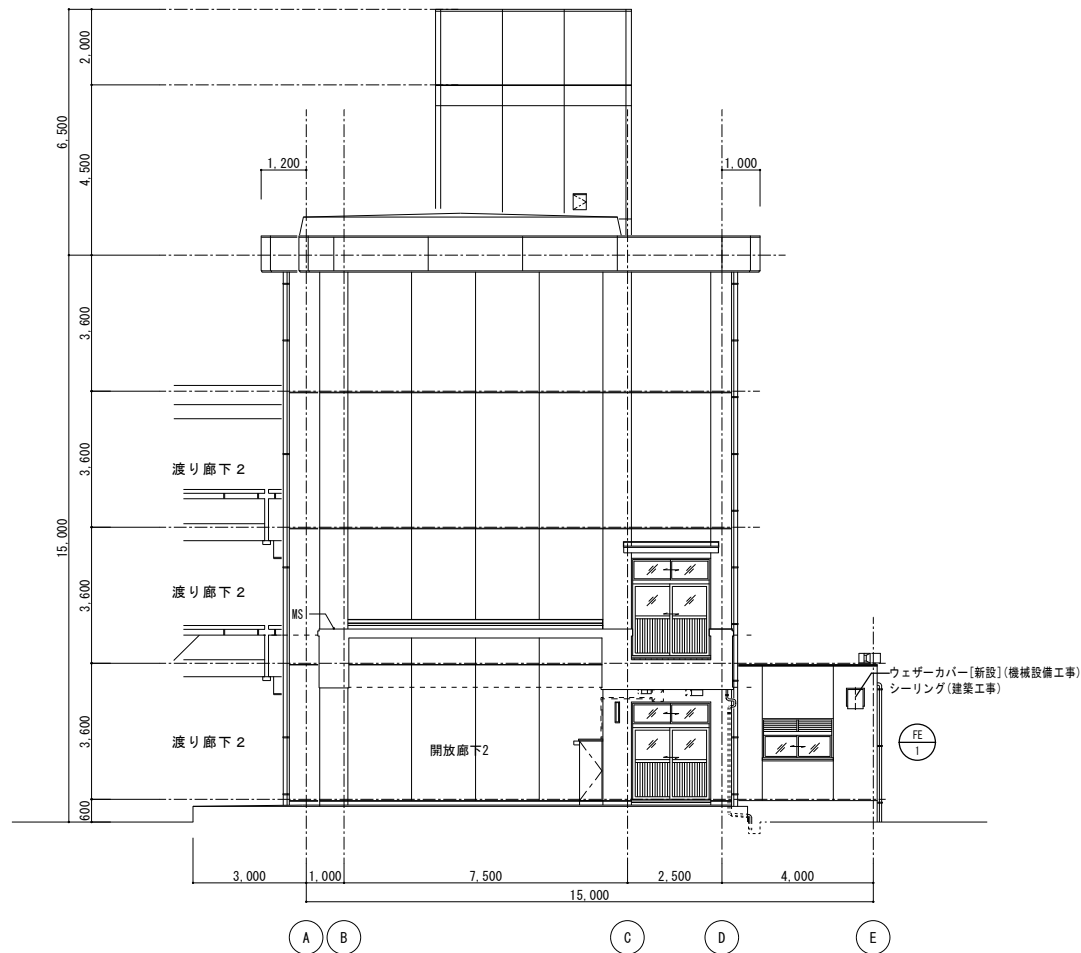
渡り配線：EM-OEE-S-20-1.25(冷媒共巻き)

注記) 室外機取外し後、コンピュータ準備室に仮置き

工事名	岡山市立興除中学校校舎棟長寿命化予防改修工事	図面名	空調換気設備3階・4階 平面図	縮尺	1/100	No.	M-04	株式会社 彩工房 建築設計室
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	課長 課長補佐 係長 課員	令和 7年 6月	担当	承認	検図	製図	M-05	一級建築士事務所 岡山県知事登録 第14791号 一級建築士登録 第279247号 笠原 正徳



南 立面図 S=1/100



東 立面図 S=1/100

冷媒管サイズ一覧表

R1	φ 15.9*9.5
----	------------

渡り配線: EM-OEE-S-20-1.25(冷媒共巻き)

注記) 室外機取外し後、コンピュータ準備室に仮置き

工事名	岡山市立興除中学校校舎棟長寿命化予防改修工事				縮尺	1/100	No. M-05 M-05	株式会社 彩工 建築設計室 一級建築士事務所 岡山県知事登録 第14791号 一級建築士登録 第279247号 笠原 正徳
図面名	空調換気設備 南・東 立面図				図主	令和 7年 6月		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	課長	課長補佐	係長	課員	担当	承認	検図	製図